

セヌ

問 會主トイフ資格ニアラサルモ黒龍會ノ代表者トシテ費用ノ支出ノ點ハ預カリ知ラサル筈ナカリシカ如何

答 三四日其事ニ付キ大竹ニ尋ネタトコロ此際大事ヲ行フニ付キテハ費用ノ分擔額ヲ論スル時ニアラス此際差詰メ自分共ニテ支辨シ其他不足アレハ諸君ノカヲ借ルコトアルヘントノ事ナリシ會員ノ内大竹、小川、細野當リハ金ノ融通付クカヲ知ラサレトモ其他ニ於テ格別金ノ有リソナル人ハ無之様ニ思ハル大會ニ付キ各所ヨリ金員ヲ寄附シタルコトハ存セヌ大會ノ費用ハ委シク知ラサレトモ四百圓位ヲ要シタルコトハ存セリ

問 旗持等ノ人足ハ何人位ヒナリヤ

答 夫レハ廣目屋ニ云ヒ付ケテ大竹君カ之ヲ擔當シ其員數ハ二十七人ニテ大旗持チニ四人中旗十本ニ一本ニ二人ツツトイタシシテ二十四五人ト思ハル橋本樓ニ事務所ヲ設ケ其擔當員ハ辯護士鹽谷或ハ石山當リナルヘシ

問 大會ノ入費ニ付キ決算報告アリタルヤ

答 聯合會ハ批准ノ時期ヲ以テ解散變更ノコトニ決議トナリ其際決算報告ヲ爲ス筈ニテ今日ハ未

★決算報告ナシ

問 同志會ノ樞要ノ地位ニ在ル人ハ先キニ承ハリタル人ノ外河野、山田、福田、佃等モ進入リ居ルヤ

答 河野ハ樞要ノ人ナレトモ福田、佃等ハ別段樞要ノ位置ニアラサルカ如シ

問 佃信夫ハ何時頃婦和同志會ニ出入シ居ルヤ

答 大會ヲ始メルコトノ定アリタル後ニ於テ來會シタルコトアレ共其前ハ來タルコトナシト思フ

問 會ノ會計簿日記等ハ何人カ取扱ヒ居ルヤ

答 日記等ハ高橋カ付テ居ル様ニ思ヒマス會計ノコトハ大竹、小川ノ兩人ノ内ト思ヘトモ詳ハシキコトハ知ラス

問 旗ノ文字及ヒ打上ケタル旗ノ文字ハ如何ナルモノナリシヤ

答 大旗ハ婦和問題同志聯合會ト記シ風船ニテ上ケタル旗ニハ始終慷慨的ノ文ヲ記載シタリ

問 會主トシテノ責任上ヨリ今般ノ事ニ付キ何ニカ會員中話シハナカリシヤ

答 自分ハ會主ノ地位ニアルヲ以テ此際如何ニスレハ宜シキカト會員ニ相談シタルコトハ會主ニ

別段責任ナキモノニ付此儘シ置キテ可然トノコトニテアリシ此邊何等責任等ノ事ニ付キ警察等



ヨリ尋ネラレタハヨトナシ

聞 其方ハ近日何レカ旅行スル計畫アルヤ

答 浦鹽斯德港へ旅行スル計畫中ナレトモ未タ日ハ豫定セヌ只計畫ノ企望アルニ過キヌ

右ノ通り録取シ讀聞ケタルニ相違ナキ旨申立署名ス

高 田 三 六

於東京地方裁判所検事局

検事正 奥 宮 正 治

聴 取 録

明治三十八年十月二十日東京市麹町區内幸町一丁目三番地對露同志會内橋本和雄ハ當職ノ通知ニ依リ任意東京地方裁判所検事局ニ出頭シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

私ハ對露同志會ノ事務員テヌ明治三十八年九月五日午前十時頃ニ深川ノ島尾チアルカ細野サン

ハ居ラカヌカト云フテ訪ネテ來マシタレハ大竹實一カ應接シ此處ハ手狭マテアルカラ櫻田俱樂部部へ行キクレヨ用事カアレハ呼フカラト云ヒ同人ハ俱樂部ノ方へ行キマシタ同伴者ハ二十名位ニテ皆ナ半股引被皮腹掛トイフ風体テアリマシタ同日同志會へ出席シタル會員ノ氏名ハ出勤簿ニ掲ケテアリマヌカラ電話ニテ取寄セマス(トテ聞モナク取寄セ提出シタルニ付キ勝寫ノ上遺付シタリ)其日ハ國民大會開催ノ當日ニテ警察署ニ於テハ之レヲ禁止スル爲メニ日比谷公園ノ各門ニ木柵ヲ築キタル由ナルモ大竹等ハ閉塞セラレテモ行カネハナラヌト云ヒ居リマシタカ正午頃ニ工藤鉄男ト中島氣峰カ情况ヲ視察シ來リテナカ(彼ノ模様ニテハ二十人三十人位ニテハ道入レヌト云ヒ居ル間ニ離レカカ市役所へ電話ヲ掛ケタルモノト見ヘ今カラ市參事會員カ車ヲ列ネテ行クカラ出タラ宜シカラントノコトナリシ様子ニテ直チニ前ノ人夫ヲ呼寄セ九尺位ノ旗幟二十本位一括ト六間位ノ二旋ノ旗(白布ニ黒幟シタルモノ)ヲ人夫ニ渡シ何人ナルカハ分カラヌトモトウシテモ行カネハナラヌト二階ヨリ口々ニ人夫共ニ云ヒ付ケテ居リマシタソレカラ一同同志會ヲ出タノカ午後一時過テアツタト思ヒマス而シテ跡ニ殘リタルハ私ト篠田幸吉(十八年位)トイフ雇人ト二人ノミテシタ而シテ午後四時頃ニ秋保親兼カ歸ヘリテ來テ初メテ公園等ニ於ケル情况ヲ承ハリマシタ午後五時頃ニ大竹實一カ來リ間モナク島屋ノ二人目ノ男チアル



ト云ヒ二十七八歳ノ氏名不詳者カ来テ竹棒ハ途中巡查ニ奪ハレタルモ旗ハ此通りテ一生懸命ニ持ツテ来タカラ返ヘスト云フテ二旗丈ケ置キ茶モ呑マヌ歸リマシタ兎モ角二階ニハ一人ニテ来マシタカ下ニ同伴者カアリシヤ否ヤハ知ラス尙ホ一寸申殘シマシタカ五日午前八時頃ニ大竹小川カ来テ大會ニ付テノ委員辭職届ヲ私ニ出シマシタ秋保モ大竹モ二三分居リテ歸ヘリマ

檢事 杉本時三郎

(板橋第一九五號)

暴徒事件ニ關スル報告

北豊島郡高田村大字高田三百六十五番地居住

代議士 河野廣中

嘉永元年一月生

右ハ本年九月五日日比谷公園ニ於ケル國民大會ニ臨ミ次テ紅葉館ノ宴會ニモ臨席シタルカ其後右

大會ニ列シタルモノ等内相官邸等ヲ襲撃家屋ヲ燒毀シ遂ニ各所ノ燒打ヲ爲シタルカ河野廣中ハ其夜徹夜市中ヲ奔走シ午前二時頃内務省近傍ニ於テ暴徒一群ニ會合シ河野君萬歳ヲ唱ヘ神田區ニ進入シタル趣キ曩キニ聞知シ居タルヲ以テ爾來之レカ事實ヲ探偵セシメタルニ左ノ事實ヲ發見シタリ然レトモ今急ニ翌月朝次郎ヲ表面證人トスルハ彼レニ於テ躊躇ノ體ニ付キ茲ニ暫ラク御猶豫アリタシ

五日ハ河野廣中の方生馬島縣人上田龜齡二十六歳位ノモノモ暴徒ニ參加セシメ八日ノ朝河野宅ニ歸ヘリタル趣キ夫レヨリ同人ハ何レヘカ立去リタリト而シテ同人ハ平素頗ル過激ノ人物ナリト云フ

又河野廣中ハ五日ノ夜則チ翌六日午前四時過キ頃酒氣ヲ帶ヒ頗ル上機嫌ニテ踏曲ヲ歌ヒツツ歸宅シタルヲ現ニ目撃シタルモノハ高田村大字高田三百八十二番地靜岡縣平民翌月朝次郎三十二歳ナルモノナリ之レハ小官ノ而前ニ於テモ以上ノ話ヲ爲シタレトモ今直チニ證人タルヲ欲セサルヲ以テ徐ロニ説諭スル見込又翌月ノ話シニ五日ノ夜午前四時頃河野カ歸宅シタルヲ見タルモノハ他ニモ有之趣キ故ニ奔走ノ上多クノ人ヲ搜カシ出ストノコト同人ハ八百屋渡世ナルニ付キ毎日午前三時過キニ起床商品買ヒ出シニ行クヲ以テ目撃シタリト云フ



同人ノ宅ハ河野廣中ノ極近所ニシテ殆ント面會ナルノミナラス常ニ宅ニ出入シ居ルモノナリ  
同人ノ話シニ依レハ今回ノ暴徒ハ河野及ヒ書生ノ上田ヲ指揮シアルヲ以テ大騒動ニナリシト近  
所ニ於テモ内密話シ居ルモノナリ此者等モ多少何事カ知り居ルナラン依テ此方面ニモ奔走内偵  
ヲ約シタリ

右ノ通りニテ目下翌月朝次郎ヲシテ極秘密ニ證據トナルモノ内偵中ニ有之候得共前頭ノ始末御覽  
考マテ不取敢及報告候也

明治三十八年十月廿一日

板橋警察署長

警視 松岡 景常

東京地方裁判所検事生奥宮正治殿

聴取書

明治三十八年十月二十八日深川區松村町二十三番地齋藤久次郎ハ全區靈岸町十七番地淨心寺ニ出

頭シ本職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

本年九月五日午前七時頃深川區千鳥橋ニテ丸山泰次郎ハ仕事ニ行クナリ來レト申シヤヌカラ全  
人方ヘ行キタルニ已ニ十四五人(内十人位知合ノモノアリシ)居リマシタ午前十時頃迄ニ二十人  
位ト爲リコレヨリ日比谷公園ニ行キ茶臺等ヲ運フノテアルカ只島屋ノ旦那ニ付イテ行ケハヨイ  
トノコトテ更ラニ譯ケハ分カラヌ儘一同ト共ニ丸山宅ノ前ニテアマリ見惡キ風体ノ者ノミ島屋  
ノ印半天ヲ着シ電車ニテ丸山ニ連レラレ日比谷公園ニ行キ西洋風ノ二階造リノ家ニ行キタルカ  
又櫻田俱樂部ヘ行クノテアルトテ一同其處ヘ行キ間モナク十二時ニナリマシタカラ新橋ノ天  
ラ尾ニテ班食ヲ爲シ以前ノ二階造リノ家ニ行クト二階ヨリ白旗一本ト六七本ノ棹ヲ持タセラレ  
タノテ私ハ持チマセヌカ二十人ノ連中ニテ持チマシタソウスルト巡査兩三名カ該旗ヲ奪取ラ  
ントシマヌルト二階ニ居ル者カソラ白犬カ來タ旅ヲ遣ルナト口々ニ叫ヒ居リマシタカ旅持ハト  
シノト進行スル其後トヨリ二階ヨリ洋服又ハ羽織袴ヲ着ケタル連中カ降りテ來テ共ニ出テ行  
クカラ私モ付イテ行ク下已ニ日比谷公園ノ門前ニハ數千ノ群集カワーワー騒キ居リ私共カ正門  
ニ着ヌルヤ否ヤ一度ニ叫喊ノ聲ト共ニ群衆ハ門柵ヲ破フリテ園内ヘ闖入シマシタ私ハ東京ヘ出  
テ間モナキノミナラヌ田舎ニテハ巡査ハ怖ロシキモノト思ツテ居リタルニ巡査ト喧嘩スル杯ト



ハ思ヒモ寄リマセヌカラ驚キテ歸ヘリマシタノハ午後三時過キテアリマシタカ入浴后四時過キニ丸山方ニ行キタルニ二十人ノ内十人位居合ハセタルカ各々日當登面ツツヲ貰ヒ二日斗リヲ經テ亦タ五十錢ノ酒手ヲ貰ヒマシタソレ故ニ五日六日ノ夜共暴動ニ加ハリタルコトハ更ラニアリマセヌ

明治三十八年十月二十八日

右淨心寺ニ於テ之レヲ作ル

東京地方裁判所

檢事 杉本時三郎

但シ出張先キニ係ルヲ以テ所屬官署ノ印ヲ用ユル能ハス

聽取書

明治三十八年十月二十八日深川區ニ色町三番地丸山民治方山崎政藏ハ全區靈岸町十七番地淨心寺ニ於テ本職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

私ハ最早四年モ民治方ニ厄介ヒサリ小揚人足ヲ爲シ居リマヌ本年九月五日午前八時半頃民治方

ヲ訪シカテ今日ハ日比谷公園ニテ椅子、机等ヲ運フ爲メニ行クノテアルトテ泰次郎、佐々木、君島、茂一、小芳、子之助、久次郎、井上信吉、新吉、金太郎等二十名ト共ニ全日午前九時頃ニ民治方ヲ出テ電車ニテ日比谷公園ニ行キ公園ノ南ノ方ノ門ニテ降りテシテ居ル間ニ君島ニ遭ヒタルニ櫻田俱樂部ニ行キ與レトノコトヲ午前十一時過ニ行キマヌト戸水寛人カ抄換ヲシマシタ小一時間モ其處ヲ休ミ居ルト島屋カ同志會ニ行キテレナケレハナラヌ兎モ角盡食ヲセヨトテ島屋カラ五圓貰ヒ十九人ニテ新橋ノ天テラヤニテ進食ヲ爲シ三圓余ヲ支拂ヒ榊原駒ト濱榮ニ半股引一足宛ヲ五十錢ニテ買求メ遣リテ内幸町ニ向ヒ來ル途中土橋ニテ島屋ニ出會シタルトコロ内四人ハ俱樂部ニ行キ其他ハ同志會ニ行ケト云ヒマシタカラ私共五人ハ長キ印天半ハ邪魔ニナルカラ脱イテ榊原ニ持タセテ同志會ニ向ヒ第一、君島等四五名ハ俱樂部ニ行キマシタト思ヒマヌ多分島屋テアツタト思ヒマヌカ一度ニ多勢行キテハ宜シクナイカラ三四人宛位ヒ行ケト云ヒタルママ島屋ハ何處ヘカ行キマシタカラ三人ツツ同志會ノ裏ヨリ廻ハリテ入りマシタ雖テアリマシタカ裏ヨリ廻ハレトイヒマシタカラテスソウヌルト間モナク俱樂部ニ行キタルモノモ來リ一緒ニナルト直クニ表口ニ廻ハレトノコトニテ表ニ廻ハルト木綿巾ニテ五尺位ノ白旗ニ墨書シタルモノカ己ニ三木出テ居リテ之レヲ持チテ公園ニ行ケト命セラレ出發スルト巡



査カ類リニ旗ヲ渡セト云ヒ同志會ノ者ハ渡シテハナラヌト云ヒツツ兎モ角公園正門ノ入口ニ行  
 クト柵ヲ以テ塞キアルノミナラヌ七八十人ノ警官ハ旗ヲ渡セ此處ハ通サヌカラト互ニ押シ合ヒ  
 マシダカ私共カ旗ヲ持テ行クト同時ニ大變公衆カ騒キ初メ之間モナク公衆ト共ニ柵ヲ破リ押シ  
 合ヒナカラ私モ入込ミマシタカ其節私等ノ仲間ノ丈低キ氏名不詳者カ巡査ノサーベルノ柄ニテ  
 打タレ一旦氣絶シタレトモ種々介抱ノ末元氣ヲ回復シタルニ付キ其男ヲ門外ニ出シ遣リマシタ  
 カ其間ニ我々ノ仲間ヲ見失ヒタルニ付キ已ムヲ得ヌ私ハ三變ノ原銀治橋ヲ經テ新富座ニ至リタ  
 ルニ未タ旗モ見ヘヌ公衆カ大勢ニテ騒キ居リ巡査等カ警護シテ新富座内ニ入ル能ハサルヲ以テ  
 同座裏ノ氷屋ニ休ミ居ルト二十人ノ仲間カボツト來テ氷飲マセクレヨト集マリ來タリタルヲ  
 以テ氷ヲ飲マセ電車賃ヲ持クセテ歸ヘシヤシタ私ハ他ノ連中ヲ搜カシタレトモ見當ラサルニ付  
 キ其儘歸宅シタノカ午後五時頃テヌソレカラ入浴喫飯ノ上午後六時頃ニ寢タルニ午後九時頃木  
 田熊太郎カ私ヲ起コシ深山徳造ト共ニ飯食ノ末午後十一時頃ニ洲崎ノ新北村ニ登樓シ翌六日午  
 前一時頃ニ寢ニ就クト間モナク火車ト聞キ同二時頃ニ歸ヘリ直ニニ寐マシタ六日ノ夜ハ外出セ  
 ス此ノ后此事ニ付キ警視廳へ拘留セラレタルヲ以テ其損害トシテ金十六圓ヲ本月初メ丸山民  
 治カラ貰ヒマシタ

明治三十八年十月廿八日

右淨心寺ニ於テ之ヲ作ル

出張先キニ係ルヲ以テ所屬官署印ヲ用ユル能ハス

東京地方裁判所

檢事 杉本時三郎

聽取書

明治三十八年十月二十八日深川區靈岸町十七番地淨心寺ニ於テ丸山泰次郎ハ本職ニ對シ左ノ如ク  
 陳述シタリ

私カ本年九月十九日ニ東京地方裁判所豫審廷ニ於テ證人トシテ陳述シタル以外ニ申遺シタルコ  
 トハ私ハ本年九月五日日比谷公園ニ行キタル後テ對露同志會ヲ出テテ公園、三重橋外、馬場先  
 門ヲ經テ新富座ニ行ク間ハ私ト暴徒ラシキモノ五六名壯士ラシキモノ四五名ハ常ニ河野廣中ノ  
 身邊ニ付イテ居リマシタ午後五時頃新富座ノ横手ノ氷屋ノ前ニテ山中茂一、山崎政藏、若島竹



次郎ト思ヒマスカ其三人ヨリ丸ノタル旗ヲ受取リ一ト纏メニシテ井上淺吉ト共ニ同志會ニ至リ  
大竹實一ニ之レヲ返ヘシ同時ニ同人ヨリ金五圓ヲ貸ヒ歸途茅塚町ノビトヤホールニテビールヲ  
飲シ淺吉ニハ五十錢ノ酒代ヲ遣リ點燈後ニ歸宅シ入浴及ヒ理髮ヲ爲シ淺吉ト共ニ洲崎ニ女郎賣  
ヒニ行キマシタ

明治三十八年十一月廿八日

右淨心寺ニ於テ之レヲ作ル

出張先キニ係ルヲ以テ所屬官署ノ印ヲ用ユル能ハヌ

東京地方裁判所

検事 杉本時三郎

出頭シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

明治三十八年十月廿八日

被告事件ニ付キ深川區越中島町六番地榊原駒吉ハ當職ノ通知ニ依リ任意東京地方裁判所検事局ニ

出頭シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

問 其方ハ職業ハ如何

答 元新橋ノ停車場ニテ運送店ノ庭番ヲシテ居リマシタ後谷藤吉ノ下ニ付イテ荷揚ヲシテ居リ

問 谷藤吉ノ住所ハ如何

答 深川區松村町番地不知通稱大長谷藤吉ヲヌ

問 九月五日ニ離レニ頼マレテ仕事ニ行キシヤ

答 谷藤吉ノ所ヘ朝勤定ヲ取リニ參ヘリマシタ其途中丸山ノ内ノ前ヲ通りマスト同家ノ鯛サシ

トイフ人カ何處ヘ行クカト云ヒマスカラ勘定ヲ取リニ行クト申シタルニ仕事ニ行ツテクレス

問 何處ヘ如何ナル仕事ニ行クト云フコトヲ聞キシヤ

答 聞キマセンカ丸山ノ内ノ前ニハ十人以上ノ人カ居リソノ仕事先キヲ聞クニ親方ニ仕事ヲ撰

嫌ヒスルト思ハレルカツライカラ聞キマセンテシタ

問 其處ニ居リシ他ノ人足ニモ仕事先ヲ聞キシヤ



答 他ノ人足ニ聞キマスト何シタカ大勢揃ヒテ日比谷ノ方へ行クト申シマシタ私モ日比谷ノ方へ小揚カス様ニ揃フテ行クノハ變タト思ヒマシタカラ其人ニ聞キマシタラ親方ノ云フ通りニシタラヨカロト申シマシタカラ其儘ニイダシマシタ親方トイフノハ鯛次郎ノ事ヲヌ

問 其時其方ノ服装外人足ノ服装如何

答 背中ニ刃トイフ印半天ヲ着用シシヤツ半股引ヲツケ草鞋ヲ履イテ居リマシタ私ハ其内ニテハ着換ヘハイダシマセンテシタ外ノ人ハ丸山ノ内テ新ラシキ印半天ヲ着換ヘ居リマシタ私ノ目前テ着換ヘタ人モアリ又已ニ着換ヘテ居ツタ人モアリマシタ半天ノ襟ハ島屋ト覺ヘテ居リマス其半天ハ丸山ノ店ノ島屋ノ内ノ八チヤント云フ字ノ半天ヲシタ印ハ今明カニ覺ヘテ居リマセン

問 賃銀ハ何程ト極メタルヤ

答 別ニ定メマセン

問 小揚人足カ日比谷公園ニ何故行クカ

答 大物ヲモ動カス仕事ヲスルノカト思ヒマシタ

問 仕事ニ行クニ半天ヲ特ニ着換ヘル必要ナキニアラヌヤ

答 深川當リテハ島屋ノ半天ハ大變ニ聞ケルモノテスカラ仕事若ノ上ニ羽織ツテ行クコトモアリマスカラ別ニ怪シミマセンテシタ

問 其方ニ着換ハ勘メナカツタカ

答 皆ナノ者ニ着換ヘテ行ツテクレト鯛サンカラ云ヒマシタカ數カ足ラヌ様テ今縫ツテ居ルトコロノ様ヲシタ私カ氣ニモ止メナイテ着換ヘンテシタ  
問 仲間ノ人足共ノ内テ仕事先ヲ何ニヲスルトイフヤトナ話ハナカリシヤ  
答 日比谷ニ行ツテ見テ親方ニ會ツテカラタト鯛サンカ申シマシタ其親方トイフハ島屋ノ八チヤンノコトヲヌ

問 丸山ノ内テ揃ツテ出掛ケタノハ何時頃カ

答 内ヲ出タノカ九時頃テ丸山方ノ前テ小一時間居リマシタカラ十時頃ニナリマシヨウ

問 揃ツテ往ク場合ノ人数ハ何程ニテ誰レカ行キシヤ

答 鯛サンカ引キ連レテ八幡橋ヨリ電車ニ乘リマシタ八チヤンハ一緒テアリマセンテシタ先キへ行ンタンテシヨウ人数ハ二十人テシタ八チヤンニハ公園ノ表門ノ芝ノ方へ行ツタ處ノ道路ヲ會ヒマシタ



問 電車ハ何處ニテ降りタルヤ

答 日比谷角ヲ降りマシタ

問 夫レヨリ如何シタルヤ

答 鯛サウニ連レテ表門ノ内ニ進入リ公園内ノ中央邊ノ木ノ下ニ待ツテ居リマシタラ鯛サ  
ンカ私共ヲ連レテ幸橋ノ方ヘ連レテ行キテ八チヤンニ會ハセマシタ其處ハ何ントイフトコロ  
カ知リマセン

問 島屋ノ親方ノ服装ハ如何

答 紺カスリノ角袖帷子ニ白チリメンノ兵兒帶ヲクル〜マキニシテ居リ靴ヲ着キ鳥打帽子ヲ

冠リ洋傘ヲ持チテ居リマシタ

問 夫レヨリ如何ニセシヤ

答 其側ノ美麗ニ塗ツタ二階屋ノ表ノ道路ニテ鯛サンカ今日日比谷ニテ茶番ニ手ノ入ル事カア  
ルカヲソ一思フテクレト申シマシタ其時已ニ遊テアツテ丸山ノ内ノモノカ何程カ知リマセン  
カ之レニテ飯ヲ食ハシテクレト申シ何程カ八チヤンヨリ貰ヒマシタ夫レヨリ新橋停車場前ノ  
天ダトスシヲ賣ル店ニ行キ天ドンテ一杯ツツ喰ヒマシタ二十人カラノ人数ヲヌカテ其家ニ

テ待ツテ居ラレマセンカラ先キニ外ニ出マシタ食事ヲスルニハ小一時間位カカリマシタ食后  
初メノ處ニ歸ヘリマシタ

問 八五郎ハ何處ノ家ニ出入シ居リタルヤ

答 出入スル家ハ知リマセンテシタ

問 夫レヨリ如何セシヤ

答 八チヤンカ橋ノトコロニテ待チ居リマシタカ(新幸橋ナルヘシ)鯛サント何ニカ話シテ  
居マシタカ八チヤンニ付イテ私カ三十間堀ノ元新聞社ノ在ツタトコロニ行キマシタソノ新聞  
社ノ裏ノ格子戸ノアル藏者屋ノ内ヘ八チヤンハ這入り私ハ外ニ待ツテ居リマシタカ其時持チ  
行キタル半天三四枚ヲ其ノ内ニ置キ私ハ用カナイカラ元ノ處ヘ歸レト申シマスカ歸ヘリマ  
シタ八五郎ハ別ニ用カアレハ此處ヘ云ツテ來ヒトモ申シマセンテシタ

途中テ酒ヲ飲ミ度クナリテ鳥森近所ノ交番ノ后ロノ酌酒屋ニ道入り粟盛ニ杯ブラン一杯代金  
十八錢外ニ菜二錢ノ飲食ヲナシ二時間許リ話ヲシナカラ居リマシタ夫レヨリブラ〜出掛ケ  
テ橋ノ附近ヘ行キマシタカ連レノ者ハ少シモ見當リマンテシタカラブラ〜蘆葉橋ノ方ヘ參  
ヘリマシタ又元ノ八五郎ノ這入りタル藏者屋ノ内ニ參ヘリ親方カ居レハ御馳走スルナラント



思ヒマシタカ親方ハモ一居リマセンテシタ八五郎ノ靴モアリマセンテシタ夫レヨリ深川ノ方ニ歸ヘル積リテ京橋警察署ノ前ノ柳ノ木ノ方ヲブラ〜歩キ行キマスト巡査カ何ニテ其處ヲ迂路〜シテ居ル此處へ進入レト申シ警察ノ内へ連レ込ミマシタ内ノ椽臺ノ上ニ腰ヲ掛ケテ三日斗リ置カレマシタ夫レヨリ七日ト覺ユ朝警視廳ニ送ラレマシタ

問 京橋警察署ニ於テハ何ント申立テタルヤ

答 深川區佐賀町一丁目十二番地山本淺次郎二十七歳二月生ト詐稱シマシタ

問 京橋警察ニテ警部ノ取調ヲ受ケタルトキ何ント答ヘタルヤ

答 警部カ新富座ノ前ニテ騷イタテアロウト申サレマシタカ私ハ騷ヘタモノヲハアリマセン此ノ警察ノ前ヲ通行ノ際巡査ニ押ヘラレマシタト答ヘマシタ

問 調査ヲ讀聞カサレサルヤ

答 讀聞ケラレマシタ其調査ノ中ニハ新富座ノ演説ニテ騷イタ巡査ニ追掛ケラレテ警察署ノ前ニテ押ヘラレタルコトヲ書イテアリマス夫レハ違フト申シマシタカ馬鹿ヲ云ヒ署名捺印セヨト申シマスカヲ署名捺印イタシマシタ

問 歸宅後丸山方へ手間ヲ受取リニ行キシヤ又金ヲ貰ヒシヤ

答 九日朝九時頃丸山ニ參リマシタ處私ヨリハ何ニモ云ハスニ居リタルニ丸山ノ家内カ私ヲモ先キニ警察ニ上リ連レノ者ノ悪口ヲシヤヘリタリト思ヒマシタカ「イヤミ」ヲ云ヒマスカラ私カラ云ヒ度イ廻屈モ云ヘス先方ヨリ一圓出シテクレマシタカラ夫レヲ貰ヒ歸ヘリマシタ少シモ働カナイテ手間モ貰ヒタルハ深川邊ニテハ常用ニ行ケハ一日腰ヲ掛ケテモ出タ以上ハ貰フノカ當リ前ニナツテ居リマス

問 ソノ後丸山八五郎ニ會ヒタルヤ

答 誰レニモ會ヒマセン又タ仕事ニモ一切出マセン

問 警察ニ止メラレタル爲メニ見舞金等ヲ貰ヒタルコトナキヤ

答 丸山ノ家内ヨリ一圓貰ヒタル丈ケニテ他ニ一切アリマセン

問 當時同行シタル他ノ人足ニ其後會ヒタルヤ

答 一切會セマセン

問 長崎方ヲ知ルカ

答 存マセンソウイフ人足ノアル事モ知リマセン

右錄取シタル處ヲ讀聞ケタルニ相違ナキ旨申立署名ス



柳原駒吉

東京地方裁判所

検事 落合芳藏

復命書

深川區越中島町六番地平民日雇業

柳原駒吉

廿二十八年

右ハ本年九月五日丸山民治ニ頼マシテ國民大會ノ際所々奔走爲シ且ツ橋本八五郎ト共ニ立寄タルケ  
所捜索方命ヲ受ケ捜査ヲ遂ケタル處左ニ有之候

一、本年九月五日麹町區内幸町一丁目新幸橋土手際ニ立待合セ居ル内正午十二時頃トナリ新橋  
傳車出前天アラヤニテ中食ヲ爲シ夫レヨリ芝區日蔭町一丁目一番地飲食店鈴木源十郎方ヘ立寄  
リソランデー一杯ヲ飲ミ立出テ尙ホ同區櫻田本郷町二番地飲食店柏木辰次郎方ニ立寄リ泡盛三

杯ヲ飲ミ立出テ元ノ内幸町土手際ニ待合セ居ル内橋本八五郎來リ同行京橋區三十間堀町三丁目  
八番地大内フキ方ニ立寄リタル趣キニ有之候

右及復命候也

明治三十八年十月卅日

第一部第一課

巡查 福田龍之助

第一部第一課長警部渡邊素夫殿

聽取書

京橋區三十間堀三丁目八番地大内フキ方

酒井ふみ

十六年

右本官ノ面前ニ於テ左ノ陳述ヲナシタリ



一、昨年四月ヨリ大内方ニ親類トシテ同居シテ居リマス私ノ原籍ハ岐阜ノ高須町ナリ  
 一、九月五日正午頃橋本八五郎カ参リマシタ來タトキニハ一人ニテ半天ヲ二三枚持テ來リタリ門  
 口ニ人カ立ツテ居ツタ模様ハアリマセンテシタ二三時間休息シテ居リ一時間許リ外出シテ又立  
 歸リ夕飯ヲ食シ六時頃ニ歸宅シタリ  
 同日三時前後ニ男カ一人尋テ参リ橋本サンハ居ラヌカト云ヒナカラ格子ヲ開キテ入り來リ何處  
 へ行ツタカ逢イタイノテアルカラ歸ツタヲ待ツテ居テクレト申シ歸リ行キマシタ其男ハ少シモ  
 醉フテハ居リマセンテシタ同人ハタシカシヤツ一枚ニテ半天ハ若シテ居ラヌ模様ヘマス  
 右錄取ス

明治三十八年十月廿九日

於京橋警察署

出張先ナルニ付キ應印ヲ押捺セヌ

東京地方裁判所

檢事 落合 芳 藏

聽 取 書

東京市京橋區三十間堀町三丁目八番地待合業

大 内 フ キ

右者本官ノ面前ニ於テ左ノ陳述ヲナシタリ

一、私ハ大倉勝太ノ内縁ノ妻ニテ亭主ハ商家ノ番頭ヲシ

一、橋本八五郎ノ母ハ私ノ從兄弟ニシテ私ノ妹トシテ八五郎ノ父ノ處ヘ片付キ親戚ニナツテ居リ

一、九月五日正午頃橋本八五郎カ久シ振リニテ尋ネテ参ヘリマシタオヤク珍敷人カ來タトテ食  
 事ナト勸メテ二三時間休息シテ後チ何ヘカ又八五郎ハ出懸ケマシタカ又歸宅シテ夕飯頃迄居リ  
 食事ヲシテ歸ヘリマシタ

用事ハ解カリマセンカ同人ハ公園ヘ人夫ヲ出シタカ來ナクテモヨキニ來タカ御尋ネヲスルト申  
 シテ居リマシタ當時勝太ハ御店ヘ出勤シテ不在ナリシ

八五郎最初参リタルトキハ一人ニテ供又ハ迷レハ一人モアリマセン何レヘカ中頃八五郎カ出懸  
 ケタ跡ニ男カ一人尋テ於リ深川ノ親方ハチャンカ來タレハ少シ置シテクレト申置キ立去リタル



跡ニ八五郎カ立歸リタルニ付キ其事ヲ申傳ヘタルモ其人モ來ヌ八五郎ハ別ニ申儘キモセヌ此男ニ逢ハヌシテ歸ヘリマシタ時刻ハ夕飯ヲ食ヘテ歸ヘリマシタカラ夕刻ニナリマシタロウト思ヒマヌ

八五郎ノ當時ノ服裝及携帶品ハ覺ヘアリマセン下婢ハ「フミ」ト申シテ同人カ取次ヲイタシマシタ

右錄取ヌ

明治三十八年十月廿九日

於京橋警察署

出張先ナルニヨリ廳印ヲ押捺セヌ

東京地方裁判所

檢事 落合芳藏

復命書

深川區一色町十三番地平民

丸山泰次郎

深川區西平野町一番地平民

井上淺吉

右ノ者當明治三十八年九月五日麹町區日比谷公園地内ニテ國民大會ノ際旗持チニ履ハレ歸宅ノ途  
中日本橋區茅場町邊ノ或ルビヤホール店ニ立チ寄り飲食シタル有無搜查ヲ遂ケタル處左ニ

一、九月五日夕方二人連レニテ日本橋區南茅場町三十五番地ビヤホール店今用事官坂要助方下  
室ノ第十五番ニテ左ノ通り飲食ヲ爲シタル二人連レノモノアリシモ其年齡人相等ハ不詳ナリ同  
日此他二人連レノ客人カ同室ニ來リシモノ無シ依テ前陳二名ノモノ共カ飲食成シタルモノト思  
最致候

- 一 ビール大コップ 四 杯
- 一 フライ 二人前
- 一 ビステキ 二人前



一 ライスカレー 二人前

此代價一圓四十四錢也

右之通復命候也

明治三十八年十一月一日

第一部第一課

巡查 押川 清

第一部第一課長警部渡邊素夫殿

聴取書

深川區黒江町二十六人足請負業

橋本 八五郎

二十六歳

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ノ居タ人カ島米ト申シマスノハ父カ島屋米造トイフテ居タカラテス

一、本年九月五日私ハ山崎繁次郎テ人夫ヲ二十人國民大會ニ出シタ爲メ嫌疑ヲ受ケ九月八日ニ警視廳ニ呼ビ出サレ取調ヲ受ケマシタ而シテ九月十日ニ拘留十日ノ言渡ヲ受ケ二十日夕方歸宅シマシタ丸山兄弟山崎政藏等モ引揚ラレマシタ

一、私ハ丸山其他ノ人夫カ私ノ依頼ノ爲メ拘留サレタノテ氣ノ毒ヲナリマセヌカラ一日ノ拘留ヲ一回ニ割當テ尙一二日分ヲ加ヘテ手當ヲ遣ハシ其外赤飯料ヤ先キニ丸山カ立替ヘ呉レタル人夫賃等ヲ合ハセテ二百四十三圓餘リ辨償シマシタ其金ハ深川區富岡前町ニ居ル伯母梅村キンヨリ百五十圓借り其他ハ自分ノ當座預金ヤ宅ニ在リタル現金ヲ纏メマシタ

本人ヨリ任意提出シタル帳簿ニ基キ左ノ事項ヲ録取ス

橋本八五郎方金錢出入帳摘記

九月三十日ノ部

一金二百四十三圓五十九錢 丸山殿詳細ハ臨時口ニアリ

他畧ス

帳簿ノ終尾ニ左ノ記載アリ



九月五日比谷事件入費

九月十一日

- 一金二圓五十五錢 差入辨當親方内鯛及ヒ政、
- 一金四圓三十五錢 同、親方外二人
- 一金五圓 蜂龍方へ心付
- 一金三圓七十五錢 松印へ反物一反
- 一金五圓 ビールニダーム
- 一金一圓五十錢 菓子折二、廣岡、蓮谷三軒へ遺物
- 一金九圓七十七錢 人力車賃口々ノ高
- 一金十四錢 市街鐵道上下分
- 一金二百四十三圓五十九錢 丸山殿、詳細書アリ
- 一金八圓 地方へ渡ス
- 一金十四圓七十三錢 木場伊勢平樓勘定外ニ帳場女中二人車代共
- 二百圓四十八錢

入金九圓

見舞

金十三圓三十錢

同

以上

明治三十八年十月二十八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安保時太郎

出張先作成ニ付所屬官廳印云々記載ナシ

聴取書

深川區八名川町卅二、差配業

横山兼太郎

五十九歳

右ノ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ



一、私ハ橋本八五郎ノ帳付方ヲシテ居リマス  
 一、橋本八五郎カ丸山氏他ニ支拂ヲシタ事ニ付イテハ私カ橋本ニ命セラレ丸山方ニ何ノ人夫ハ何  
 日警視廳ニ留メラレタカヲ聞キニ行キ半紙ニ認メテ持歸リ橋本ニ示シマシタ、前居三時丸山方  
 ニ足ヲ運シテ一切先キノ云フ通り書取リテ來テ尙ホ橋本ノ好意ニテ日當ノ割増ヲ爲シ賠償シタ  
 ノテヌアノ金ハ少シ過分ノ様ニ見エマスカ後日ノ仕事ノ都合ヲ考ヘテ橋本カ十分ノ賠償ヲシタ  
 ノテアロウト思ヒマス  
 一、橋本ハツイ此間細野ヨリ二百圓貰ツタ模様テシタ私モ四五度ハ橋本ノ爲メ細野ニ催促ニ參リ  
 マシタ

右錄取ス

明治三十八年十月二十八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

深川區古石堀町十五、人足濱榮事

中 島 榮 次 郎

三十五才

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、木年年九月五日朝七時頃丸山民治宅ニ行キタルニ今日ハ日比谷ニ行クノタト云ハレマシタ私  
 ノ參ツタトキハ七八人集ツテ居リマシタ午前九時頃ニ人數カ揃ヒ島屋ヲ合ハセ二十一人連レ立  
 チ行キマシタ

一、公園ノ手前ノ或ル建物ノ處テ泰次郎ニ旗ヲ持ツテ行ケト云ハレ小旗七本ノ内一本ヲ私カ持テ  
 公園ニ行キマシタ公園ニ入ラウトスル時分ニ私ハ足ノ小指ニ怪我ヲシタ故持ツテ居ル旗ヲ門ノ  
 内ニ抛ケ込ミ歸リ應ケニ新富座ニ行キタルニ人カ多クテ行カレス新富町ノ角ノ交番ノトコロヨ  
 リ引返シ丸山宅ニ午後三時頃歸リマシタ  
 一、日當ハ六日ニ丸山民治ヨリ金一圓ヲ貰ヒマシタ其後五六日ヲ經テ酒手トシテ民治ヨリ五十錢  
 ヲ貰ヒマシタ



夫レカラ警視廳ニ九月十六日拘引致サレ一晚留メラレタ翌日放免サレマシタ警視廳ヨリ下カリタル日民治ヨリ一圓貫ヒ五六日ヲ經テ又タ一圓紙ニツミテ貫ヒマシタ合計三圓五十錢貫ラヒマシタ

右錄取ス

明治三十八年十月二十八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

深川區西平野町一番地人足藏新事

伊藤新吉

二十七歳

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、本年九月五日夜八時五十分頃丸山民治宅ニ行キタルニ民治カ今日日比谷公園ニ仕事カアルカラ行カナイカト申シマシタ私ハ其當時脚氣病ヲアリマシタカラ仕事ハ出来ナイト答ヘタルニ民治ハナニ椅子ヲ片付ケル位ノ事ヲアルカラ骨折ルコトヲハアルマイト申サレタ故行ク氣ニナリマシタ私カ丸山宅ニ行ツタ時ハ已ニ十八九人ハ一歩先キニ出懸ケタ時ヲシタ  
二、公園テハ私ハ何モ持タヌ人ニ付イテ行キマシタ門ノ處カ雜關ヲシタカラ暫ラク立ツテ見物シテ居リマシタカ餘リ混雜故脚氣テハ迎テモ叶ハヌト思ヒ門へ遁入ラスニ丸山宅ニ歸宅シマシタ夫レカニ時半カ三時頃ヲシタ

二、貫錢ハ丸山ノ母カラ其日内金タトテ一圓貫ヒマシタカ其後ハ一文モ貫ヒマセン

右錄取ス

明治三十八年十月二十八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎



(憲警第一六八號ノ第一ノ一)

明治三十八年九月六日

第一憲兵隊長 内田 忠直

東京地方裁判所検事正奥宮正治殿

東京市内騷擾事件ニ關スル東京憲兵分隊長瀧元次郎以下連名ノ報告書別紙差出候也

報 告

明治三十八年九月五日辯和問題國民大會開催ニ關シ取締狀況左ノ如シ

一、本日午前七時頃ヨリ日比谷公園ニ合同セントスル會員及ヒ群民ハ公園外ニ集合セリ殊ニ日比谷門(正門)及ヒ東北隅門前ハ午前十一時頃ヨリ電車路ノ外道路ハ殆ント充塞セリ然ルニ公園ノ各入口ハ豫テ木材ヲ以テ閉塞シ其各入口ニハ警部巡查約二三十名ヲ配置シ公園周圍全部ニ巡查ヲ配置シ入ラントスルモノヲ拒止セリ

二、是ヨリ先キ警視廳ニ於テハ本日ノ集合ハ治安ニ妨害アリトシ其集合ヲ禁止スル旨ノ通報ヲ受ケタルヲ以テ非常警戒ニ備ヘン爲メ各分遣所ニ下士上等兵ノ内一名ヲ殘留シ他ハ悉皆分隊ニ召集セリ其人員將校二、下士以下二十八名ナリ

三、本日午前九時頃ヨリ上等兵數名ヲ日比谷公園附近ニ派遣シ置キタルニ該上等兵ヨリ第一項ノ如キ報告ニ接セシヲ以テ午前十一時分隊長ハ下士以下十一名ヲ率ヒ日比谷公園ニ出張シ左ノ通り配置セリ

而シテ殘員ハ豫備隊トシテ分隊ニ置ケリ

東北隅門二名

日比谷門四名

他入口一名宛

尙一名ハ周圍巡廻

四、正午十二時ニ至リ日比谷門前ノ會員及ヒ群集ハ「ヤレ」「」ノ聲ヲ發シテ沙瓦石木片等ヲ警察官ニ向テ投棄シ始メイヨク混雜ヲ來シタリ故ニ分隊ニ殘置シタル豫備隊ヲ現場ニ出張セシメタリ然ルニ巡查憲兵ノ拒止モ效ナク遂ニ正午十二時五十分ニ至リ警戒口ヲ押シ破リ公園内ニ闖入シ運動場ニ約二千名集合セリ此際警部負傷セシ趣キナリ煙火ヲ相圖ニ萬歳ヲ唱ヘ以テ運動場ニ高臺(松本樓ヨリ人夫休ノ者運搬セシモノ)ヲ置キ別紙決議ヲ爲セリ(別紙決議ヲ略ス)決議明瞭者ハ河野廣中ナリ其前ニ高臺ニ上リ簡單ナル演説ヲ爲シタルモノアリ體格肥滿シ聲ヲ有セル



四十前後ノ紋付羽織ヲ着セル紳士風ナリシ其演説ノ要旨ハ附近喧騒ニシテ聞取ル能ハザリシ公  
園内ニ入りタル群集中ニハ小ナル國旗ヲ携帶セルモノ二百余名アリ該國旗竿ノ上部ニ黒紙ヲ附  
着シ尙ホ國旗ニハ「吊燐和」ノ文字ヲ記入シアリタリ

五、右決議ヲ爲ス時ハ人夫休ノ者大旗數旗ヲ建テ居レリ其旗ハ會員カ携帶シタルモノナラン而シ  
テ旗竿ノミハ人夫等カ携帶ナシ園内ニ入りタルモノナリ右旗ニハ左ノ文字ヲ大書セリ

婦和問題國民大會

破 毀 破 毀

赤 賊 滅 天 地

肝 膽 一 劍 寒 等

又打上ケ煙火二回ヨリ共ニ風船ノ下部ニ長キ白布ヲ附シ其一ハ吊燐和成其他ノ一ニハ十萬ノ碧  
血ヲ奈何セント大書シアリタリ

六、前項群集ノ一部約五百名ハ婦和問題國民大會ナル旗ヲ先頭ニ音樂隊ヲ率ヒ霞關ヨリ櫻田門ヲ  
經テ二重橋前ニ至リ萬歳ヲヘ唱ヘ「君ケ代」ヲ奏樂セリ然ルニ門衛ノ警手カ制止セシニ不滿ヲ抱  
キ小石ヲ投シタルモノアリ依ツテ憲兵巡查ハ之ヲ制止シタル處群集ハ益々沙礫ヲ投シ亂暴極マ

リナシ爲メニ憲兵上等兵一名微傷ヲ負ヒ巡查中ニハ若干名負傷又ハ帽劍等ヲ奪取セラレタルモ  
ノアリタリ午後一時五十分旗ノ先頭ニ馬場先門ヲ出テ南傳馬町ヲ經テ新富町ノ新富座ニ向ヘリ  
七、新富座ニ至ル途中南傳馬町電車通りニ於テ四十歳前後ノ壯士体ノ男茶精單衣ニ古キ木綿袴ヲ  
着用シ帽ヲ冠ラヌ素足ニテ薩摩下駄ヲ穿テ小國旗ヲ持テ電車線上ニ立テ「國民ノ御通リナルヲ  
以テ電車ハ進行ヲ止メヨ一寸タリトモ動キナハ電車ヲ踏ミ破ラン尙ホ乘客ハ下車セヨ」ト叫ビ  
タリ爲メニ電車數十臺止マリ前數臺ノ乘客ハ下車セリ

八、新富座ニ午後二時三十分頃到着演説會場ニ群集シ間モナク（開會ノ趣旨ヲ半ハ朗讀シタリト  
云フ）解散ヲ命セラレタルモ容易ニ解散セス尙ホ茶屋又ハ附近道路ニ群集充滿シ茶屋又ハ道路  
上ニ在テ腕激ノ演説爲シツツアリシ此時河野廣中ハ腕車ニテ來着セシモ會場ニ入ル能ハスシテ  
茶屋ノ新駒屋ニ至レリ此處ニハ他ノ紳士等モ總テ集合シ居リタリ午後三時三十分頃ニ至リ漸ヤ  
ク引揚ケ其大部分ハ日比谷公園ニ立戻リ夫レヨリ内務大臣官邸ノ暴行ニ參加セリ（新富座迄尾  
行セシ憲兵ハ下士二名上等兵五名）

九、公園ニ集合シタル一部ト該方面ヨリ京橋區日吉町國民新聞社前ニ約一千名午後二時三十分集  
合セリ其人物ハ主トシテ勞働者及ヒ學生風体ノ者ナリ而シテ憲兵巡查ノ制止ヲ背セス新聞社内



ニ闖入シ諸器械及ヒ建物類ヲ破壊シ尙ホ外部ヨリハ瓦石ヲ投ケ込ミ亂暴狼籍ヲ極メタルヲ以テ一名ノ憲兵上等兵ハ拔刀シ爲メニ漸ク之レヲ制止スル後午後四時頃暴民ハ同所ヲ退去セリ此間憲兵上等一名負傷尙ホ巡查數名社員ニモ多少ノ負傷アリシカ如シ（此處ニ憲兵上等兵四名出張セリ）右公園ヨリ來リタル一部ハ三菱ヶ原ヲ經テ報知新聞社前ヲ通過セル際該新聞社ノ階上ヨリ社員ラシキ數十名ノ「ハンカチーフ」又ハ帽ヲ振り上ケ暴民ニ對シ萬歳ヲ唱ヘタリ

十、午後三時四十分内務大臣官舎等附近ニ漸時集合シ來リ憲兵巡查ノ制止ヲ背セス本門ノ詰所ヲ破壊シ引續キ通用門附近ノ建物ヲ破壊シ或ハ瓦石ヲ投スルコト頗ル甚シク五時頃ニ至リ幾キニ新宮座ヨリ引揚ケタル多數之レニ加ハリ大ニ勢力ヲ増シ遂ニ官舎内ノ建物ニ放火シ官舎本邸ニ闖入セントスルヲ以テ憲兵巡查ハ之レヲ防止スル際巡查ノ拔劍セシヲ以テ不法ナリト叫ビ警察官ニ向ツテ瓦石ヲ投シ約五十名ノ負傷者ヲ出シ又憲兵上等兵モ二名之レカ爲メニ負傷シ其他投石ニ觸レタルモノ憲兵士官以下五名アリ彼等ノトキニモ巡查ノ拔劍ニ觸レ約三十名ノ傷者ヲ出セリ警察官吏ノ負傷者ハ官舎内ニ收容サレ暴民ノ負傷者ヲ胃腸病院ニ收容シタリ午後七時頃近衛歩兵第一聯隊補充大隊ヨリ一小隊派遣警戒ニ任シタルモ彼等ハ尙ホ官舎及ヒ巡查ニ對シ他迄暴行ヲ繼續セントスルヲ以テ警察官ハ内部ノ取締ニ轉セシメ外部即チ暴民ニ對シテハ專ラ憲兵

及ヒ步兵ニテ制止ノ任ニ當リタルカ尙ホ又タ午後八時頃本門ノ北側ノ建物ニ放火セシモ直チニ消シ止マタリ偶々増員トシテ全聯隊ヨリ中隊長ノ二個小隊到着シ警戒漸ク嚴ナリシヲ以テ彼等モ手ヲ出ズノ際ナキニ至リ道ヲ隔テ反對ノ一側ニ引揚ケ尙ホ對峙シ依然瓦石ノ放投ヲ繼續シツツアリシカ漸ク午後十時半頃ニ至リ全所ヲ引揚ケ其一部ハ京橋一部ハ芝一部ハ神田ノ各方面ニ向ヒタリ（憲兵將校以下十數名各出張）

右混雜中大宮職大岡使人殿下ノ御使トシテ右官舎ニ見舞ハレタリシカ其際官舎附近ノ暴民ヨリ放投セシ瓦石ノ爲メ左側ニ二ヶ所ノ微傷ヲ負ヒ又同車夫モ脚部ニ負傷セシト聞ク然レトモ使命ヲ果シ午後八時三十分頃憲兵上等兵二名ヲ以テ青山御所マテ護衛セリ途中異狀ナシ

十一、以上ノ如キ状態ニ陥リ倍々不穩ヲ極メ尙ホ各大臣又ハ各所ニ對シ暴行ヲ爲サントスルノ狀況ヲ察知セシヲ以テ憲兵ヲ數次ニ數名宛配置シ警戒ニ任ンセシメタリ

十二、午後八時三十分頃外務省正門外約三百名集合セシヲ以テ憲兵巡查ハ拔刀制止セシ處裏門ニ廻リ之レヲ制止スレハ正門ニ廻ハリ一前一退有カナル抵抗ニハ至ラヌシテ漸次日比谷方面ニ退去セリ其後警戒トシテ步兵隊到着セリ（憲兵下士以下五名出張）

十三、午後九時三十分頃桂首相私邸へ四五十名宛各個群ヲ爲シテ來リ不穩ノ狀況ナル旨報告アリ



シカ恰カモ歩兵第一聯隊ヨリ歩兵少尉ノ率ユル二個分隊到着シ尙ホ松方邸派遣ノ一個分隊ト連絡シ且ツ芝増上寺ニ在リシ歩兵一小隊之レニ加ハリ威力ヲ増加セシ爲メ暴民モ稍々逡巡ノ色ヲ呈シ其附近ニ在リテ六日午前二時ニ至ルモ尙退去セヌ然レトモ警戒已ニ嚴ナルヲ以テ邸内ニ闖入シ能ハツリシ(憲兵上等兵二名出張)

十四、米國公使館及ヒ帝國ホテルニ宿泊中ナル同國人數名五日夜大藏大臣官邸ノ晚餐會終局後午後九時過同邸ヨリ米國公使館公使其他ヲ憲兵ニテ護送シタリ公使ノ未タ歸館セサリシ以前ニ於テ同館ニ對シ暴民約一千名襲來シタルモ衛兵ニ於テ防止シタル趣キ憲兵ノ報告ニ接セシヲ以テ直チニ憲兵二名ヲ派遣シ警戒ニ任セシメタリ尙ホ一面憲兵ヨリ直接陸軍省ニ急報セシヲ以テ以前ヨリノ警戒歩兵一小隊ニ尙ホ二小隊ヲ増加シ專ラ警戒中ニアリ

尙ホ開ク處ニ依レハ右ホテル宿泊ノ米國人ハ大藏大臣官邸ニ赴ク途中ニ於テ多少ノ暴行ヲ受ケタル趣ニテホテル宿泊ヲ見合セ公使ト共ニ同國公使館ニ至レリ

十五、首相官邸ニハ上等兵三名出張山縣元帥自邸ニ上等兵二名、大藏大臣官邸上等兵二名及ヒ大和新聞社上等兵二名并ニ日本銀行上等兵一名電話交換局上等兵一名ヲ出張セシメ夫々警戒中ナルモ異狀ナシ

十六、午後八時三十分頃内幸町巡查派出所第一若トシ虎ノ門内芝區櫻田本郷町同警察町其他新橋、京橋、日本橋、神田、本郷、小石川、下谷、本所各方面ノ分署派出所等悉ク放火若クハ破壊シ六日午前一時過ニ下谷警察署ヲ燒棄セリ

尙ホ警視廳ヲモ襲來セシカ巡查拔劍防止セシヲ以テ遂ニ暴行ヲ退フヌルニ至ラヌシテ退去セリト聞ク午後九時頃虎ノ門内派出所ニ放火ノ際憲兵上等兵一名同所ニ於テ左股部ニ稍々重キ刺創ヲ負ヒシヲ以テ直チニ東京豫備病院ニ入院セシメタリ

十七、午後八時頃中山侯爵邸ニ見舞トシテ高輪御殿ヨリ吉田嘉市ヲ差遣ハツレタル處其途中内務大臣官邸前ニ於テ暴民ヨリ暴行ヲ受ケタルヲ以テ一時内相官邸ニ之レヲ避ケ同八時三十分頃憲兵上等兵ノ護衛ニ依リ中山邸ニ至リ使命ヲ果タシ同邸ニ宿泊スルコトナレリ

十八、樞密院議長官舎ハモ午後十一時頃多衆襲來セシモ衛兵巡查ニ於テ防止シ退去セシメタリト聞ク

十九、六日午前一時頃ニコライ會堂ニ暴民數百名襲來セシモ之レヨリ先キ警戒ノ爲メ派遣ノ騎兵百三十名及ヒ憲兵上等兵ニテ退去セシメタリ此際騎兵上等兵一名負傷セシ趣ナリ  
右及報告候也



明治三十八年九月六日午前三時

東京憲兵分隊長

陸軍憲兵大尉	瀧元次郎
陸軍憲兵少尉	黒石憲治
陸軍憲兵曹長	清本熊藏
同	石田鐵次郎
陸軍憲兵軍曹	上田毅助
陸軍憲兵伍長	宮本樂次郎
同	山野井祐三郎
陸軍憲兵伍長	安部茂市

總取書

明治三十八年十月十三日

被告事件ニ付キ深川區清住町二十五人夫受負業坂部健次郎ハ當職ノ通知ニ依リ任意東京地方裁判

所檢事局ニ出頭シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、深川ニハ倉入、小揚、解ノ人足ニ關スル三業組合トイフモノアリソノ組合帳場ノ勘定方ヲシテ居ル翌月トイフ人カ本年九月五日午前十一時頃私ニ今日人夫十人ヲ出シテ呉レト注文カアリマシタ而シテ其仕事ハ新富座ニ行キテ細野次郎サンヨリ豫テ出シテアル何トカ券ト引換ヘニ傍聽人ニ酒ノ二合燗一本ツツ配ルコト及ヒ下足番ナトノ手傳ヲヌル位ノ事タトイフコトヲシタ

一、仍テ私ハ其日ノニ雇入レル人夫ノ内倉吉、市藏、福平、太田勘次、稻藏、鐵次郎、虎藏、春吉ノ九人ヲ連レ私ニ合セテ十人テ午後一時過キ新富座ニ至リ出方ノ居ルトコロニ溜ツテ居タレハ或ル巡查カ今下足ノ方カ取込ムカラ其手傳ヲシテクレト云ハレタルニ由テ一同入口ノ方ニ行キ手傳ヲイタシマシタ

一、暫ク經ツト新富座ニ向テ右ノ端ノ門カ押破ラレテ群衆カ闖入セントシ巡查カ持餘シテ居リマシタ私ハ大キナ丸太ヲ持參リ之ヲ横タヘテ群衆ノ押入ルノヲ防イテ居リマシタカ其内瓦ヤ石ヲ外カラ投付ケ危險ヲ溜リマセンカシ一同樂屋ニ逃込ミマシタ間モナク巡查カ三名樂屋ニ來リ今日お前方ノ働キハ格別テアツタトテ御挨拶ヲシテ下サレマシタ私共ハ巡查ノ手傳シタ爲メ或ハ人民ノ怒リニ觸レハセサリシカト恐レ其口ノ門ヲ明ケテ費ツテ其處カラ深川ニ歸ヘリマシタ



- 一、酒ハ二尺ニ三尺位高サハ棚ノ箱ニ入レテアリマシタ其箱ノ數カ十二位アツタノヲ見マシタ  
何トカ券ト引換ヘハ一本モイタサヌ内混雜ニナリマシタ
- 一、私共ハ夫ハ豫メテ三業組合ニ備ヘアル印半天背中ニ大キク米ト米ヲ賣イテアリ襟ト米穀水揚  
方ト賣イテアル印半天ヲ捕テ着テ變ヘリマシタ私モソレヲ着テ行キマシタ
- 一、實錢ハ當日一名ニ付キ五十錢ヲハ望月ヨリ貰ヒマシタ
- 一、私共ハ望月ト共二十一人先月十日ニ警視廳ヲ取調ヘテ受ケ一同放還サレマシタ

右録取ヌ

檢事 安住時太郎

録取書

東京市深川區龜住町二十七番地

望月 千 秋

四十八歳

右ハ本職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ深川三業組合ノ水揚方勘定係リヲシテ居リマス水揚方トハ船ヨリ米穀ヲ揚陸シテ倉庫ニ  
運フ迄ノ仕事ヲス

橋本八五郎ハ藏入方ヲ私ノ方トハ別ニナツテ居リマス丸山民治ハ單ニ人足ヲアルニ過キマセン  
一、水揚方ニハ稻佐吉ト云フ人カ世話ヤキテ其下ニ小世話ヤキカアリマス坂部健次郎ハ其小世話  
ヤキノ一人ヲス

一、本年九月五日午前十時澁澤喜作ノ店ヨリ帳場ノ人ニ一寸來テ呉レトノ事ヲシタカラ私カ參ヘ  
リタルニ澁澤ノ支配人植原トイフ人ノ云フニ細野次郎ヨリ今日新富座ニ人足ヲ出シテクレトノ  
相談カアツタケレトモ一旦斷ハツタカ細野ハ手カナクテ困ツテ居ルタロウアマリ氣ノ毒ユエ出  
シテ遣ロウト思フ就テハ今日手ノスイテ居ル人足カアレハ辨當料位ヒハコチヲ出スカラ十八人ハ  
カリ人足ヲ出シテ貰ヒタイ而シテコレハコチヲ好意ヲ出スノテアルカラ好意ノ先方ニ届ク様  
十分注意シテ呉レ先方ニ行ツタラ細野ニ逢フテトウソ人足ヲ遣ツテ呉レヨト申述ヘタトノ事ヲ  
アリマシタ

一、仍テ私ハ帳場ニ幸ヒ坂部健次郎カ來テ居マシタカラ同人ニ頼ミ人足ヲ寄セテ改アトモ十人出



來者ナニ出役半天(帳場備付ケノモノヲ背ニ朱色ヲ大キツ米ノ印ヲ付ケテアリマス)ヲ着セ私共  
 十人揃テ正午頃新富座ニ參ヘリマシテ早速細野ヲ尋ネタルニ居ラス川島所司ト云フ人カ(其人  
 ノ名刺ハ于今所持ストヲ提出セリ)云フニハ細野ハ未タ見ヘヌカ兎モ角正宗ト鯛ヲ引換ヘニス  
 ル切符カ傍聽人ニ出テ居ルカラ其引換方ヲ手傳フテ貰フンテアルト申サレマシタ、處カ間モナ  
 ク會ハ仕舞ニナリ終ニ細野ニ逢フコトハ出来ヌ困ツテ居リマシタ、最後ニ小川トカイフ人カト  
 一モ御苦勞テアツタモ一引上ケテ吳レト申サレマシタ故裏口ノ木戸ヲ開ケテ貰ヒ十一人揃テ  
 歸ヘリマシタ、帳場ニ着イタカ午後三時半頃テシタ

一、新富座テ外ノ亂暴人カ左側ノ門ヲ破リ闖入セントシ巡査カ持テ餘シテ居リ其處ニ私カ連レテ  
 行ツタ印半天着シタモノカ四五人巡査ニ手傳テ居リマシタ他ノ人足ハ下足ノ方ニ手傳ツテ居リ  
 マシタ、

一、當日私ノ服裝ハ鳥打帽子カ麥藁帽、黄色ノカヌリカタヒラ、角帯ヲ羽織袴ハ若セヌ靴ヲ穿テ  
 所持品ナシ

一、新富座ヨリ歸途私一人市場ニ寄りタルニ植原カ居リマシタ故委細ノ話シヨイタシ、ツテ買錢  
 ハイクラ道ツタヲ宜敷カト植原カ申シマスカラ私ハ御志ヲ宜敷ト云フタレハ植原ハ少ナイケレ

トモ皆ナニ是丈ヤルトテ五圓札一枚呉レマシタ尤モ人足ニハ先方ニ行ク度五十錢ツツ私ノ方カ  
 ラ(稻佐吉ト相談ノ上)立替ヘテ置キタルユニ植原ノ呉レタ五圓ハ帳場ニ戻シマシタ  
 本人カ任意提出シタル米穀水揚物帳場ノ諸費帳ヲ檢スルニ左ノ記入アリ

九月 中

- 一金二圓 高橋豊吉ニ香奠
- 一金二圓 新富座演説ニ付キ人足貨不足分
- 一金一圓 騒動事件ニ付キ放免丸木屋へ車代
- 一金二圓 一同へ車代
- 一金二圓 丸木屋奉旨兩人へ手當
- 一金二圓 辨當十本
- 一金廿五錢 同一本
- 之レニ付本人説明シテ曰ク

人足貨不足分二圓トハ九月五日ニ五十錢ツツ合テ五圓支拂致シ尙私カ小遣トシテ二圓帳場ヨリ  
 所持出シ都合六圓支出シタル處へ植田ヨリ五圓貰ヒタノテ直ク戻セタ爲メ一圓丈ケ帳場ヨリ支



出シタ事ニ記入カナツテ居ルノテヌ

一、丸木屋ハ坂部ノ事ヲヌ彼ハ騒動后三日間警視廳へ留置サレマシタ、其時車代トシテ遣ツタ分  
ヲヌ

一同車代トハ十人ノ人足カ警視廳ヲ放免サレル時分ニ一同ニ帳場カラ持タセテ遣ツタノテヌ  
丸木屋及ヒ春吉ヘノ手當トハ同人カ警視廳ニ留置サレタルニ付キ手當ヲ遣ツタノテヌ  
辨當十本ハ警視廳ニテ阪部ヲ除キ私及ヒ人足等十人ノ遊支度ヲヌ廿五錢ノ手當ハ監房ニ居ル阪  
部ニ差入レタノテヌ

右錄取ヌ

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區靈岸寺町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

東京市深川區和倉町二十八番地人足業

堀 春 青

三十八歳

右ハ本職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ本年九月五日午前九時頃水揚帳場ニテ望月ヨリ新富座ノ演說會場ニ行クヲ頼マレマシ  
タ望月ノ外ニ十人皆帳場付ノ赤米印半天ヲ着ケ午前十一時頃新富座ニ着シマシタ初メ樂屋ニ一  
同扣ヘテ居リマシタカ間モナク出方カ來テ木戸口ノ方ヲ少シ手傳ヲ與レト云ヒマヌカテ木戸ニ  
到リ巡查ノ指圖ヲ下足ヲアチコチト片付ケ又廊下ニアル酒ノ罎ノ入レテ在ル箱ヲ左ノ方ノ座敷  
ニ上ケマシタ暫クヌルト左側ノ裏木戸ヲ暴行人ニ倒サレ巡查カ困ツテ居リマシタカラ之ヲ手傳  
ヲ秘ノ材木ヤ戸板ヲ横ニシテ私共カ多衆ノ闖入スルヲ防イテ居リマス處ニ望月カ來テ危イカラ  
止セト云フニヨリ私共ハ一同亦樂屋ニ逃込ミマシタ後ヲ巡查カ三人來テ今日ハ御苦勞ヲアツタ  
ト挨拶ヲ受ケマシタソレテ裏木戸ヲ明ケテ貫イ一同歸宅シマシタ帳場ニ着イタカ三時頃ヲヌ  
一、私ハ其晚一寐入リスルト間モナク火事ヲ目ヲ醒マシ深川警察署カ燒ケテ居ルトノ風評ヲヌカ



ヲ署ノ内ク裏ニシテ屋カ知邊故其處ヲ手傳ヲ終リマシタ丁度其時深川警察ノ屋棟カ燒落チタ時  
分テヌ此羅亭屋ハ元私方ニ居タル人足ハ虎吉トイフノ北處カメ女房ヲ貰ヒ世帯持タセタ緣故  
ノ家ヲヌ當夜福平、倉吉、虎吉モ私上一緒ニシテ屋ノ家財等片付手傳ヲ朝飯ハ私方カメ炊出シ  
ヲイタシテ遣リマシタ

右錄取ス

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

明治三十八年十月廿八日

檢事 安住時太郎

總取書

東京市深川區和倉町二十八番地瑞春吉方同居人足

志倉一庵 福平

二十五歲

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ本年九月五日午前十一時頃望月ノ頼ミニヨリ新富座入茶番手傳ヘニ行キマシタ同行者ノ  
望月ノ外ニ私ヲ合ハセテ印半天若タモノ十人ヲ

其人名ハ私ノ外阪部、春吉、熊次郎、勘次、倉吉、常次郎、稻藏、太田市藏ヲヌ

一、新富座ニテハ下足ノ手傳ビール箱(正宗欄入り)ヲ座敷ニ上クタ位ノコトヲヌ後ニ左ノ木戸ノ  
破レタ時多衆ノ闖入スルヲ防イテ居マシタ、望月カ危イカラ止セト云フニヨリ樂屋ニ引揚ケ午  
後三時過一同揃ツテ歸ヘリマシタ

一、其夜警察署ノ裏ノ虎吉ノ妻ノ實家ヲ屋ニ火事ノ手傳ニ行キマシタ、春吉宅ヨリ朝炊出ヲ受  
ケタハ事實ヲヌ

右錄取ス

明治三十八年十月二十八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

二百三十七



聽取書

二百三十八

東京市深川區西平野町一番地ヲオカヘ業  
高橋 桑三 郎

四十九號

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲セリ

一、私ハ色川虎吉ニ娘ヲ嫁シテ居リマヌ

一、深川警察署ノ燒ケル時虎吉、春吉、春吉宅ノ若イモノ二人手傳ニ來テ吳レ諸道具ヲ片付ケテ

貰ヒマシタツレハ學校ニ火ノ移タ頃テヌ彼等ハ皆稻春ト書イタ春吉宅ノ提灯ヲ付ケテ來マシタ

朝ノ焚出シハ春吉方ヨリシテ貰ヒ一同喰ヘマシタ

右錄取ス

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

東京市深川區和倉十八番地鍋屋喜助方同居人足倉吉事

字 佐 美 藏 之 助

廿九才

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲セリ

一、本年九月五日望月ニ頼マレ新富座ニ出役ニ行キマシタ望月外人足私ヲ入レテ十人テヌ皆ナ股

引腹掛ニ赤米印ノ半天ヲ帳場ヨリ借リテ行キマシタ新富座テハ巡查ヲ手傳テ亂暴人ノ押込マン

トスルノヲ防イタ位テ私共カ亂暴シタ様ナ事ハ決シテアリマセン十二時頃行キ午校三時頃歸ヘ

リマシタ往復トモ歩行シマシタ賃錢ハ行ク前帳場テ皆ナ五十錢ツツ望月ヨリ貰ヒマシタ

一、當日夜ハ深川署ノ火事ノ時色川春吉ノ妻ノ實家ヲヲ屋ニ見舞ニ行キマシタ春吉、福平、勘次

虎吉ノ行ツテ居ルノヲ見マシタ夜明迄居テ春吉ノ焚出ヲ食ヘマシタヲオ屋ニ夜ニハ「稻荷線」ト

記シタル細長イ提灯カ三ヶ點ケテアツマシタ

右錄取ス

二百三十九



明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區盤岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

東京市深川區盤岸町二人足

加藤常次郎

三十四歳

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲セリ

一、私ハ本年九月五日丸太橋ノ邊ニ春吉ニ連レシ三業組合ノ帳場ニ行キ新ラシキ赤米印半天ヲ着セラレテ新富屋ノ演說會場ニ十人許リ參ヘリマシタ其買錢ハ行ク時春吉ヨリ五十錢貰ヒマシタ新富屋ニ騒動ノ起ルヤ否ヤ私ハ陸ノ方ヘ逃ケ込ミマシタ午後四時頃歸宅シマシタ

右錄取ス

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區盤岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

東京市深川區數矢町二十九番地人足

太田周吉

三十九歳

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲セリ

一、本年九月五日丸太橋ノ處テ望月ニ頼マレ新富屋ニ茶番ノ手傳ヘニ參ヘリマシタ望月ノ外二十人皆印半天着テ行キマセシ買錢ハ行ク時望月ヨリ五十錢貰ツタ丈ケテ先方ニ行ツテカラ巡査ノ指圖ヲ下足ノ進ヒ方酒ノ



箱ノ上ケ方ヲ手傳ニ後ニ傍聴込カ外トカラ押込マントスルヲ防イテ遣リマシタ  
右録取以テ...

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區盤岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住 時太郎

東京市深川區盤岸町七番地淨心寺

聴取書

東京市深川區黒江町六番地人足

根本 市太郎

三十五歳

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ本年九月五日翌日ニ頼マレ新富座ノ演說會ニ行クト奉告ヨリ五十錢貰ヒマシタ其夜ハ十

時迄女房ト共ニ水天宮ニ參ヘリテ其後ハ外出シマセン

右録取ス

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區盤岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住 時太郎

聴取書

東京市深川區糞江裏町百七十五番地人足

永田 鐵太郎

十九才

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ本年九月五日翌日ニ頼マレ新富座ノ手傳ニ行キマシタ其夜ハ稻藏ト一緒ニ洲崎ニ行キ午



後八時頃越江樓ニ上リ女郎買シマシタ花山ト云フ娼妓ヲネ箱藏丈ハ夜十一時頃歸宅シマシタ私  
ハ朝迄泊マリマシタ

右錄取ス

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

東京市深川區西平野町一番地久左衛門長男人足業

關口 稻藏

二十五歳

右ハ當職ニ對シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ本年九月五日望月ニ頼マレ新富座ノ手傳ヒニ行キマシタ、亂暴ハイタシマセン、其日ハ  
夕方鐵太郎ト共ニ洲崎音遠江樓ニ登樓シ十一時頃迄ニ歸ヘリ、深川警察ノ燒ケル時ヲ方屋ニ手  
傳ヒニ行キマシタ

右錄取ス

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所

檢事 安住時太郎

聽取書

東京市深川區西平野町一番地關口久左衛門方同居人足

佐藤 勘次郎

二十二歳

二百四十五



右ハ當職ニ對シ陳述ヲ爲シタリ

二百四十六

一、私ハ本年九月五日卯月ニ頼マレ新富座ノ茶番ニ手傳ニ行キ夜ハ勝次郎箱藏ト共ニ洲崎ヲ索見シ私丈ハ午後九時頃歸宅シマシタ夜中ニ深川署ノ出火トイフテ箱藏ト共ニ學校裏ノヲオ屋市太郎ニ火事見舞ニ行キ午前五時頃歸宅シマシタ

右錄取ス

明治三十八年十月廿八日

於東京市深川區靈岸町七番地淨心寺

東京地方裁判所 檢事 安住時太郎

聽取書

東京市芝區愛宕町二丁目四番地平民大工職

永田康次郎

當三十八歲

右ハ當部ニ於テ本職ノ面前ニテ左ノ陳述ヲ爲シタリ

- 一、勤章年金位階等ハ在リマセン
- 一、是迄處刑セラレシ事ハアリマセン
- 一、私ハ本年三月中ヨリ本年九月十一日頃迄引續キ日比谷公園内松本樓ニ仕事ニ參リマシタ松本樓ノ二階ノ模様替ヘラシタリ或ハ建増ヲ致シタノテアリマス
- 一、本年九月五日午前七時頃ニ松本樓ニ行ツテ日本間ノ處ニテ仕事ヲ致シテ居リマスト御遊少シ前ニナリマスト松本樓主人カ今日ハ仕事ヲ止メテツレ賃錢ハ支拂フカラト云フテ店ノ方ヲ手傳ツテ呉レト云ハレマシタカラシテ私ハ日本間ノ方ニ向ヒテ麥酒ノボンプヲ押シテ居リマシタ
- 一、私カ九月五日前朝ニ松本樓ニ行キマスト同日午前八時頃カラ辯護士タトカ云テ追々ニ二十名許リノ人カ松本樓ノ日本間ニ集リマシタ何ニカグヅツテ話シテ居リマシタソノ時ニ松本樓ノ門ヲ破ルト云フ騒ギニナリマスト二十名許リノ人違ハ何處ヘ出テ仕舞マシタカ門カ破レルト其人カハ日本間ニ歸テ來マシタ其際ニ赤色ノ小旗ヲ一抱ヘ持テ歸ツタ人モアリマシタ又雪駄ヲ一方ナツシタナトト云フタ人モアリマシタ
- 一、其二十名許リノ人ハ大會開會ト共ニ松本樓カラ出掛ケマシタ

二百四十七



一、九月五日午後四時頃ニナリマスト内務大臣官邸カ大騒動デアリマヌカテ私ハ二階ニ登テ見マシタ樓主カ私ニ今日ハ歸ラヌニ夜番ヲシテ呉レト云ヒマヌカテ私ハ屋ノ内外ヲ廻テ注意シテ居リマシタ然ル處同日午後六時三十分頃ニ松本樓ノ硝子障子ヲ叩ヒテ水ヲ飲マセロト四名ノ男カ申シマヌカテ私ハ樓主カラハ戸ヲ開テ明ケルナト申付ケラレテ居リマシタゲレトモ水ヲ呉レト云フノタカラ差支ヘハアルマイト思ヒマシテ水ヲ與ヘマシタツウシマヌト四名ノ男ハ水ヲ飲ミマシタ其際ニ四名ノ兵士カ水ヲ飲ミニ來マシタ所カ四名ノ男タチカ兵士ニ向ヒヨシナ事ヲ君等ハ來ナクモ宜シヒトカ何ントカ何ントカカラカツテ居リマシタカ兵士ハ何トモ答ヘヌニ行ツテ仕舞ヒマシタ四名連ノ男ハ松本樓ヲ出テ南ノ方ニ行キマシタ

一、其四名連レノ男ノ内ノ一人ハ晝間日本間ニ集マツタ二十名許リノ内ニ居ツタ人タト私ハ思ヒマヌ晝間日本間ニ來タ時ニハ白色ノ洋服ヲ着シテ居リマシタカ水ヲ飲ミニ來タ時ニハ白地ノ單衣ニ兵兒帶ヲ付メテヌテツキヲ持テ居リマシタ此男ハ三十五六歳位ニシテ顔面長ノ色白ク口ノ上段ハ中央ヲクツテ兩側支額カアリマシテ好男子ヲ在リマヌ次並テ在リマヌ

一、四名連レノ男ノ内白地ノ單衣ヲ着シテ居ツタ男ハ晝間日本間ニ集タ人ニ相違ナヒト思ヒマヌ私ハ麥酒ノボンブヲ押スノニハ日本間ノ方ニ向ヒテ居リマシタカラシテ顔ヲ能ク見テ居リマヌ

一、九月五日松本樓ノ二階ニ於テ演説シタ人ハ伊庭惣太郎ノ甥タトカ弟タトカ松本樓ノ人カカ申シテ居リマシタ

一、松本樓ノ番頭ハ佐藤喜一ト申スモノテヌ此喜一ニ御尋ネニナレハ其當日ノ事ハ能ク知テ居ルテヌ其當日ハ日本間ニハ貸切ト云フ札ヲ掲ケマシタ日本間ヲ事務所ニシマシタ様ナ風ヲ在リヌシタ

一、四名連レノ男ノ内二名ハヌテツキヲ持ツテ居リマシタ

右錄取讀聞タル處相違ナキ旨ヲ以テ署名捺印セリ

明治三十八年十一月七日

警視廳第一部ニ於テ

司法警察官警部

宮内宗之助

永田康次郎



暴徒犯被告佃信夫ニ關スル件

本年九月五六日東京市ニ於ケル暴徒事件ニ付佃信夫一徒ノ者カ關係セシ事實ノ證據ヲ以來引續嚴重捜査中ノ處京橋區南橫町十六番地魚商熊澤治三郎ハ佃信夫カ本件犯罪ヲ致唆シタルニ付熊澤治三郎ヲ當署ヘ呼出シ秘密取調佃信夫ノ寫眞ヲ見セシメ候處別紙聽取書ノ通り寫眞當該ノ人物ハ本年九月五日午後六時半内務大臣官舎燒毀ノ際暴風色様ノ洋服ヲ着シヌテツキヲ持テ現場ニアリテ官署ノ方ヨリ多數ノ暴徒佃信夫ノ方ヘ逃テ來リタルヲ遮リナセ逃タルカトヌテツキヲ振り勢ヲ加ヘタル現地ヲ目撃シタル旨申立ラタリ尙同日午後一時麹町區有樂町岩崎原ニ於テ國民大會ノ節暴徒等多數ニテ警察官(警部)ヲ毆打シ二十五六歳ノ者立テ演説シタル趣申立タリ右爲念此段及報告候也

明治三十八年十一月七日

京橋警察署

警視 田川 誠 作

檢事正真宮正治殿

聽取書

東京府平民

熊澤治三郎

當四十五歳

右ハ明治三十八年十一月六日午前八時本職ノ面前ニ於テ陳述スル所左ノ通り

一、私ハ東京市京橋區南橫町十六番地平民戸主熊澤治三郎當四十五歳(三月生)ナリ

當時同所ニ住ミ魚商ヲナシマス

一、私ハ前科ナク位記勳等ハアリマセヌ

問 此方ハ茲ニアル寫眞ノ人物ハ本年九月五日六日暴徒蜂起ノ際何カ暴動ヲナセシコトヲ知ルカ  
 此者ハ佃信夫ナリ

答 本年九月五日午後一時頃私ハ麹町區有樂町高田商會ノ後ノ原ニ國民大會カアリト云フ事ヲ見ニ行キマシタ行キタレハ警部ハ多數ノ群集ニ毆打セラレツアマリマシタ其後二十四五ノ男ハ演説ヲ爲シ解散トナリ一同ハ皆日比谷公園ニ行キタリ私モ日比谷公園ヘ見ニ行キマシタ暴徒等ハ公園ノ中ヲ廻ハリ解散シタコト私ハ依ツテ歸宅シタリ



晩方ニナリケルハ日比谷公園ノ近傍ニ火事カアリト云フコトヲアルカラ再ヒ見ニ行キタリ  
 内務大臣ノ官舎ハ燒ケテ居リマシタ然スル内ニ暴徒等ハ一同市街鐵道會社隣地ノ空地ヲ通過シ  
 テ逃ケ去ラントスルヤ今見タル寫眞ノ人ニ酷似スル人ハ洋服ヲ著シテヌテツキヲ持テ何故ニ逃  
 ケルカト勢ヲ加ヘツ、アルヲ見マシタヌテツキ振ツテ勢ヲ加ヘマシタ  
 問 再ヒ問フカ其勢ヲ加ヘタル人ハ此ノ寫眞ノ人即チ佃借夫ノ顔ナルカ  
 答 着物ハ異ナルケレトモ顔ハ此寫眞ノ人ニ相違アリマセヌ  
 問 何時頃ナルカ  
 答 午後六時半頃テアリマシタ  
 問 如何ナル洋服ナルカ  
 答 詳シク分ラサルモ黒鼠色テアリマシタ  
 問 有樂町ノ原ヲ演説シタル人ハ茲ニアル五枚ノ寫眞ノ中ニ當ル人ナキカ又如何ナル演説ナルカ  
 答 アリマセヌ演説ハ分リマセヌ  
 右錄取シ讀ミ聞カセタルニ相違ナキ旨申立テ署名シ無印ニ付捺印シタリ

明治三十八年十一月六日

於京橋警察署

警部 榊田 階三太郎

熊津治三郎

報 告 書

本年九月五日對露同志會ヨリ京橋區銀座壹丁目十三番地廣目屋本店ニ注文シタル人足旗等ニ關ス  
 ル帳簿等出張取調候處別冊ノ通りニシテ同店ヨリ任意提出候條注文帳簿冊相添此段及報告候也  
 明治三十八年十一月十四日

警視廳第一課長

警部 渡邊 素夫

東京地方裁判所檢察正奥宮正治殿

提 出 書



一 註 文 帳 目 登 冊

但シ九月分紙數拾八枚

右提出候也

明治三十八年十一月十四日

廣目屋本店團

警入視下應御中

竊取者

東京市京橋區銀座一丁目十三番地

廣告業廣目屋店員東京府平民

間 垣 林 太 郎

明治三十八年

右本職ノ通知ニヨリ本日午前十時當署ニ出頭任意左ノ陳述ヲナス

一、私ハ廣目屋ノ店員ヲ店ノ事務ヲ扱ツテ居リマス

一、本年九月三日對露同志會ヨリノ註文ニヨリ拵ヘタ品物及人夫其他ハ

一引札人夫廿人 受負金拾圓

一同 十三人 同金七圓十五錢

一同 九人 同金四圓五十錢

ヲ人夫ハ神田區關口町二番地人夫頭藤本清太郎ヨリ頼ミ廿人ト十三人ハ四日ニ晝間各區へ搬文ヲ配付スルタメ九人ハ夜分各電車停留所へ配ルタメ雇ハレタノラス

一煙 火 二發 受負金六圓

コノ煙火ハ日本橋區横山町鍵屋ニ製造セシメ煙火技師一人ヲ日當一圓五十錢ニテ頼ミ五日ノ日ニ日比谷公園ヲ開會ト閉會ニ各一發宛揚ケマシタ

一輕氣球 七個 受負金廿一圓

ヲ輕氣球ハ神田區柳原川岸大野銀次郎ニ製造セシメ五日ニ公園ヲ揚ケマシタ

一 大旗金巾地長サ一丈五尺國民大會ト大書ス 壹 本 受負金三圓八十錢

一 大旗天竺末綿大巾長八尺 十 本 受負金拾五圓

二百五十五



二百五十六

一木綿旗巾寒冷紗地長四尺

三十本

受負金六圓

右三種ノ旗ノ内一丈五尺ノ分ハ字ヲ書キテアリマヌカ外二種カ無地ヲヌ一丈五尺ノ分ハ吹流シ外二種ハ幟形ヲヌ

二小旗紺金巾半紙形

五十本

受負金三圓七十錢

テ小旗ハ相圖ヲヌルノニ道ツタノヲシヨウ

一 小旗紙製ニテ美濃判ノ中ニ旭日ヲ描キ其上ニ黒色ドーナツ紙巾一寸位ノモノヲ添ヘタルモノニテ其體裁ハ

コンナ風ニ出来テ居リマヌ

五千本

受負金五十圓

二 旗ハ神田通新石町(ナラシ)玩具具屋木ノ下方外二軒ヲ作ラセマシク

一音楽隊

十二人

受負金二十圓

テ井樂隊ハ下谷區入谷町百七十五番地樂長山田榮次郎ニ依頼シテ同人カ集メテ來タノテ腕章ニ

大キ金筋ト細キ金筋ト桃色ノ記號カアリ袴ハ桃色ノ揃ヒ服ヲス

右ノ外袴椅子ヲ公園ニ持參シ又新富座演說會場飾付ヲナシタル等受負金ヲ合シテ

合計百六十圓七十錢

トナリマヌ

右ノ注文ヲ受ケマシタルハ或ハ電話ニテ接リ又ハ使ヒ其他ノ方法ヲ受ケマシタル者何人ノ註文ト申ヌコトカ出来イセシムリ對露同志會ト相ヒマヌ

受負金ノ受取リハ其通リ對露同志會ヲス

又右ノ品物ハ四日ノ日中及夜分ハ掛ケ對露同志會ハ持參シ同會ノ人カ付添ツテ公園内ノ松本樓ニ運ビマシタルヲス

右證明カケルニ相違ナキ旨ニヨリ署名捺印セシム

明治三十八年十一月九日

問宮 林 太郎

於京橋警察署

警部 武田 巖 作

二百五十七



明治三十八年九月五日京橋區新富町新富座ニ於テ開催セシタル講和問題演說大會兼同志大懇  
 親會ノ狀況視察ヲ命セラレ午後二時頃新富座ニ到着シ見聞シタル處左ノ如シ也 大 概  
 一、本座ニ到着シタル際ニハ既に劇場前ニハ群衆充滿シ居リタルモ未タ不穩ノ行動ヲ爲メ者ナク  
 電車ノ交通運轉尙ホ中止サルニ如キコトナカリシ

二、午後二時十分頃左右ノ階壁ヲ越越シ會場ニ入ラントスル者アリ警官ハ之ヲ制止シ群衆ハ強ヒ  
 シテ入ラントシ同時ニ表門ノ入口ニ於テモ斯クノ如ク群衆ハ俄ニ殺氣ヲ帯ビ騷擾起リ砂礫飛ビ或  
 ハ過激ノ文句ヲ記載シタル旗ヲ振廻メ者アリ雜踏混雜ヲ極ム次テ表門入口ニ解散ト書シタル紙  
 ヲ貼付スルハ混雜ハ一層混亂ノ状態ニ陥リ電車途ニ運轉スルコト能ハサルニ至レリ

三、午後二時四十分頃河野廣中ハ羽織袴ニテ人力車ニ乘リ劇場ノ入口ニ來リ下車シ入場セント  
 スルハ群衆ハ河野氏を襲ヒ唱ヘタリ、然レトモ河野ハ警官ノ阻止ニアヒ入口ニ佇立セリ群衆  
 ハ之ヲ援助スルニ急ギ警官ニ對シテ強ヒテ入場セシメントシ甚ク雜沓ヲ極メタリ其時河  
 野ハ警官ノ阻ニ強ク答ヘリシニ警官ハコト能ハサルニ至リ河野ハ夫レカラ新駒屋  
 ニ入リ劇場ノ前ニ立寄リ新聞記者ヲ呼ビテ其狀ヲ報告セシメテ亦入場スルコト能ハシテ新

駒屋ニ入りタルカ如シ

四、午後三時半頃ニ至リ劇場附近ノ群衆モ退散シ初メタルト共ニ稍ヤ靜穩ニ向セリ

此間始終警察官及憲兵ハ百方之レカ鎮撫ニ盡力セルヲ目撃セリ殊ニ乘馬ノ一警部ノ如キハ常  
 ニ頭ヲ左右ニ振り手ヲ以テ慰撫スルカ如ク言語ト共ニ其舉動最モ穩當ニシテ此方面ハ爲ニ甚シ  
 キ衝突ヲ見ルコトナカリキ

右報告候也

明治三十八年九月五日

東京憲兵分隊

陸軍憲兵伍長

安信茂二郎 同

明治三十八年十月十一日

報告事件ニ付駒田區關口町ニ藤本清太郎方藤本新造ハ當職ノ通知ニ依リ任意東京地方裁判所檢  
 査官ニ付



本局に出頭シ左ノ陳述ヲ爲シタリ

一、私ハ人夫受負業藤本清太郎方店員ヲヌ清太郎ハ豫テ廣目屋ト人夫ヲ出スコトニ付テ特約ヲ結  
ンテ居リマス

一、本年九月四日夜廣目屋ノ店員間柄シテ人夫廿人出シテ與レトノ申込カアリマシタカテ十人丈  
ケハ内ノ人夫ヲ跡ノ人夫ハ臨時ニ募リテ廿人差出シマシタ彼等ハ朝七時ヨリ夜マテ引札配ハリ  
ニ使ハレタソトナス、日當ハ四十錢ノ約束ニテ各人夫ニ渡ヌハ三十錢ツ、私ノ方テ立替拂ツテ  
アリマス廣目屋ト私方ノ勘定ハ十四日三十日ニ致シマス  
一、其翌五日ニモ廣目屋ノ申込ニヨリ人夫十三人出シマシテ前日ト同シ仕事ヲアリマシタ尤モ此  
外ニ二人丈ケ廣目屋ノ店ノ仕事ニ使フト云フコトヲ其日當ハ四十八錢ヲヌ十五人ハ朝七時頃出  
シ替ソレノ日ノ内ニ歸リマシタ

右錄取ス

東京地方裁判所

検事 安住時太郎

受發第三九五二三號

本日御調ノ九月五日國民大會ノ際新富座前ニテ假領置ヲセル旗ノ件左ノ如シ

一、本年九月五日午後二時頃方二尺余ノ唐縮緬製日ノ丸ノ旗ノ四條ニ黒キ輪郭ヲ畫シ吊揚和成立  
ト記セル左圖ノ如キ旗ヲ竿頭ニ付ケ管内新富町劇場新富座前ニ來リコレヲ打振リツ、何事カ叫  
ヒ居ルモノアリ當時同座ニ於ケル演說會ニ解散ヲ命シ場ノ内外共非常ニ喧擾シ居リシカ治安ヲ  
害スル虞アル物件ト認メ行政執行法ニヨリ其携持者ヨリ該旗ヲ假ニ領置セシカ其携持者ハ混雜  
ノ間ニ何レハカ立去リ何者ナルカ不明ナリシモ同月十九日ニ至リ本郷區菊坂町六十一番地雜誌  
記者松本順吉ナルモノ出署シ其際該旗ヲ携持シ居リタルハ自分ナル旨申立テ猶該旗ノ下渡ヲ請  
求シタルカ該旗ハ行政執行法ニヨリ卅日間ノ假領置處分ヲナシタルモノナルコトヲ告ゲタリシ  
ニ其滿期ノ後十月十一日ニ至リ同區千駄木町百九十六番地江高方江川藤四郎ナルモノヲ代人ト  
シテ下付請求セシメタリ先是松本ノ人物等取調タルニ下付差支ナキモノト認メ其儘下付シタリ  
右及報告候也

京橋警察署長

明治三十八年十二月廿四日

警視 田川 誠 作



東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

國民大會籌備會ノタメニ音楽ヲナセシメ樂長ヲ對シ取調ニ止ル取書ヲ作成世官ノ差出ヌルキ旨  
東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

昭和三年六月十八日

東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

東京府東京市下谷區入谷町百七十五番地平民音楽師

山田 榮次郎

右本日午後三時本廳ノ通知ニヨリ音樂會ニ出頭國民大會當時ノ状況ニツキ任意左ノ陳述ヲ爲ス

- 一、私ハ市中音楽隊ノ樂長トシテ
- 一、本年九月四日銀座ノ廣目屋カラ樂書ニテ五日ノ午後十二時三十分迄ニ國民大會ノ委頓ナル
- 一、ヨリ一組(十二人)ノ樂隊ヲ日比谷公園橋本樓差出シテ與ヘトノ通知ヲ受ケマシタ
- 一、五日ノ正午少シ前ニ私ハ十一人ノ音楽手ヲ進レテ日比谷公園ニ参リマスト最早公園ハ警官ノ
- 警戒ノ爲メ入ルコトヲ出来マセンテシタカ警官ニ頼マシテ來タ譯ケテ話メト樂隊ナラ港支ナル
- 一、ト云フテ入レテ貴ヒ松本樓ニ参リ二階ニ持ツテ居リマシタ
- 一、ヨリ時ニハ大會ノ關係者ヲシキモノ凡ソ十五六人同樓ノ二階ニ居リマシタ
- 一、暫ラシムルト公園内カ澤山人カ入込ニ非常ニ混雜シテ参リマシタカ幹事ラシキ人(人相等記
- ノヒタ)下ニ行ツテ樂隊ヲ與ヘト云ハレマシタ下ニ参リ混雜ノ中テ君ケ代ヲ参シ多數ノ人
- ハ萬歳ヲ唱ヘマシタ
- 一、ソレカラ新富座ニ行ツテ與ヘト云ハレマシタカ其後ソレヲ音楽會ノ邊ニ参リマシタ



前へ行クノタカラ奏樂ヲシナカテ行ツテクレト云ハレシタカ太鼓ノ吊革ハナシ不便ナルト申スト是非何トカ工夫シテ與レト云ハレマヌカラ松本樓ニ待タセテ置イタ小使ノ處へ人ヲ遣リ吊革ヲ取寄セテ列ニ加ハリマシタコノ時行進ノ曲ヲ奏シマシタ

一、最早列ハ余程行進シマシタ爲メ樂隊ハ列ノ余程後方ニナリマシタカ兎ニ角續ヒテ霞門カラ櫻田門ヲ入り二重橋外ニ整リマスト君ケ代ヲ三唱セヨト幹事ヲシキ人カ申スノテ君ケ代ヲ奏シ初メルト警部カ來テ止メロト申シマシタカ国歌ヲ中止スルハ長シ多イカラ止メマセンテシタカ其内ニ非常ノ混雜ニナリ石カ飛フノテ石カ喇叭ノ口ニ入ル様ナタメニ三度目ハ満足ニ奏スルコトカ出來ヌニ止メマシタ

一、夫レカラ新富座ニ行クト云フンテ列ハ馬場先門ヲ出テ行進ヲ始メマシタコノ列ニハ國民大會ト記シタ大旗其外慷慨ナ文字ヲ記シタ旗ヲ澤山建テ居リ又旭ノ丸ノ旗ヲ紙ヲ拵テ上ヘ黒紙ノ一寸巾位ノヲツケタ小旗ヲ携ヘタ者カ澤山アリマシタ

一、大旗ヲ持ツタ人ハ公園ニ居ル時ニ襟ニ烏吉ト染メ坂キノ夕半天ヲ着テ居リマシタト思ヒマス屈究ナ人物ヲシタコノ外旗持ハ十二三人モ居リマシタ何レモ印半天ヲ着テ居ルニ似テ立派ナ漢語交ノ言葉ヲ遣ツテ居リマシタ

一、ソレカラ鍛冶橋ヲ出ルト年頃四十余ノ巡查部長カ參リ大旗ヲ取ラウトヌルト旗竿カ折レマシタ所カ其本ノ方ノ長サ七尺斗リノ竹ノ折レテ巡查ヲ打チマシタソレハ大旗ヲ持ツテ居タ人ヲヌカソノ爲メニ巡查ハ一時倒レマシタカ又起キ上ツテ追ツ蒐ケ行キマシタカ其跡ハドウナリマシタカ旗ト別レテ知リマセン

一、ソレカラ白魚橋ヲ渡リ新富町ノ竹葉草ノ所ヘ參リマスト春廣ノ服ヲ着ケ鼻下ニ髯アル三十五六位ノ人ト盲騎ノ袴ヲ着ケタ三十五六位ヲ臆髯ノアル壯士体ノ人カ何ニカ哀レナ曲ト云フト何カヨカロツ別ニ無ヒト云ヒマスト葬式ノ時ニ使フ曲ヲモヨイト申サレマシタカ葬式ノ曲ヲ奏ヌル譯ニモ行カヌカラ唱歌ノ松島ノ曲ト云フ陰鬱ナ曲ヲ合奏シツ、新富町ノ交番所ノ角ヘ參リマスト此處ニハ多數ノ人カ居テ混雜シテ居リマシタタメ奏樂ハ止メマシタ

一、ソレカラ新富座ヘ這入ラツト思ヒマシタカ表カラハ入レマセンカラ裏口ヘ行キマシタカ此處ニモ巡查カ居テ這入ラレマセンカラ暫ラク立ツテ居ルト演說モ解散サレタト聞キ又幸ヒ小使カ車ヲ持ツテ來マシタカラ樂器ヲ化粧ヒ歸路ニ就キマシタ其時ハ午后三時四十分頃ヲシタ

一、別段哀レナ曲ヲ奏セヨト云ハレタ人ニ打タレナトハシマセン

右讀開ケタルニ相違ナキ旨ニヨリ署名ノ上押印セシム



明治三十八年十一月十七日

山田 榮次郎

於京橋警察署

警部 武田 巖作

暴徒ニ關スル報告

本年九月五日當所轄内日比谷公園ニ數萬ノ暴徒來集シ次ヲ宮城ニ重橋前内務大臣官邸等ニ於テ暴動ヲ爲シ又ハ電車及ヒ巡查派出所ヲ燒燬シ當署ニ來襲セントシタル狀況ヲ左ニ記載セン

一、本年九月四日講和問題同志聯合會員タル東京市麻布區谷町四十八番地高田三六ナルモノ同月五日午後一時ヨリ日比谷公園ニ於テ屋外集會ヲ開催ノ旨當署ニ届出テタリ本會ハ對露同志會櫻田俱樂部青年國民黨南佐莊黑龍會江湖俱樂部同志記者俱樂部二十日會等ノ聯合シタルモノニシテ日露講和談判ノ開カルヤ之カ條件ヲ非トシ本年七月七日各委員ハ日比谷公園松本樓ニ會シ當聯合會ヲ組織シ麹町區内幸町二丁目三番地對露同志會内ニ事務所ヲ設テ講和問題ニ關シ國民大

會ヲ東京ニ開クコト檄文ヲ全國ニ發スルコト上奏ヲ爲スコト遊説其他ノ言論ヲ以テ修正彼輩ニカムルコト等ヲ決議シ當路者ニ對シテ得ヲ送リ或ハ電報ヲ發シ同月二日同五日ヲ以テ日比谷公園ニ於テ大會ヲ開催スヘキコトヲ協定シ全國同志者ニ對シ該條約ハ千古ノ一大屈辱ニシテ列國ノ嘲笑ヲ招キ十萬ノ忠魂ヲシテ徒死セシメ廿億ノ負擔ヲ生存者ニ課セラレ將來緩急アルモ義勇公ニ奉スルモノナカルヘク國本ハ動搖シ亡國ノ端ヲ開カンコトヲ恐ル其罪赦ヌヘカラス國民ハ之ニ對シ默從スルノ義務ナシ和約ヲ不成立ニ終ハラシムルト否トハ一ニ國民ノ決心如何ニアリトハ主旨ヲ以テ煽動的檄文ヲ全國ニ飛ハシ且ツ本月四日ニ至リ府下ノ人民ニ對シ國民大會出席方勸誘ノ廣告倍數萬枚ヲ配付シ形勢頗ル不穩ナルヲ以テ安寧秩序ヲ保持スル爲メ斷然其集會ヲ禁止シタリ是ヨリ先キ國民大會ヲ開催セントスル模様アルヲ以テ之カ中止ヲ豫告センカ爲メ九月三日午後一時頃電話ヲ以テ其會員タル小川平吉ヲ召喚シタルモ出頭セヌ依テ同シク會員タル高橋秀臣ヲ召喚シ當時交戦且ツ講和談判中ナルヲ以テ國民大會ヲ開クハ穩當ナラサルニ付中止スルノ可ナルヲ諭シタルニ同人ハ大會中止ノコトハ自己ノ考ヲ以テ答フル能ハス委員ニ諮リ明朝答ヘヲ爲スヘシトテ退署シタルニ翌四日午後八九時頃ニ至リ小川平吉ヨリ高橋秀臣ノ依頼ナリトテ電話ヲ以テ大會中止ノ義ハ應シ難キ旨通知アリ而シテ同日午後十一時廿分頃大會ノ發起



人タル高田三六ハ使者ヲ以テ屋外集會届出書ヲ差出シタルニヨリ使者ニ對シ用談アルニ付キ直ニ本人ヲ出頭セシムヘキ旨申聞ケ一面其ノ出頭示達方ヲ麻布警察署ニ照會シタルニ不在ナル趣ニ付同四十分頃小川平吉ニ對シ出頭スヘキ旨電話ヲ以テ達シタルニ取次者ニ於テ本人ノ意ヲ受ケタルトカ大會ノコトナレハ自分ハ發起人ニアラス又大會中止ノコトナレハ高橋秀臣ニ代リテ接洽シタルヲ以テ自分ニ於テ出頭スルモ用ヲ辨シ難キニ付發起人ニ達セラレタシトテ應セサルヲ以テ麻布警察署ニ對シ再ヒ照會シ特ニ巡查ヲ高田三六ノ宅ニ遣ハシ其ノ歸宅ヲ待受ケシメタルニ翌五日午前一時頃ニ至ルモ歸宅セヌ已ヲ得ヌ其家族ニ對シ大會ハ禁止スヘキ旨傳達方申覆カシメ同日午前二時頃巡查ヲ以テ高橋秀臣ヲ召喚シ同人ハ大會開催ニ關係アルニ付キ之カ禁止ノ命令ヲ達シタルニ發起人ニアラサルヲ以テ法律上ノ責任者トシテ其命ヲ受クルコト能ハスト辭シタルモ同人ハ大會開催ニ付テハ最も關係アルヲ以テ禁止ノ命令ヲ會員ニ傳フヘキコトヲ願シタルニ漸ク之ニ應シタリ其高橋秀臣ハ神田警察署ニ檢束セラレタルヲ以テ前記禁止ノ旨ヲ會員ニ通知セサルニハアラサルカヲ慮リ同日午前八時頃荒川警部ヲ諱和問題聯合同志會事務所ニ遣シ小川平吉ニ對シ念ノ爲メ國民大會禁止ノ旨ヲ達セシメタルニ同人ハ取次ノモノヲシテ吾々ハ昨夜ヨリ諱和問題聯合同志會トハ關係ヲ絶テタルヲ以テ本會ニ關係スル命令ハ之ヲ承ルノ

要ナシトテ面會ヲ謝絶セリ依テ荒川警部ハ同會員タル中島氣峰ニ面會ノ上禁止ノ命ヲ達シタリ  
 一、九月五日日比谷公園ニ開催セントスル集會ハ前記ノ如ク禁止シタルニモ拘ハラス公衆ノ會同セントスル狀況アルヲ以テ本官ハ之カ處分ノ効力ヲ全フセシカ爲メ同日午前八時頃ヨリ警部巡查ヲ日比谷公園ノ各門及ヒ其他必要ノ箇所ニ配置シ本官ハ日比谷門ノ許ニ出張ノ上警戒ニ從事シ居リタルニ時ヲ移スニ從ヒ多衆來集シ體力ノミヲ以テ到底制止シ得ヘカラサルヲ察シ俗ニ丸太ト稱スル木ヲ以テ各面ニ柵ヲ設ケシメタリ而シテ警戒ニ關スル配置ハ別番圖面ノ如シ  
 一、前項ノ如ク警部巡查ヲ配置シ警戒シ居リタル日比谷門有樂門幸門ニ向テ群衆續々來集セリ而シテ日比谷門ニ於ケル群衆ハ最も甚シキヲ以テ警部巡查ヲ柵外ニ出シ群衆ニ向テ集會禁止ノ旨ヲ告ケ入園ヲ制止セシメツ、アリタルニ日比谷公園事務員白石某ナルモノ本官ニ對シ柵ヲ設ケタルニ付テハ市役所ニ照會セシヤ否ヤト尋ネアルヲ以テ本官ハ職權ヲ以テセシコトヲ告ケタルニ其后再ヒ市參事會員ノ使ナリト稱シ一人ノ市吏員來リ何故ニ柵ヲ設ケタルカ速カニ取除カレタシトノコト故柵ヲ設ケタルハ安寧保持ノ必要ニ出テタリ只今取除クコト能ハスト答ヘタリ午片零時卅分頃ニ至リ日比谷門前ハ人ヲ以テ充タサレ管ニ制止ヲ肯ンセサルノミナラス或ハ禁止ノ理由ヲ述ヘヨト叫ビ或ハ公園ヲ閉鎖スルハ不法ナリト呼ビ或ハ破リテ入ルヘシト罵リ漸ク喧



騒ヲ始メタリ此間警部巡查ハ共ニ制止ニ努メタルニ毫モ解散ノ模様ナキノミナラス喧騒益々甚シク群衆中何事ヲカ演説スルモノアリ一同喝采ヲ爲シ賊聲ヲ殺シ或ハ吊旗ヲ掲クル等其騒擾名状ヌヘカラス前記ノ如ク警部巡查ハ始メ門外ニ在リテ制止シツ、アリタルモ群衆漸次門ニ向テ壓迫シ暴動ノ行爲ニ出テタリ警部巡查柵外ニ身ヲ置クノ餘地ナク柵内ニ退クノ止ムヲ得サルニ至レリ於茲警部巡查ト暴徒トハ柵ヲ隔テ、内外相對シ暴徒ハ柵ヲ破リテ入ラントシ警部巡查ハ之カ防止ニ努メタリ乃チ暴徒ハ柵ヲ破ランカ爲之ヲ抑シテ動搖シ或ハ突進ヲ試ミタリ特ニ法被股引ヲ着シタル勞働者體ノ男子數名來リテ柵ヲ結ヒタル繩ヲ解キ杭ヲ拔キ之ヲ撤センコトニ努メ柵ハ殆ント破壊セラレタリ依テ巡查等ハ傍ニ在リタル階梯又ハ丸太ヲ横ヘ階梯ヲ試ミタルモ暴徒ハ之レヲ排シ且ツ編蝠傘洋杖其他竹木ヲ以テ巡查等ニ打ち掛リ砂礫ヲ投スルコト雨ノ如シ斯ル所ヘ市參事會員江間俊一外數名來リ巡查ハ之レト應答ナシツ、アリシニ市參事會員ト他ノ暴徒ハ共ニ巡查ヲ排シ警戒線ヲ破リテ園内ニ侵入セリ時ニ午后一時頃ナリシ而シテ國民大會ノ幹部員ト認ムルモノ拾數名モ同時ニ園内ニ侵入セリ次テ園内ニ於テ吊旗ヲ掲ケ煙火ヲ揚ケ集會ヲ開カントセシヲ以テ本官ハ五十嵐警部ニ對シ解散セシムルコトヲ命シ同警部ハ直チニ現場ニ至リ解散ヲ命シタルモ會テ之ヲ肯セサルノミナラス反テ反抗セシヲ以テ力及ハヌシテ遂ニ解

散セシムルコト能ハサリシ此ノ防禦中本官及ヒ島山松田川畑中島ノ四警部巡查數十名負傷セリ尙ホ巡查ノ報告ニヨレハ暴動ノ際河野廣中及ヒ其ノ同志者ト認ムルモノハ門外ニ在リテ群衆ニ對シ指揮ヲ爲シ居リタル趣

一、暴徒ハ日比谷公園ヲ退出后其ノ一部ハ各々小吊旗ヲ手ニシ欄田門ヨリ宮城ニ重橋前ニ押寄せタルヲ以テ警視警部等説諭ヲ加ヘタルモ之ニ向テ投石シ容易ニ解散セサリシカ漸クニシテ馬場先門外ニ向テ退キタルコトハ同所ヲ警戒シ居リタル中山警部ノ報告書左ノ如シ

一、同日午後二時頃一部ノ暴徒ハ内務大臣官邸裏門ノ許ナル街路ニ群衆シ門側ノ塙ニ小村全權大使外二名ヲ斬首セル諷刺畫ヲ貼付シ喧騒シツ、アル塙合島山、林、松田ノ三警部ハ巡查ヲ率テ現場ニ出張シ之ヲ刺キ取りタリ該所ニ於テモ暴徒ハ巡查等ニ對シ暴行ヲ加エタリ是等ノ事實ハ林警部等ノ報告書ニ詳ナリ

一、暴徒カ日比谷公園ニ亂入后本官カ内務大臣官邸守衛巡查詰所ニ至リ居リタルニ午後三時過多數ノ暴徒ハ同官邸ノ表門ニ群リ迫リテ瓦礫ヲ投シ棍棒ヲ以テ門ノ鐵戸ヲ破リ且ツ門ノ双方ニ在ル建物及ヒ煉瓦塙ヲ破壊シ本館ニ入ラントスル形勢アリシヲ以テ已ムヲ得ヌ警部巡查ハ拔劍ヲ以テ暴徒ヲ追拂フコト數回ニ及ヘリ警察官吏ニ於テ拔劍ヲ以テ追拂フヤ暴徒ハ退却スルモ警察



官吏カ門内ニ入レハ忽チ群リ追リテ瓦礫又ハ扉ノ破壊セラレタル鐵片ヲ亂投シ棍棒ヲ以テ打チ掛リ其ノ暴動即チヘカラス本官及ヒ島山、松田ノ兩警部内務大臣官邸官術詰ノ小原警部巡查數名ト共ニ防禦中林、柳田、荒川ノ三警部等巡查數十名ヲ率ヒテ來リ次テ山口警部モ亦巡查ヲ引率來援シ鎮壓シタルモ暴徒ハ一時兇行ノ度ヲ減シタルヲ以テ本官ハ狀ヲ報スル爲メ警視廳ニ至リタリ其後暴徒ハ同邸裏面ニ襲來シ瓦石ヲ投シ暴行ヲ逞フセシヲ以テ林、松田、島山ノ三警部及巡查等拔劍ヲ以テ追ヒ拂ヘ追ヒ散シ退ケハ群リ追リテ瓦礫ヲ投シ兇行ヲ逞フセリ

内相官邸ニ於ケル暴動ハ大ニ激烈ヲ極メ皆ニ瓦礫ヲ投シ棍棒等ヲ以テスルノミナラス放火スルコト三度ニ及ヒ尙ホ消防士等ニ對シ暴行ヲ加ヘ之カ消防ヲ妨害シ軍隊ノ派遣アリタルニモ拘ハラス尙ホ暴動ヲ續行シタル等ノ點ヨリ察スルモ其暴動カ如何ニ激烈ナリシカヲ知ルコトヲ得ヘシ是等ノ事實ハ島山、林、松田三警部等ノ報告書ニ詳ナリ

一、同日午后七時過多數ノ暴徒ハ數々外務省ヲ襲撃シ瓦礫又ハ木片ヲ投シ往々刀劍仕込杖ヲ携エタルモノアリ暴動甚シク警察官吏ハ拔劍ヲ以テ數々之ヲ追拂ヒ鎮壓ニ努メ此場合暴徒ノ爲メ警部巡查中負傷者ヲ出セリ其事實ハ之カ鎮壓ニ從事シタル森住、山口、自見、川畑四警部等ノ報告書ニ詳ナリ

一、同月六日午后六時過ヨリ同八時頃迄ノ間ニ於テ暴徒ハ麹町區内山下町華族會館前ヨリ内務大臣官邸前及ヒ同區有樂町中山邸前堀端又ハ東京府第一中學校前附近ニ於テ電車十餘輛ニ放火シ之ヲ燒燬セリ

一、暴徒ハ同月五日午后八時頃ヨリ翌日午前二時頃迄ノ間ニ於テ常所轄有樂町、内幸橋麹町三丁目、同十丁目、九段坂上、富士見町、市ヶ谷門内ノ各巡查派出所ヲ燒燬シ尙ホ外務省襲撃ノ際虎ノ門巡查派出所ニ放火シタルモ警察官吏ニ於テ消止メ且ツ同月五日午后八時頃櫻田門外巡查派出所ヲ破壞シ同夜常盤橋巡查派出所ニ放火セントシ翌六日午前零時過飯田町巡查派出所ニ放火セントシタルモ付近人民ニ阻止セラレ所内ノ物件ヲ取出シ之ヲ燒燬セリ

有樂町、内幸橋ノ兩巡查派出所ハ内務大臣官邸ヲ襲撃シタル暴徒ニ於テ放火シ其一派ト認ムルモノカ麹町三丁目、同十丁目ノ兩巡查派出所ヲ燒燬シ四ツ谷方面ニ向テ進行セリ

暴徒中他ノ一團ハ神田區組橋方面ヨリ九段坂下ニ來リ二派ニ岐レ一ハ飯田町巡查派出所ヲ襲撃ノ后小石川區ニ向ヒ他ノ一ハ九段坂上、富士見町及ヒ市ヶ谷門内ノ各巡查派出所ヲ燒燬シ牛込區ニ向ヒタリ

一、同月六日午后八時過麹町區半町三宅坂方面ヨリ來リタル約百名許リノ暴徒ハ當署ヲ襲撃セン



トシテ數個ノ石ヲ投シタルモ警察官吏及軍隊ニ於テ嚴重ニ警戒シ居リタルヲ以テ其儘麹町三丁目ノ方ニ向テ通過セリ此ノ暴徒カ前記ノ如ク同三丁目及十丁目ノ巡査派出所ヲ燒燬セリ

一、本官カ九月五日内務大臣官邸ヨリ警視廳ニ至リタル后松岡、宮城、小泉、室田ノ四警視及ヒ松井一部長等モ同官邸ニ出張シタル趣

本官ハ警視廳ニ報告后外務省警備ノ報ニ接シ命ニヨリ巡査數十名ヲ引率ノ上同省へ出張シタルニ暴徒ハ已ニ退去后ナルヲ以テ軍隊ト共ニ警備中翌六日午前二時頃當署及ヒ四ツ谷警察署ヲ襲撃セントスルノ聞ヒアリタルヲ以テ更ニ命ニ依リ同省ニ警備中ノ警部巡査ヲ凡ソ二分シ一部ハ四ツ谷警察署ニ向ケ他ノ一部ハ本官引率ノ上歸署警戒シタルニ異狀アラザリシ

同月六日ニ至リ内務大臣官邸ニハ晝夜、官越、白石ノ三警視出張シ居リタル趣

右之通りニ有之候ニ付此段及報告候也

明治卅八年十一月九日

麹町警察署長

警視 向田 幸藏

警視總監關清英殿

明治卅八年九月廿日

麹町警察署

警部 五十嵐 佐右衛門

明治卅八年十一月九日

麹町警察署

警部 島山 嘉之衛

明治卅八年十一月九日

麹町警察署

警部 荒川 徳光

明治卅八年十一月九日

麹町警察署

警部 林 信治

明治卅八年十一月八日

麹町警察署

警部 佐野 太吉郎



明治卅八年十一月八日

麹町警察署

警部

松田 三次

明治卅八年九月十一日

合羽橋分署長

警部

川畑卯三郎

明治卅八年十一月八日

日本橋警察署

警部

中山力太郎

明治卅八年十一月八日

日本橋警察署

警部

中島 守任

明治卅八年十一月八日

日本橋警察署

警部

大喜多 定治郎

明治卅八年十一月八日

芝警察署

警部

森住 政憲

明治卅八年十一月八日

芝警察署

警部

山口 竹治

同

警部

白見 淺太郎

明治卅八年十一月八日

芝警察署

警部

古江 實雄

明治卅八年九月十日

本所警察署

警部

山口 繁



明治卅八年十一月六日

神田警察署

警部

櫻井誠意

明治卅八年十一月七日

神田警察署

警部

石井善太郎

明治卅八年十一月九日

神田警察署

警部

稻留寛

明治卅八年十一月六日

四ッ谷警察署

警部

追田蘇太郎

明治卅八年十一月八日

麴町警察署

警部

柳田清一

明治卅八年九月廿日

麴町警察署

巡查部長

進藤莊次郎

明治卅八年九月廿日

麴町警察署

巡查

永井富藏

明治卅八年九月廿日

麴町警察署

巡查

松浦平八

明治卅八年九月廿二日

麴町警察署

巡查

岡清一

明治卅八年九月廿日

麻布警察署

巡查

坂入喜藏



明治卅八年十一月八日

麹町警察署

巡查 二重作 兼藏

明治卅八年十一月八日

麹町警察署

巡查部長 福田 寅吉

狀況報告書

明治卅八年九月五日東京市麹町區日比谷公園ニテ開會ノ屆出ヲナシタル國民大會ハ治安ニ妨害アルノ故ヲ以テ禁止ヲ命セラレタルニ不均群衆ハ強テ公園内ニ會合シ大ニ爲ス所アラントスルノ様アルヲ以テ之ヲ取締ヲ爲スヘキノ命アリシモ署務多忙ノ際ナリシヲ以テ本職ハ午前十一時頃迄署内ニ在テ事務ヲ執掌シアリシニ報アリ多衆ハ公園ニ集合シ解散ヲ命シツ、アルモ之レニ背セテ各警察官吏ニ抗拒シ騷擾ヲ醸シ暴リニ設ケシ其狀正ニ不穩ナリト於茲本職ハ馳セテ公園ニ至リ見

況正已ニ公園ハ閉鎖セラレタリ依テ日比谷門ニ向ヒタルニ群衆ハ路上ニ充滿シ電車ノ進行ヲ妨クルニ至リ其附近各取締ニ從事シツ、アリシ巡查ハ交通ノ危險ヲ慮リ力ヲ極メテ之レヲ制止ニ任スルアリ群衆ハ日比谷門ニ設ケラレタル柵欄ニ蟻集シ口ヲ極メテ警察官ヲ罵詈訾シ越ヘテ公園内ニ闖入セント等セツ、アリシ狀ハ人波ヲ打テ濼シク殆シト立雖ノ地ヲ餘サ、ルニ至リ其動搖實ニ名狀スルニ絶エタリ本職ハ之レヲ制テ柵ヲ越エ園内ニ入り柵ノ支柱ニ立テ衆ヲ諭スモ更ニ彼等ノ耳染ニ達セサルモノハ如ク巡查ヲ突キ仆シ或ハ擲リ互ニ握ミ合フ内ニ群衆ノ中ヨリ砂礫ヲ投シ毀撃ヲ試ムルモノ續々アルニ至リ其砂礫本職ノ身邊ニ達スルモノ甚タ多ク面ヲ向クヘキニアラサルモノハ傷ヲ受ルニ至ラサリシ其勢層一層烈シク時々拳大ノ石ヲ混シ棍棒洋傘等彼等ノ手ニセルモノハ變シテ兇器トナリ巡查ヲ毆リ警部ヲ打ち亂暴熾ナルニ及ヒ警察官吏ノ負傷者數名ヲ出スニ至レリ依テ此狀ヲ本廳ニ聞セシコトヲ署長ニ謀ル然レトモ署長ハ未ダ早ヤキヲ感セラレタルモノ、如ク一層ノ死力ヲ以テ之レヲ防制セントサレツ、アリシモノ、如ク容易ニ我輩ヲ容レラレス邊巡スル内多衆ノ暴行ハ旋風ノ砂礫ヲ捲クカ如キ勢ヲ以テ警察ノ吏員ヲ見ルヤ是非ヲ論セス利害ヲ顧ミス全ク狂的行動ト變シツ於茲本職ハ進シテ本廳ニ至リ急ヲ主事第一部長第二部長及第一部長第二課長ニ注ス概況前記ノ如クナルヲ以テ却テ再ヒ日比谷門ニ向フ時已ニ警察官吏ノ負傷甚シク佐野警



都ノ如キ鮮血淋漓下シテ服ハ裂カレ面部ハ土ニ塗レナカランノ犯人ト認ムヘキモノヲ逮捕シ門内ニ入り來リタルニ逢フ此時遲シ日比谷門ノ柵ハ破壊セラレタリ時ニ約午後一時頃ナリシ暴徒ハ運動場ヲ自懸テ怒濤ノ寄メルカ如ク狂ヒ猛テ闖入シタリ然ルニ前進ノ一隊中黒結ノ紋付ノ羽織ヲ着シタル年齢卅五位ノ男子ハ白千筋縞ノ單衣ニ仙台平ノ袴ヲ着ケタル年齢卅二三位ノ男子トハ土方體印半天股引仕立ノ者ヲ應キ此等ノ容態者各貳人ニ白旗ヲ翻サシメ鯨波ヲ作リテ園内ヲ蹂躪スル狀油中ノ鯉カ鉄ヲ争フニ似タリ時ニ署長ハ本職ニ命スルニ解散ノ命ヲ傳ヘ併セテ白旗ヲ撤回スルコトヲ以テ依テ馳セテ群衆ノ中ニ割り入り共命ヲ傳ヘタルモ多衆ハ耳菜ニモ掛ケヌ更ニ肯セザルノミナラヌ却テ暴徒ハ我ニ反九ノ衆目ノ我ニ注ケヤ暴力ヲ以テ我ヲ却ケントシ其勢單身ノ體ク禦テ處ニアラヌ終ニ其目的ヲ達シ得ヌ空シク歸ルノ止ムヲ得サルニ至レリ依テ歩ヲ傳シテ内相ノ官邸ニ至ルヤ守衛ノ室ニ第一部長及各署長四五名在ルニ回テ依テ其狀ヲ具ス然ルニ第一部長ハ暴徒ハ内閣總理大臣ノ官邸ヲ襲ハント議スト聞ク汝若干ノ巡查ヲ率ヒテ此急ニ赴ケヨトノ命アリ依テ本職ハ公園内ニ立歸セリ日本橋ノ警部巡查合計廿八名ヲ纏メ馳セテ總理ノ官邸ニ至ル依テ其後ノ狀況ヲ詳ニモテ...

右及報告候也

明治卅八年九月廿日

麹町警察署副

警部 入民五十嵐 佐右衛門

麹町警察署長警視向田幸藏殿

暴徒ニ關スル狀況報告

明治卅八年九月五日日比谷公園ニ於ケル屋外集會ハ禁止セラレタルニモ不均公衆ノ會同セントスルノ狀況アルヲ以テ本職ハ五十嵐警部ト共ニ同公園日比谷門ノ警戒ヲ命セラレ五十嵐警部ハ他ニ用務アル趣ニ付本職ハ巡查廿五名ヲ率ヒ先ツ日比谷門ニ出張セリ

一、本職ハ日比谷門ニ出張シタルハ同日午前八時頃ナリシカ時ヲ移スニ從ヒ公衆ハ三々伍々來集セルヲ以テ本職ハ巡查ヲ柵外門前ニ配置シ之レカ指揮ヲナシ群衆ニ對シ集會禁止ノ旨ヲ告ケ入園ヲ制止シタルニ或ハ唯カトシテ數歩又ハ十數歩ノ所ニ引取リタルモノアルモ往々議論ヲ試ミ容易ニ制止ヲ肯セサルアリ正午十二時頃ニ至リ群衆續々來集シ門前ハ一面人ヲ以テ充タサレ或



禁止ノ理由ヲ述ヘヨト叫ビ或ハ公園ヲ閉鎖スルハ不法ナリト呼ビ或ハ破リ入ルヘント罵リ漸  
 ク喧擾ヲ來セリ此間已ニ應接ノ警部數名巡査數十名馳セ來リタルヲ以テ共ニ制止ニ努メタル  
 民衆モ解散ノ模様ナキノミナラヌ喧擾益々甚シク群衆中何事ヲカ演説スルモノアリ一同喝采ヲ  
 ナシ城壁ヲ發シ形旗ヲ掲グル等騒擾名状ヌヘカラス前記ノ如ク本職等ハ初メ柵外ニ在リ制止シ  
 ツハアリタルニ群衆ハ門ニ向ケ壓迫シ來リ時門ノ右側ノ石柱ト柵ノ間ニ向ヒテハ壓迫甚シキ  
 ヲ以テ本職ハ其所ニ至リ石柱ノ前面ニ立テ群衆ヲ前方ニ押シ以テ侵入ヲ防止シ居リタルニ彌々  
 壓迫シ來リ本職ハ遂ニ石柱ニ強壓セラレ自由ヲ失ヒタルヲ以テ力ヲ極メテ身體ヲ一方ニ轉シタ  
 ルニ此ノ時職服ノ右肩部ハ破毀セラレタリ夫レヨリ柵外門ノ中央ニ至リ巡査ヲ督勵シ制止ニ務  
 メタルモ附一層壓迫ヲ受ケ本職等ハ柵外ニ身ヲ置クノ余地ナク柵内ニ退クノ已ムヲ得サルニ至  
 レリ於茲本職等ト群衆トハ柵ヲ隔テ、内外相對シ群衆ハ暴力ヲ以テ柵ヲ破ラントシ之レヲ押ヒ  
 テ動搖シ或ハ突進ヲ試ミ之ヲ防止セントスレハ或ハ洋杖又ハ蝙蝠傘等ヲ以テ打テ掛ル等其亡狀  
 明クヘカラス斯ル間ニ年齡卅歲前後ト思ハル、數名ノ勞動者儘ノ男子來リ柵ヲ結ビタル繩ヲ解  
 キ或ハ柵ヲ押ヘテ動搖シ杭ヲ拔キ之レヲ撤セントシ柵ハ殆シニ壊セラレタリ依テ巡査等ハ傍  
 中在リタル柵横又ハ丸太ヲ横ヘ障礙ヲ試ミタルニ群衆ハ深ク驚動ヲ逞ニシカ爲之ヲ排シ尙ホ其

柵横ヲ破毀セントシタリ思フニ柵横ヲ作りタル竹木ヲ以テ本職等ヲ毆打セントシ考ヘナリシナ  
 ラシモ容易ニ破ルコト能ハサリシ而シテ毆亂ハ彌々益々甚シク暴徒ハ本職等ニ向ヒ砂礫ヲ投ス  
 ルコト雨ノ如クニシテ殆ント向ニ近ツクヘカラス本職ハ柵ノ中央ニ在リテ柵ノ横木ヲ押ヘ  
 破壊ヲ防キツハアリ此場合ニ暴徒中ヨリ數名ノ紳士體ノ男子頭ハレ門ノ南側ナル石柱ト柵ノ間  
 ニ來リタルニ數名ノ巡査ハ之ト相對シテ並立シ侵入ノ余地ヲ支ヘヌシテ之レト應答セルモノ  
 如シ而シテ他ノ暴徒ハ之レニ續キ紳士體ノ男子ハ強テ侵入セントスルノ狀況アルヲ以テ本職ハ  
 巡査ニ對シ聲ヲ屬マシ大ニ警戒ニ努ムヘキ旨ヲ告ケ尙ホ赴援セントスルモ其違アラス期ル間ニ  
 紳士體ノ男子ト他ノ暴徒ハ共ニ巡査ヲ排シ警戒線ヲ破リテ園内ニ侵入セリ而シテ暴徒ハ續々突  
 進シ來リ柵ハ全ク破ラレントセシヲ以テ雨下セル砂礫ヲ胃シ死力ヲ盡シ柵ヲ押ヒテ防禦ニ努ム  
 ツハアリタルニ忽チ一ケノ拳石飛ヒ來リ本職ノ面部ニ觸レ之カ爲メ負傷セリ願ヒレハ本職ノ左  
 右ニアリ防禦シ居リタル巡査ハ數歩ノ後ロニ在リタルヲ以テ進ンテ防禦スヘキ旨ヲ告ゲタルモ  
 暴徒ハ怒濤ノ奔來スルカ如キ勢ヲ以テ侵入シ又何如トモスルコト能ハサリシ時ニ午後一時頃ナ  
 リシ然ルニ前記紳士體ノ男子ハ何人ナリシカハ知ラサシシモ閉ク所ニヨレハ市參事會員ナリシ  
 趣又暴徒ノ園内ニ亂入スルヤ形旗ヲ掲ケ煙火ヲ掲ケ演説ヲ爲シタル等ノ狀況ヨリ察スルトキハ



國民大會ノ幹部員モ共ニ侵入シタルモノト信スルハ、  
 一、暴徒ハ日比谷公園ニ於テ集會ヲ開キ續々退出スルヤ本職カ日比谷門ノ許ニ居リタルニ荒川警  
 部來リ告ケテ曰ク只今宮城ニ重橋ノ前ニ多數ノ暴徒集會シ取締巡査僅少ナルヲ以テ赴援セサル  
 ハカラスト依テ本職ハ同警部ト共ニ巡査若干名ヲ率テ其ノ所ニ駆付ケタルニ多クハ暴徒ハ已ニ  
 他ノ方面ニ向ヒタルモノト見ユ三々伍々或ハ道邊ノ或ハ樹下ニ息ヘルモノアルヲ見ルハ依テ  
 再ヒ日比谷公園ニ向ヒタルヲ見ユ  
 一、日比谷公園ニ歸ル途中櫻田門内ニ至リタルニ林警部來リ告ケテ曰ク只今内相官邸裏門ニ内相  
 等ノ首ヲ列ニテ諷刺畫ヲ貼付シ多衆喧擾シツ、アウ取締巡査僅少ニシテ最モ急ナリト依テ本  
 職ハ同警部及松田警部ト共ニ巡査十數名ヲ率テ其ノ所ニ至リタルニ暴徒官邸ノ裏門ニ於テ何  
 事ヲカナシツ、アルカ如シ依テ兩警部等ト共ニ門ニ向テ突進シ一巡査ニ於テ貼帶ヲ剝キ取リタ  
 ルニ暴徒ハ多ク他ノ方面ニ向ヒタリ此ノ場合本職ハ群衆ニ隔テラレ兩警部等ト離散セリ而シテ  
 暴徒ハ同警部ト同官邸ノ裏門ニ向テ進行セリ  
 一、前項如ク暴徒カ内相官邸裏門ニ向テ進行セルヲ以テ本職モ亦其ノ方面ニ向テ進ミタルニ多  
 數ハ暴徒ハ已ニ門外ニ集會シ瓦石ヲ投シ暴行ヲナシ門内ニハ巡査數名ヲ洋服（警察官吏ノ制  
 服ニアラス）

若クハ男子アリ其男子ハ仕込杖ヲ携ヘ門ノ戸ヲ開カセシメレハ之ヲ援カントシ閉ツレ  
 ハ鎖ニ納メ如スルコト數回忽チ開カントシテ忽チ閉ツ内外互ニ開閉ヲ爭フカ如キ狀アルヲ望  
 見セリ而シテ暴徒ハ續々來リ加ハリツ、アリ本職ハ暴徒ノ間ヲ潜リ門ニ向テ進行中忽チ戸ハ開  
 放セラレタルヲ以テ馳テ門内ニ入り警戒中貴官及松田警部モ來リ居ルコトヲ認メタリ而シテ暴  
 徒ハ警察官吏ニ對シ瓦礫ヲ投シ棍棒ヲ以テ門ノ鐵戸ヲ破壊シ且ツ門ノ双方ナル建物ノ一部モ亦  
 破ラレタリ斯ル狀態ナルヲ以テ本職等ハ已ムヲ得ヌ拔劍シテ暴徒ヲ追拂フコト數回ニ及ヘリ時  
 ニ林警部ハ巡査ヲ率ヒ來援シ共ニ鐵壓ニ從事シ居リタルニ暫クニシテ林警部ハ應援ヲ求メント  
 テ内ニ入り松田警部モ亦何レカ去リタル后漸ク暴行ノ度ヲ減シ貴官ハ狀ヲ警視廳ニ報セン爲メ  
 此ノ門ノ警戒ヲ本職ニ命シ立去ラレタル后ニテ暴徒ハ再ヒ襲撃シ來リタルヲ以テ防範中林警部  
 及應援ノ警部巡査等來リ共ニ鐵壓ニ從事セリ貴官頃暴徒ハ北方ニ向ヒタルニ一方ニ於テ賊聲ヲ  
 發シ瓦礫ヲ投シ又ハ板ヲ打テ破ルカ如キ物音ノ聞ユルアリ此時何人カハ裏面ヲ破リ初メタリト  
 叫ビ巡査等ハ其方面ニ駆付ケ本職ハ表面ニ於テ暴徒ノ投シタル瓦礫ノ爲メ警部等ニ負傷シ歩行  
 困難ナリシヲ以テ他ニ后レテ裏門ニ至リタルニ多數ノ巡査ハ已ニ門外ニ出テ、暴徒ヲ追ヒ捕ヒ  
 ツ、アリ本職モ亦之カ鐵壓ニ從事セリ追ヒ退キ散シ止ムレハ群ヲ追リテ瓦礫ヲ投シ喧鬧ヲ



ヘカラス其後本職ハ邸内假治療所ニ至リ是部翻帶ヲ施サル再ヒ他ノ警部巡查等ト共ニ裏門及ヒ表門ノ警戒ニ從事セリ暴徒ノ兇行ハ兩門共激烈ニシテ前記ノ如ク門側ナル建物ノ或部分ヲ破壊シ且ツ放火スルヨト三回ニ迫ヒ消防士等ニ對シテモ亦兇行ヲ逞ブシ中ニハ堀ノ一方ナル屋上ニ梯ヲ登リ瓦ヲ刺キテ之レヲ投シ余勢邸内ノ假治療所ニ及ヒタル如キ其暴動名狀スヘカラス遂ニ軍隊ノ派遣アリタル點ヨリ察スルモ如何ニ激烈ナリシカヲ知ルニ足ル

右及報告候也

明治卅八年十一月九日

麴町警察署

警部 島山嘉兵衛

麴町警察署長警視向田幸藏殿

報 告 書

本 職 録

明治三十八年九月五日午后八時命ニ依リ同日午后一時ヨリ日比谷公園ニ開催ノ國民大會ハ已ニ禁

止セラレタルコトヲ内幸町熾和問題聯合會ニ傳達ノ爲メ(前夜國民大會發起人高田三六ノ代理者ト認ムル高橋秀臣ニ禁止ノ旨達セラレタルモ同人翌五日午前神田警察署ニ檢束セラレタルヲ以テ禁止ノ意思徹底セサル虞アルヲ以テナリ)本部ニ至リ小川平吉ニ名刺ヲ通シ面會ヲ求メタルニ彼ハ取次ヲシテ熾和同志會ニ關シテノ通達ナレバ吾々ハ昨夜以來同志會トハ關係ヲ絶テタルニ付承ル必要ナシト事務員橋本某ヲ以テ拒絕シ來リシニ付然レハ他ノ會員ニ面會スヘシト申入レタルニ橋本某ハ其旨申告シヘシト二階ニ登リ其儘何等返答ナキ(此時十時頃ニシテ地方ヨリ出京者ト認ムルモノ續々出入セリ)爲メ更ニ中島氣峰ニ刺ヲ通シ廊下ニ於テ面會シ國民大會ノ禁止ハ此夜高橋秀臣ニ達シ置キタルコトヲ告ケ且ツ本會ノ入口ニ吊旗ノ掲出アルハ總督ナラヌ速ニ撤去スヘシト命シタル所ニ應會員ニ諮ルヘシト云ヒ二階ニ上リ暫時ニシテ降りテ曰ク禁止ノ命アリシコトハ已ニ承知セルニ吊旗ハ本會委員會ノ決議ニ仍テ掲ケタルヲ以テ撤去スルハ又全委員ノ議ニ附セサレハ取除ク能ハストノ答辯ニ付然レハ止ヲ得ヌ公方ヲ用ユルノ外ナキモ斯ル手段ハ望ム處ニアラヌ其會ヨリ撤去アリテハ如何ト懸篤説諭スルモ本員ニテ取斗ヒ難シト云ヒ別ル、ニ當リ同會員ノ一人ナル岡部伊三郎ノ來所スルニ遇セタルヲ以テ彼ヲ止メ中島ニ達シタルト同一ノ事ヲ以テスルモ辨セサルニ付日比谷公園ニ至リ署長殿ニ右始末ヲ申告ケノ上人



足ヲ伸ヒ至リ吊旗遺組ヲ撤回シタリ是ヨリ午前拾壹時過日比谷公園正門内ニ復歸シタルニ最早  
 ヤ正門前ニハ數千名集リ茲開クヘシト叫ビ稍不穩ノ状態ナリシニ付穩言以テ入場ノ防止ニ務メ  
 タルモ一二ノ投石ナルモノアルヤ續ニテ瓦礫ヲ雨下ノ如ク飛ハシ此間ニ於テ柵ヲ解キ遂ニ破處  
 入場セリ  
 午後二時頃日比谷公園ニ入り強ラ大會ヲ遂行シタルニ隊宮城正門下ニ進行シタル越ニテ同所ニ  
 出張ノ命ニ依リ會田監督部長外巡査二十名ヲ率井門下ニ駐付タルト已ニ暴徒他ニ進行シタル跡  
 一處ニ室田淺草署長出張シ入レリニ付直チニ口比谷公園事務所ヘ引揚ケタル所間モナク數町署  
 長内務大臣官邸ニ於テ暴徒ニ圍マレ危急ナリトノ報ニ接シタルニ依リ大ニ驚キ同僚林、柳田兩  
 警部及木所署ヨリ應援ノ警部ト共ニ同事務所ニアリシ巡査約四十名許ヲ率ヒ内相官邸ニ向ヒ日  
 比谷公園正門ヲ出テントメル際已ニ瓦礫ハ頭上ニ亂下シ又一方内務大臣官邸門前ニハ暴民山ノ  
 如ク集マリ官邸ニ對シ瓦礫ヲ投付其勢稍激ニシテ投石ニケヲ受ケタルモ幸ニシテ格別ノコトナ  
 クシテ官邸ニ入りタリ  
 此時内務大臣ノ官邸ノ狀況ハ表門及同門衛詰所ハ悉ク破壞セラレ署長ハ面部ニ負傷シ白服ノ胞  
 部ハ鮮血ニ染ミ又巡査ノ負傷者モ多クニシテ慘然タリ是ヨリ暴民來襲ノ防止ニ務メ居リシカ精

ヤ兜行ツ度ヲ減シタルヤ午後四時半頃ニ至リ突然警視廳ヘ引揚ケハキ命ニ接シ同僚柳田警部ト  
 巡査約二十名ヲ率井警視廳ニ到着スルヤ六時頃再ヒ内務大臣官邸ニ應援スルコト、ナリ室田淺  
 草署長ニ隨ヒ内相官邸裏門ニ向ヒタルニ既ニ裏門ハ破壞セラレ居リタル而已ナラヌ瓦礫ヲ投飛  
 シ凄然タル狀況ナリシカ忽チヒシテ同官邸北側ナル官舎ニ放火シタルヲ以テ暴民ノ亂入防止ト  
 消防等ニ努メタルニ間モナク消防本所ヨリ出張アリ漸ク消火ヲ見ルニ至リタリ  
 午後七時三十八分頃ナリシ暴民ハ又々同官邸西側ナル煉瓦塙ヲ破壞シ始ムルヤ馬車部屋ニ放火  
 シタルモ已ニ出張シ居ル消防夫ノ盡力ニ依リ消火スルニ至レリ  
 午後八時頃警務長ヨリ辨當約三百人分ヲ用意方ヲ命セラル然ルニ此場合官邸外ニ出タル能ハス  
 又電話ヲ以テ注文スルモ應スル者ナク止ムヲ得ヌ同官邸隣地ナル帝國ホテルニ依頼シ救出シテ  
 爲サシメタリ午後九時頃軍隊出張スルコト、ナリ同官邸周圍ノ警戒ニ從事シ爲メニ其後暴民ア  
 ルヲ見ヌ  
 翌六日午前七時頃警署スヘキ命ニ接シ同九時頃當署ニ引揚ケタリ  
 右概況及報告候也

明治三十八年十一月九日



麹町警察署勤務

警部 荒川 徳光

麹町警察署長警視向田幸藏殿

報告書

明治三十八年九月五日命ニ依リ林、松田ニ警部ト共ニ部下巡査三十五名ヲ率ヒ國民大會ト稱セル一團體ノ監視止ノ命ヲ犯シ強テ日比谷公園ニ入りテ屋外集會ヲ開催セントスルヲ防遏センカ爲メ公園周圍幸門附近ニ在テ警戒セシ處公園正門前ニ多數ノ者押シ合ヌルヲ見タリ時ニ麻布警察署勤務坂入喜藏來リ告ケテ曰ク自分ハ門前ニ聚集セル群衆ノ背後ニ伴ミテ視察セシニ群衆ノ一隊ハ是ヨリ三菱ヶ原ニ集合シテ何事カ議セント謀リ居レリト仍テ小官ハ此趣ヲ中告シ巡査新田太郎、柿沼由太郎、屋八郎、愛川茂八郎、内山乙次郎、日下部松三郎、荒木助八ノ七名ヲ率ヒ松田警部ト共ニ三菱ヶ原ニ至リシニ此時(正午頃ト覺ス)ハ來タ群衆ノ影々ニ見ヘサルヲ以テ松田警部ハ此處ヲ引揚ケテ正門ノ方面ニ去レリ小官ハ偵察ノ爲メ此ノ巡査ヲ要所ニ配置シ待ツコト三十分钟ニ

シテ約五百餘名ノ群衆公園正門ノ方ヨリ一時ニ馳セ來リテ三菱ヶ原ニ集合シタリ此ノ内黒紋付ノ羽織ニ袴ヲ着シ夏帽子(ハナハシ)冠リタル丈ケ高キ年齢四十前後ノ男(顔其ツ色白ク品位卑カラヌ)原ノ一週ナル小丘ノ上ニ登リ群衆ニ向テ何事カ演説シ群衆之レニ和シテ喧罵ス然ルニ小官ハ各所ニ配置シタル巡査ヲ身邊ニ集メ演説者ノ后ニ立テ其謂處ヲ聞クニ「我全權委員ノ議定シタル講和條件ハ戰捷ノ効果ヲ没却シ君主ノ大事ヲ誤マルモノナリ」ト叫ビ尙ホ引續キ述ントヌ小官ハ此演説ト群衆ノ舉動トハ治安ヲ害スルノ甚シキモノト認メ演説者ノ前ニ立テ聲ヲ限リニ解散ヲ命スト稱ヘツ、巡査ト共ニ群衆ヲ去ラシメント努メシモ群衆ハ之ニ應セサルノミナラス警察官ハ圍賊ナリ打殺スヘシ署長ヲ辱シテシマヘ等アラユル言語ヲ以テ罵リ喧ケリ斯クスル中又一人ノ男ハ「ムラツキ」ノ尖頭ニ白ノ「ハンカチーフ」様ノモノニ結ヒ付ケタルヲ振リ上ケ小丘ニ登リテ衆ヲ驚キ大聲ニ「我全權委員ノ議定シタル講和條件ハ戰捷ノ効果ヲ没却シ君主ノ大事ヲ誤ルモノナリ吾人ハ現内閣及全權委員ノ罪ヲ何トカ叫ビシモ群衆ノ喧嘩ニ妨ケラレ其後ヲ聽クコトヲ得ザリキ此ノ演説者ハ萬朝報記者中島氣峰ナリ之ヨリ群衆ハ一層喧嘩ヲ極メ小官及ヒ巡査ハ有ラン限リノ聲ヲ放テ制止スレトモ群衆ハ寸歩モ退カサルノミナラス小官等ヲ見掛ケテ瓦礫ヲ投ヌルコト頻ナリ茲ニ於テ小官思ヘラツ之レ尋常普通ノ狀態ニアラス官語



ヲ以テハ到底之レヲ解散セシムルノ見込ナシ此ノ二人ノ演説者及ヒ群衆ハ少クテモ治安警察  
 法ノ違反現行犯ニシテ二人ノ演説者ハ何事カ陰謀メル所アツテ群衆ヲ煽動スルニアラサル乎群  
 衆ヲ解散セシムルニハ此ノ二人ヲ引致スルニ如カヌト時ニ群衆ニ向テ再ヒ何事カ述ヘント  
 ヌル中島氣峰ノ手ヲ捕ヘ汝及ヒ群衆ノ行動ハ治安ニ害アリト認メ數少制止且解散ヲ命スルニモ  
 不拘之ニ應セサルノミナラヌ如斯行動ヲ敢テスル以上ハ最早容赦シ難シ汝ヲ輕罪以上ノ現行犯  
 人トシテ逮捕スヘシト告ケ引致スルヤ群衆ハ小官ヲ取圍ミ小官ヲ小丘ノ上ヨリ突き墜シタリ然  
 レトモ小官ハ盛テ氣峰ノ手ヲ捕ヘテ離サレシヲ以テ氣峰ト共ニ地上ニ顛倒シテ小官ハ氣峰ノ  
 下ニナレリ周圍ノ群衆ハ野郎ト叫ヒナカラ空拳ヲ以テ小官ノ頭部ヲ毆打スルコト三四回ニ及ヘ  
 リ然レトモ小官ハ辛シク起キ上リ巡查ノ協力ヲ得テ引致ヲ繼續シ六七歩公園ノ正門ノ方面ニ至  
 リシ處群衆ハ后ヲ追ヒ來レリ此ノ中二三者中島先生ヲ渡シテハナラヌ吾々ハ先生ヲ保護スル  
 ヒタリ同時ニ小官ノ頭部ヲ棍棒ニテ四五回續ク様ニ毆打シ且他ノ一方ヨリ「スラツキ」ヲ以テ頭  
 部ヲ突き亦タ背後ヨリ石ヲ投スルコト雨露ノ如シ遂ニ出血シ血液顔面ヲ濡ラテ滴リ且正服上衣  
 右袖裂ケ破レテ垂下レリ(加害者ハ群衆中ノ者ニハ相違ナキモ其氏名等更ニ不詳)氣峰ハ之ノ  
 狀ヲ見テ何ント成セシモノカ后ニ振り向キ「最亂暴ヲ止メ」ト叫ビヨリ群衆ハ稍々静ニナリシ

カ石ヲ投スルコトハ尙止マサルシ此ノ際群衆中島君萬歳ト唱ヘ氣峰之ニ應シ片手ニテ帽ヲ振リ  
 上テツ、歩メリ此ノ間小官ハ身邊ニアリシ巡查ハ小官ト共ニ群衆ニ包圍セラレ進退自由ナラヌ  
 愛川巡查ハ如キハ群衆中ノモノニ冠帽ヲ奪ハレタリ去レ共群衆ヲ押シ分ケ難ヲ排シテ小官ニ力  
 ヲ協セ氣峰ヲ公園正門内ニテ引致シ其顛末ヲ申告シタル次第ナリ  
 右報告候也

明治三十八年十一月八日

麹町警察署勤務

警部 佐野 太吉 郎

麹町警察署長警視向田幸藏殿

暴徒ニ關スル狀況報告書

九月五日本職カ日比谷公園内務大臣官邸ニ於ケル騒擾事件ノ顛末左ニ記載ス

一、九月五日午前八時頃林警部等ト巡查二十五名ヲ引率シ日比谷公園事務所ニ至ル其時已ニ各署



應援巡查モ來集シタルモノアリ林警部、本職、山倉巡查部長外二十五名ヲ巡查ハ日比谷幸門ニ集ル  
 時ニ午前九時頃ガリジ而シテ此ノ時ニハ國民大會々員上認ムヘキモノ見當ラヌ午前十一時頃ニ  
 至リ幸門日比谷門ニハ人民來集シ幸門ニハ一人トシテ入園ヲ迫ルモノナカリシニ反シ日比谷門  
 方面ハ群衆頗ル喧噪シ入園ヲ迫ルノ模様アリ本職ハ幸門ヨリ日比谷門ニ至ラントスル途中佐野  
 警部告ケテ四ク三菱原ニ大會ヲ開カントスルノ開ニアリ巡查數名ヲ率ヒテ共ニ行カント本職ハ  
 巡查六名ヲ率ヒテ佐野警部ト三菱原ニ至ル而シテ三菱原ノ形勢甚ダ不穩ナリ仍テ本職ハ同所ヲ  
 引揚ケ日比谷門前ニ至レハ群衆聚集シ大ニ憤慨スルモノアリ絶叫スルモノアリ演說ヲ爲スモノ  
 アリ事態惡カナラヌ本職ニ對シ嘲罵誹辱至ラサルハナシ漸ク群衆ノ中ヲ潛リテ日比谷門ニ入ル  
 ヲ得タリ日比谷門ニ入レハ島山、柳田ノ兩警部巡查數十名防禦大ニ努ムルヲ得タリ暴民ノ暴行  
 ハ彌々増長シ入園セシムヘント絶叫スルノミナラヌ砂礫ヲ飛ハシメ大石ヲ雨下セシメ洋杖蝙蝠  
 傘其他竹木ノ類ヲ以テ巡查ヲ毆打シ殆ト面ヲ向ケルコト能ハサルニ至リタリ此時市參事會員ト  
 都スルモノ三四人來リテ曰ク吾々ハ市參事會員ナリ入園セシムヘント進リ遂ニ巡查ヲ制止ヲモ  
 肯セヌ排除ケテ紳士壯士學生勞働者ノ類ト共ニ一舉ニ入園スルニ至リタリ時ニ午後二時頃ナリ  
 一、日比谷門ニ居ルコト須臾ニシテ宮城前ニ暴徒集合セントスト聞キ櫻田門側ニ至ルヤ同所ニ於

テ林警部等數十名ノ巡查ヲ率引スルニ出會セリ林警部告ケテ曰ク内務大臣官邸裏門ニ大臣ノ首  
 ヲ藏シタル貼リ紙アリ直チニ往テ之ヲ剝キ取ルヘント本職モ共ニ數十名ノ巡查ヲ引率シ現場ニ  
 突進シタリ巡查矢野新三衆ヲ排シテ進ミ之ヲ剝キ取ル而テ本職ハ内相官邸裏門前ニ進ミ巡查本  
 多善男ト共ニ門内ニ入ル門内ニ居ルモノ署長巡查等僅カニ十人位ニ過ギヌ間モナシ暴徒ハ門前  
 ニ朝集シ風警スルモノアリ大石ヲ雨下シ砂礫ヲ散シ丸太類ヲ以テ突キ掛リ遂ニ門ヲ破リ本館ニ  
 迫ラントスルノ勢ヒナルヲ以テ援助シテ追ヒ拂フコト四五回漸ク應援巡查來リ一齊ニ追ヒ拂フ  
 タルヲ以テ一時稍々兇行ノ度ヲ減シタルモ再ヒ午後五時頃ニ至リテ益々激烈トナリ裏門裏門兩  
 門ヨリ大石ヲ投ケ付ケ丸太類ニテ煉瓦塀ヲ突キ崩シ或ハ石油ヲ注キテ放火セントシ喧々囂々ト  
 シテ鼎ノ沸クカ如ク東奔西走追ヘハ去リ退ケハ亦タ來リ巡查ノ負傷スルモノ頻々トシテ生シ事  
 態急ナルノトキ一ケ中隊ノ軍隊來援シタリ軍隊ノ數少數ナルニ付キ林憲兵上等兵ニ交渉シ一ケ  
 大隊ノ軍隊ニ來援スヘキ様交渉セシニ忽チニシテ一ケ大隊ノ軍隊來援シタリ此時恰モ午後九時  
 頃ナリシ之ヲ爲メ聊カ靜穩ニ傾クニ至リ五日夜ハ内相官邸内ニ徹夜シ翌六日午後三時頃貴官ノ  
 命ニ依リ山倉巡查部長巡查數名ト共ニ當警察署ニ引揚ケタリ

右及報告候也



總町警察署勤務

警部 相田 三次

總町警察署長警視向田幸藏殿

日比谷公園及外務省前暴徒ニ關スル狀況報告書

本職備

明治三十八年九月五日午前八時三十分總町警察署へ應接トシテ監督部長二名巡查三十名引率シ出張ノ處同十時ヨリ日比谷公園内警戒ノ命ヲ受ケ直チニ同公園ニ出向園内權要ノケ所ニ配置警戒シ居ルヤ地方會員ト認ムルモノ又ハ壯士學生風ノ者追々集合シ來ルヲ認メ之等ニ對シテハ權カニ本月ノ大會禁止セラレタル者ヲ告ケシニ其旨ヲ了シ退散スルモノアリ或ハ園内運動ト稱シ立去ラサルモノ八分以上ナリシ然ル處午前十一時頃ニ至リ公園各門閉鎖ノ通知アリ同時ニ右等ノ者ニ對シテ夏ニ告知シタルニ同止ムナク門外ニ出テタリ仍テ園内警戒ヲ殆ント必要ナキニ至レリ然ルニ日比谷門入口附近ハ漸ク會衆充満シ來リ混雜ヲ生ヌル模様ニ付キ命ニヨリ内部配置ハニケ所ヲ存シ置

\*他ハ引揚ケテ日比谷門入口ニ配置シ本職モ共ニ已ニ配置シアル總町署員ト共力取締ニ御事中群衆ハ漸ク増加スルニ從ヒ喧嘩シ始メ茲ニ於テ巡查ノ制止モ聞キ入レザル狀況トナルヤ間モナク一巡查大聲ニ呼ハリ今同僚ハ群衆ニ取巻カレ歐打セラレツヽアリト報シ來ルヲ本職聞付テ事態容易ナラヌト直チニ門外ニ飛出テ群衆中ニ押入り見ルニ最早ヤ其場ハ鎖マリ居リテ被害巡查ハ其場ニ居ラス然ル處進駐巡查部長ニ會セルヲ以テ同部長ヲ指揮シ充分注意セシメ自分ハ門内ニ入ラント其場ヲ立去ルヤ後方ヨリ自分ノ腰ヲ突キ飛ハシタルニ付キ直ニ後方ニ向クヤ又々後方ヨリ同様突キ飛ハシ成ハ側面ヨリ面部ヲ歐打スル等暴行ヲ始メタルモ何レモ後方ヨリ手ヲ出スノミニテ加害者ヲ認ムル能ハス此時自分ハ左眼外眥部ニ微傷ヲ負ヒ出血セシモ依然穩カニ其場ヲ取鏡メ蓋キ門内入口ニ於テ警戒シ居タルニ正午十二時前後ニ至ルヤ群衆ハ二層増加シ來リ後方ニハ靴モ洋服ノ紳士然タル輩充満シ前方ニハ壯士又ハ土方人足體ノ如キ車夫新聞號外賣ノ如キ者無數押寄せ來リ瓦礫ヲ投擲シ危害ヲ加ニ或ハ道路ニ於テ演說ヲ初メ衆之ニ和シ一層騷擾トナリ公園前ノ道路ハ立雖ノ地ナク群衆ハ万以上ヲ算セラル傾テ演說ヲ止ルヤ群衆ハ一齊ニ門柵ニ迫リ瓦礫木片等ヲ雨注シ面部ヲ向ケル能ハサル慘狀トナレリ爲ニ警部巡查ハ多數負傷シ門外配置ノ巡查ハ漸次柵内ニ押シ付ケラレ防禦困難ニ陥ルヲ以テ一同ヲ勵マシ必死ニ防禦セシムルモ如何セン萬ニ餘ル群衆



ハ一層ノ勢力ヲ得テ入口警戒ノ警部ニ對シ竹木又ハ編織傘洋杖等ヲ以テ亂打シテハ後方ニ逃ケ根跡ヲ時マシ又ハ瓦礫下駄等ヲ列シテ投ケ付ケ亂暴至ラサルナク此際本職ハ面部又ハ右手ニ投石下駄竹木等ニテ都合四ヶ所打撲負傷セリ實ニ其暴行慘憺ナル光景名稱スヘカラス此氣勢ニ乘シ後等群衆ハ忽チ門柵ヲ排除シツ、一齋ニ闖入シ鯨波ヲ舉ケテ園内運動場ニ集合スルヤ否ヤ直ニ數流ノ馬旗ヲ推立テ會衆ハ各黒布ヲ結ビタル手旗ヲ携エ合同ス慎テ一發ノ煙火(黒色布片ヲ結ビタ)ヲ打擲ケタリ續ニテ演說ヲ初メ何ニカ決議文ヲ朗讀セルモ二万余ノ群衆ニ於テ執行シテ了リ容易ニ見聞シ得サリシナリ此間音樂ヲモ奏シ居リタリ然シテ會員ハ程ナク散會シ正門又ハ體門ヲ向ツテ公園ヲ出テ行キタリ然ル處本職ハ更ニ外務省警戒トシテ同省へ出張ノ命ヲ受ケ午後二時過巡査部長以下三十一名ヲ引率シ同省ニ至リタルニ同省ニハ附近警戒ノ爲メ芝罘警部巡査三十六名出張シ居リテ同署員ト一體トナリ警戒申午後六時頃町警察署長ノ命トシテ本職引率ノ内巡査二十名直ニ内務大臣官邸ニ回セト傳達アリ依テ巡査部長以下廿一名ヲ同邸ニ差向ケ殘員ト芝罘員ト共ニ警戒申忽チ内務大臣官邸方面ニ當リ出火起リ炎々天ヲ焦シ形勢愈々急ヲ告ク茲ニ於テ本職等嚴重警戒ヲ加エツ、在リシ處午後七時過ニ至ルヤ貴族院方面ヨリ七百余名ノ群衆ハ鯨波ヲ舉ケテ押寄せ來リシヲ以テ同門外ニ出テ嚴然警戒シ居タルニ群衆ハ漸ク接近シ來リ瓦礫木片等無數投擲シ忽チ二

三巡査ハ負傷セルモ依然列ヲ亂サヌ警戒シ居ルニ彼等ハ益々接近シ危險ニ迫リタルニ依リ止ムヲ得ヌ一同號令ノ上抜劍追ヒ拂ヒタル處彼等ハ忽チ議院方面ニ向テ散亂セリ依テ一同門前ニ引揚ケ居ルヤ又ハ最前ノ如ク押寄せ來リ瓦礫木片ヲ一層烈シク投擲シ一巡査ハ巨石ヲ以テ胸部ヲ打タレ一時身體ノ自由ヲ欠キ剩サヘ群衆ハ虎ノ門内ニ派出所へ放火シタリ茲ニ於テ又ハ一同道ビ散シ已ニ燃焼シツ、ナル派出所ヲ消止メ一同引揚グルヤ又ハ前同様ノ手段ニテ五六回ニ及フ爲メニ警部巡査多數負傷セリ然ルニ本職ハ三回道窮ノ際右足脛骨下端内髁部ニ投石ノ爲メ負傷シ引續キ運動シタル結果多量ノ出血ヲナシ漸ク步行困難ヲ感シタルモ尙ホ警戒ニ從來中彼等ハ貴族院許諾官長官邸前道路ニ於テ電線工事中ノ材料ニ放火シ焚火ナシテ門前ニ迫ルヲ一時中止シ居レリ然ル處午後八時半頃歩兵約一分隊派遣セラレ之レト共々少時防禦シ居ル内兵卒二名負傷セシモ追々兵數モ加ハリ約二小隊トナリ茲ニ於テ本職等ハ命ニ依リ一同内部警戒ニ從事シ門外ハ總テ軍隊ヲ以テ警戒セラレタルニ依リ群衆ハ漸ク芝方面ニ向テ散亂シ全ク鎮靜ニ歸シタルハ午後九時過ナリシ而シテ群衆ニシテ取押ヘタル嫌疑者三十名ハ一時省内ニ留置キ翌六日午前八時第一部ニ引渡シタリ當日ノ頗末以上ノ狀況ニシテ彼等ハ暴力ヲ振ヒ官吏ノ説諭ヲ受ケルモ仍ホ解散セザルノミナラヌ官所ニ喧鬧シ官吏ニ危害ヲ加ヘタル行爲ハ刑法第三百三十六條同第三百七條同第三百三十八條



該當スル犯罪ト思料候條此段及報告候也

明治三十八年九月十一日

合羽橋分署長

警部 川畑卯八郎

報告書

明治三十八年九月五日麹町區日比谷公園ニ於テ非議和問題ノ國民大會ハ禁止セラレ其取締ニ應援  
 トシテ警部三名巡查四十九名ハ麹町警察へ出張スヘキ旨警務長ヨリ電達ニ依リ當署長ノ命ヲ受ケ  
 小官并ニ中馬、大喜多ノ兩警部ト共ニ午前九時三十分同署へ出張セシ所小官ハ巡查二十名引率櫻  
 田門内取締ニ從事スルコトナリ此時麹町署長ヨリ本日ノ取締ニ付テハ慎重ノ態度ヲ以テ接シ街  
 中粗暴ニ涉ラサル様巡查へ訓達シ且ツ帶剣ハ鞘ヨリ抜ケサル様麻紐ヲ結ビ置キ訓令ヲ受ケ小官  
 監督補充巡查部長石川三藏外巡查十九名へ其趣旨ヲ傳達シ櫻田門内ノ警戒ヲナシ居リタリ然ル  
 ニ日比谷公園ニハ追々人民ノ集合スル狀況アルモ櫻田門内ニ重橋附近ハ異常ナキニ付石川巡查部

長ヲシテ麹町署長へ此狀ヲ報告セシメタリシカ正午頃ニ至リ十名ノ巡查ヲ日比谷公園ニ廻スヘキ  
 傳令ノ巡查來リシニ付キ直チニ十名ヲ該傳令ノ巡查ト共ニ馬場先門外迄出シタルニ五六名ノ者ハ  
 東京商業會議所横手ニ集合シ其狀況ニ依リハ公園方面ヨリ寧ろ馬場先門ヲ警戒スルノ急務ナルヲ  
 認メ其旨麹町警察署へ具申シ置キ十名ノ巡查ハ遂ニ同所ニ止マリ居タリシカ午後一時過ニ至ルヤ  
 約千人以上ノモノハ非議和問題ト記シタル大旗一本ト國民大會ト記シタル大旗一本ヲ押シ立テ其  
 他ハ希數ナル小形ノ國旗尖ニ長一尺巾二寸位ノ黒布ヲ付着シタル用旗ヲ各々携ヘ先頭ニハ樂隊一  
 組ヲ以テ櫻田門外ヨリ押寄せ來リシヲ以テ二重橋前ニ於テ小官并ニ數名ノ巡查ト共ニ退散スヘキ  
 旨ヲ告ケシニ容易ニ立去ラス其内馬場先門ニ警戒シ居タル十名ノ巡查駐足ニテ引返シ來ルト同時  
 ニ櫻田門ヨリ巡查三十名(神田新宿其  
他警察署員)許リ應援ニ進來ルト同時ニ室田警視其他二三ノ署長モ駐來  
 リ説諭スルニ容易ニ退却セシ其人品ハ紳士或ハ壯士或ハ勞働者風體ノ者多ク其内指揮スルモノ夥  
 多アリ年齢四十前後黒ノ山高帽子ヲ冠リ木綿黒色ノ羽織ニ袴ヲ着シタル男ハ其内ノ主領者ト  
 認メシニ付其者ニ對シ例へ如何ナル事情アリ理由アリトモ茲ハ宮城前二重橋外ニ於テ騷擾ヲ  
 ナスハ不敬ニ涉ルヲ以テ速ニ退却スヘキ旨諭スモ容易ニ服セザリシカ署長等ノ説諭ニ依リ漸ク馬  
 場先門外へ向テ退却セリ此時雨露ノ如ク投石セラレ小官ハ面部左内皆部ニ負傷セシモ其他ノ者モ



皆モ非常ニ投石セラレシカ幸ヒシテ負傷者ナキヲ得タリ其レヨリ斷時間所ニ於テ休憩中京橋區日吉町國民新聞社へ亂入セシニ付即時同所へ召應メヘキ官警馬巡査ヲ以テ警務長ヨリ傳合ヲ受テ同所ヲ引揚ケタリ

右致報告候也

明治卅八年十一月八日

日本橋警察署勤務

警務長 中山カ太郎

總町警察署長警視向田幸藏殿

報 告

明治三十八年九月五日日比谷公園ニ於テ國民同志聯合會ニ關シ取締ノ爲メ總町警察署へ應援トシテ出張本職及巡査二十九名ハ同署及他署ノ警部巡査ト共ニ日比谷門取締ニ從事セリ然ルニ午前十時頃ヨリ人民ハ群集シ來リシニ同日ノ會合ハ已ニ禁止トナリ且ツ入園ヲ停止サシタ

ルモ群衆ハ漸次増加シテ進入ヲ迫リタルヲ以テ警部巡査ハ總ニ同會禁止ノ旨ヲ諭シ一面其進入ヲ制止スルニ群衆ハ益々勢力ヲ加ヘツ、騷擾ヲ極メ普通手段ヲ以テ制止シ難キ場合ニ立至リ午前十一時過同門ハ柵ヲ設ケラレ警部巡査ハ柵ノ内外ニ於テ尙ホ説諭ヲ加フルモ群衆ハ已ニ數萬ノ勢力トナリ更ニ退散スル模樣ナク暴行ヲ逞フシ其前面ハ已ニ柵ヲ破ラントシ後方ニ於テハ吊旗等ヲ押立テ勢拔スルアリ或ハ何事カ演説(其要旨ヲ得ザリシ)シテ喝采ヲ迎フルモノ等刻々喧擾ヲ極メ愈々進入突撃シ加フルニ瓦礫其他棍棒類ヲ投擲シテ殆ント暴行ノ極點ニ達スルニ至ル茲ニ於テ警部巡査ハ言語若クハ手腕ヲ以テ極力之レヲ防止ニ勉メタリシカ力及ハヌシテ午後一時頃遂ニ柵ヲ破壞シテ闖入スルニ至レリ同午後一時三十分頃本職等ノ應援員ハ同所ヲ引揚ケ直ニ總理大臣官邸ニ至リ警戒取締ニ從事セリ此間巡査ハ多ク負傷シテ面部其他ニ流血シ實ニ慘憺ヲ極メタルモノアリ本職等應援員中巡査十一名ノ負傷者ヲ生シ本職モ亦負傷スルニ至レリ而シテ暴徒ノ狀況等ニ付キ巡査ノ報告ヲ綜合スルニ已ニ非常ノ際何レモ充分ノ認識ニ係ルノ由ナキモ大要左ノ如シ

- 一、未タ群衆ノ柵外ニアリタル際千葉縣有志云カト大書セシ大旗ヲ押立ラタルヲ柵外ノ巡査之レヲ制止シタルモノアリシ



一、柵外ニ於テ取締ニ從事セシ一巡查ハ専ラ制止ニ勉メ居ル際群衆中へ誘致サレ危險ニ陥リタルモノアリシニ數名ノ巡查追次助力シタリシニ已ニ負傷セシモノアリシ

二、柵ヲ設ケタル際ハ其内面ヨリ右方ヲ出入口トナシアリ(后閉鎖サレタルモノ)シヲ以テ暴徒ノ勢力ハ全然同方面ニ尤モ激烈ヲ加ヘ初メ同所ヨリ闖入同時ニ全部ハ柵ヲ破壞セリト認ム

三、暴徒闖入ノ前ニ於テ麹町警察署長ニ對シ市警事會ノ決議ヲ代表セリトテ柵ノ撤去ヲ請求シ得ルモノ(市役所庶務課長山崎林太郎ナリシト認ムタル旨巡查戸澤昌作ノ報告ニ依ル)アリシヲ認ム

一、暴徒中ニハ紳士風ノモノアリ或ハ壯士若クハ勞力者ト認ムルモノアリシカ其暴行者中尤モ重ナルモノト認ムルモノハ三十有余ノ男子丈高ク鼻下陳髯ヲ蓄ニ數寄屋ノ單衣ヲ着シ細平笠細ノ兵兒帶ヲ締リ仙台平袴ヲ着シタルモノ及新聞配達人風体ノモノ多カリシ

右及報告候也

明治三十八年十二月八日

日本橋警察勤務

警部中島守任

負傷人名

- 根岸時太郎 巡查部長巡查
- 同 高橋隼人
- 同 中田常太郎
- 同 山來辰之助
- 同 北林柱助
- 同 大宮照之助
- 同 宮澤金太郎
- 同 村山茂吉郎
- 同 近藤和平
- 同 武田謙彦
- 同 藍原嘉平

計拾壹人



明治三十八年九月五日日比谷公園ニ於ケル國民同志聯合大會ニ關シ同日午前十時頃ヨリ公園有樂門並ニ櫻田門警戒方命ニ依リ本職ハ正門ニ於テ日本橋署勤務中島警部外巡查ニ別カレ兩門ノ取締ニ從事セリ其狀況左ノ如シ

一、有樂門ハ公園北東隅ノ街角ニ當リ附近ニ電車ノ停留場アリ出入利便ノケ所ナレハ自然公衆ノ來集スルコト尤モ多キヲ以テ本職ハ重ニ本門ニ在リテ神田署及本所署ノ巡查數名ト共ニ專ラ警戒ニ從事セリ而シテ遊歩ノ爲メ來園シタル老幼男女幼ナカラサリシモ閉鎖セルヲ以テ悉ク立去リタリ亦大會ニ會合セントスルカ如キ壯士体書生体及職人体ノモノ若クハ洋服ヲ着シ或ハ鐵桿ヲ蓄ヘタル政客ヲシキモノ三々五々續々來園シ閉鎖セルヲ見テ公衆ノ遊園地タル公園ヲ指シ閉鎖スルトハ不法ナリ云々ト言語稍々嘲罵ニ涉ラントスルモノナキニアラサリシモ敢テ吾々ニ對シ粗暴ノ舉動ニ出ツルカ如キモノハナカリキ右等ノモノハ漸次正門ノ方面ニ立去レリ午後一時頃公園廣場ニ當リ一發ノ爆音ト共ニ大ニ喊聲ヲ起リタルヲ耳ニセリ后チ彼等ノ暴力ヲ以テ正門ヲ破リ侵入シタル際ナリシコトヲ傳聞ス其後通行人ハ正門ノ方ヲ指シ速歩セルヲ見ルノミ本門ニ於テハ午後一時四十分頃異狀ナク閉鎖セリ

一、櫻田門ハ本所署巡查數名警戒ニ從事セリ閉鎖后ハ前同斷大會ニ會合セントスルモノ或ハ公園ニ遊歩ヲ試ミントスルモノ等多少來園セシモ悉ク正門ノ方向ヲ指シ立去リ閉鎖ニ至ルモノヲ至極無事ナリシ由ナリ

一、右公園ノ警戒ヲ了ハリテ直チニ桂總理官邸ノ警衛ニ赴キタル中島警部外巡查ニ合シ共ニ同邸ノ警衛ニ從事セリ  
右及報告候也

明治卅八年十一月八日

日本橋警察署勤務

警部 大喜多 定治郎

報 告 書

本年九月五日日比谷公園地ニ國民大會ノ集會アルニ際シ取締ノ爲メ麹町署ハ應援ノ命ニ接シ同日午前八時本職外警部三名及巡查六十三名出張シ直ニ同署長殿ヨリ本日ノ國民大會ハ治安ニ警アル



下段ルヲ以テ禁止スルニモ不拘尙未開催スルノ狀況アルニ付該團體ハ治安保持ノ爲メ公園地内ニ於テレシメサル意見ニ付芝罘ノ應援員ハ西幸門霞門ノ兩所ヲ警戒スヘシト嚴命ヲ受テ同午前十時頃ヨリ全體ヲ二分シ西幸門ヲ本職及古江警部外三十二名ノ巡查ヲ以テ之ニ充テ自余ノ山口、自見ノ兩警部ハ三十一名ノ巡查ヲ以テ霞門ニ充テタリ各々警戒ニ余念ナカリシ處正午十二時三十分ト覺シキ頃日比谷正門ノ方面ニ於テ二三萬ノ群衆一團トナリ殺氣ヲ帯ビ閑ノ聲ヲ以テ押シ掛ケ暴行ニ及ヒ同所ニ於ケル少數ノ警部巡查ニテハ如何トモ陸方サキニ付キ至急應援出張スヘシト傳令ヲ受ケ不取敢古江警部巡查十五名ヲ引率シ同門前ニ急行出張シタリ此時最早團體ハ向田署長殿以下警部巡查多數ニ傷ツケ園内ニ亂人ノ後ナリシト是ニ於テ古江警部ハ各門ノ警戒ハ已ニ必要ナキヲ以テ之ヲ解クヘシト同署長殿ヨリ命ヲ受ケテ再ヒ舊位置ニ立戻リ其傳令アリ直チニ西幸門霞門兩所ノ警戒ヲ解キ再ヒ同署長殿ノ指揮ヲ仰クニ今暴徒ノ團體ハ屈辱的煽和反對云々特筆大書シタル大小旗ヲ押立テ宮城ニ重橋方面ヘ押掛ケ甚ダ不穩ノ狀況アリ彼等ハ何時如何ナル暴舉ニ出ル哉モ難計ニ付芝罘員應援一同ハ迅速外務海軍兩省ニ警戒スヘシト指令セラレ此時午後二時過ニシテ即チ海軍省方ヘハ山口、自見兩警部霞門ニ配置シタル巡查三十二名ヲ引率シ本職及古江警部ハ外務省ヘ三十二名ノ巡查ヲ以テ其内古江警部ハ拾五名ヲ率ヒ霞門ヲ本職ハ十七名ヲ率ヒ表門ヲ各警

戒中此時淺草警察署警部巡查十一名モ矢張り外務省構内ヲ警戒シ居リシモ各所警戒ニ余念ナク從事中午後五時頃ヨリ内務大臣官邸ニ暴民押寄せ放火セル急報ニ接シタルヲ以テ或ハ全波ノ襲來スルモ難斗ヲ以テ一層注意警戒懈リサカリシニ果セル哉午後七時貴族院方ヨリ外務省正門ニ向ヒ約七百餘ノ暴民一團トナリ其重ナルモノヲ紳士体ノモノニテ異口同音ニ外務省ヲ打毀セ警官ヲ打チ殺シ下高音ヲ發シツキ近ツキ無意味ニ木石ヲ投スルコト殆ント散ラ如ク危險甚シク迫應シ來リ最早ヤ防禦上止ムヲ得ス強力ヲ用ヒサルヘカラサル場合トナリ一旦居合セタル小數ノ巡查ヲ以テ追ヒ拂ヒタルモ暴民ハ益々増加シ約二千余警部ノ大勢喧々囂々再ヒ押寄せ來リタルヲ以テ山口、自見兩警部ハ海軍省ノ警戒ヲ撤去シテ應援ニ來リ淺草署ノ川畑警部十一名ノ巡查ヲ率ヒ來リ都合巡查警部七十余名ノモノ一團トナリ協力威嚇的強制ヲ加シ漸ク數町后方ニ退カシメタルモ多衆ヲ恃ムノ暴徒容易ニ去ルヘクモアラヌ前進シテ暴行酷シク一面ニハ同所右方虎ノ門巡查派出所ニ没シ再々放火シ遂ニ消シ止メタルモ其暴狀極マリナク爲メニ警部巡查ノ負傷スルモノ殺出スルノ有様歎スルキニ非ヌ又々強制努力后方ニ退カシムルモ捕ニハ來ル夏ノ蠅ト一般容易ニ制止シ難ク其ノ困難一方ヲサリシ依テ警視廳ヘ救度外務省ヲ電話ヲ以テ應援方ヲ要求スルモ市内各所ニ暴民ノ押歩キ之レカ防禦ノ爲メ差向キ應援スヘキモノナキニ付防衛上止ムナクハ非常



手段ヲ以テ其ノ現員ニテ討死スル覺悟ヲ以テ極力強制スヘシトノ電話ニ接シ一同拔劍シテ威嚇的  
 制止スルモ容易ニ退却セズ殆ント苦境ニ陥リタルモ幸フシテ抑止シ得タリ此間虎ノ門巡査派出所  
 ニ放火シ及ヒ同所ノ時計ヲ窃取シテ逃走セントシタル被告及ヒ暴徒二十八名ヲ逮捕シタリ  
 又正門ニ防禦警戒セル警部巡査中本職及ヒ別紙二十七名ハ頭部其他身體ニ大小負傷ヲ受ケ其慘狀  
 筆端ノ盡シ得ヘカラサル情境ニ接シタリ此時午後九時頃ニシテ幸ニ兵士十四名應援ヲ得テ夫レヨ  
 リ協力事ニ當リシ爲メ始メテ暴民退却ニ及ヒ勢力ヲ喪ヒテ其後次第ニ兵士數百名并ニ警視廳ヨリ  
 警部巡査數十名應援トシテ來ラレ始メテ暴民等ハ芝區方面ニ立去リ負傷警部巡査ノ治療ヲナサン  
 トシテ照會中向田署長殿外務省ニ出張セラレタルニ付キ前記ノ手續詳細上申致シ置キタル始末ニ  
 有之候

尙ホ外務省ニ於テ負傷警部巡査ノ治療ヲ了ハリ翌六日午前二時三十分頃麴町署ヲ暴民來襲ノ虞ア  
 リトシテ本職古江兩警部ハ巡査四十名ヲ引率シテ向田署長殿ニ隨行同署ニ出張シタリ而シテ殘員  
 八名ノ巡査ハ珍川外務次官自宅ニ警戒ノ爲メ派遣シ置キ候山口、自見兩警部ハ當署員巡査拾五名  
 淺草署巡査五名都合二十名ヲ引率シ四谷署へ應援出張セリ而シテ何レモ翌六日午後六時頃直ニ歸  
 署セリ

右取扱ヒタル顛末及報告候也

明治三十八年十一月八日

芝警察署勤務

警部 森住 政 憲

芝警察署長警視植木武彦殿

報 告

一、明治三十八年九月五日麴町區日比谷公園ニ於テ國民大會ノ集會アルニ際シ取締ノ爲メ麴町署  
 へ應援ノ命ニ接シ同日午前八時同署へ警部巡査六十三名出張シ直チニ同署々長殿ヨリ西幸門及  
 ヒ霞門ノ警戒スヘキ命ヲ受ケ全體ヲ二分シ西幸門方面へ森住警部古江警部外巡査三十二名ヲ以  
 テ之レニ充テ自余ノ自見警部山口警部外三十一名ノ巡査ヲ以テ霞門ニ充タリ各々警戒ニ余念チ  
 カリシ處時恰カモ午後〇時三十分ト思シ頃日比谷正門方面ニ於テ閑ノ聲ヲ以テ百電ノ落ッル  
 カ如ク群衆ノ一齊ニ押寄せ一殺那ニ企門ハ腕ヲモ斷破セラレ今ヤ不穩ノ狀アル急報ニ接シ二三



ノ巡查應援ニ派出セリ間モナク一發ノ煙火打擲タルヤ否群衆ノ一團團内ニ入り開演ノ目的ヲ遂  
 ケラレタル模様ナリキ午後二時三十分頃群衆ハ歸路ヲ霞門ニ探リ約三四千人位青年老幼相擧リ  
 或ハ草鞋或ハ靴或ハ下駄或ハ草履等ヲ穿テ一見身掛旅裝ニ扮シ各大小ノ旗ニ屈辱辯和反對云々  
 ヲ大書特筆シテ各々手ニシ或ハ紳士體ノ洋服連或ハ羽織袴或ハ壯士體ノ男其他遊人學生等相交  
 リ正々堂々宮城方面ニ通路ヲ探リ通過シ動モスレハ不穩ノ舉動ヲ示シ政府ノ犬トカ或ハ無警察  
 トカ巡查ノ馬鹿トカ各々惡評ヲ試ミ刺サハ投石ヲ以テ擲擲ノ氣味アリキ然レトモ暫ク彼等ノ爲  
 ス儘ニ任シテ靜默ノ態度ヲ取リ事ナキヲ望ミ紛擾ノ動機ヲ避ケ居レリ斯クスル内ニ一團ハ全ク  
 何事モナク通過セラレキ午後三時頃更ニ麹町署長殿ノ命ニ依リ右警戒ヲ解除シテ前同様ニ分レ  
 テ森住警部古江警部外三十二名ハ外務省門前ノ警戒ニ自見警部山口警部外三十一名ノ一隊ハ海  
 軍省門前ノ警戒ニ專心ニ意余念チカリシ處午後五時頃ヨリ内務大臣官邸ニ暴民押寄せ放火セル  
 急報ニ接シタルヲ以テ一層警戒ニ懈リナカリシニ果セルカ夫午後七時頃外務省門前ニ暴民押寄  
 セ投石雨ノ如ク非常ノ騷擾ヲ極メ居ルヲ認メ吾々分隊ハ海軍省警戒ヲ撤去シ直チニ外務省正門  
 ニ應援シ一隊トナリ協力全心シテ防禦ノ任ニ當リ非常手段トシテ止ムナク拔劍シ約七百ノ暴民  
 ヲ辛クモ驅退シタリ夫レヨリ暴民ハ夜ニ乘シ次第ニ勢力ヲ高メ約二千人位一團トナリ或ハ投石

或ハ木片或ハ刀劍仕込杖等ヲ把持シ無意味ニ押寄せ遂ニ同省門傍ノ派出所ニ放火シ今ヤ全ク危  
 ニ頻シ良策ニ苦シニ電話ヲ以テ警視廳第一部隊第二隊ニ應援ヲ要求スルニ至レリ斯クスル内ニ午  
 后八時三十分頃近衛兵十四名ノ應援ヲ受ケ其レヨリ協力事ニ當リシ爲メ暴民ハ驅退ニ及ヒ勢力  
 ヲ喪ヒリ午後九時三十分頃近衛兵及應援巡查ノ派出ニヨリ益々暴民ハ驅退スルニ至レリ依テ暴  
 民ト思量スヘキ者三十名ヲ逮捕シタリシ翌六日午後二時頃三十分頃同署々長殿ノ命ニ依リ四谷  
 警察署暴民ノ四面攻撃ヲ受ケ今ヤ危ニ頻シツ、アルニヨリ自見警部山口警部ハ巡查十五名外淺  
 草應援巡查五名合計二十名ヲ引率シテ應援ニ赴キ午前三時三十分頃四谷署ニ到着ス然ルニ何等  
 變來ノ形跡モナカリシ更ニ本廳ノ命ニ依リ午前九時三十分頃引揚ケ午前十時五十分頃所屬署ニ歸  
 着セリ

追テ日比谷正門ニ應援トシテ派出セラレタル巡查ハ池田直熊、八木彦、宮里親成等ニシテ何  
 レモ微傷ヲ受ケ外務省正門ニ於テ森住警部自見警部山口警部外巡查二十七名負傷シ何レモ本  
 廳第三部派出ノ警察醫ニ應急ノ手當ヲ受ケタリ

右概要及報告候也

明治卅八年十一月九日



芝警察署勤務

警部 山口 竹治

同署勤務

警部 自見 淺太郎

芝警察署長警視植木武彦殿

報告書

明治三十八年九月五日日比谷公園國民大會取締ノ爲メ麹町警察署へ應援トシ出張ノ顛末左記ノ通り有之候條此段及報告候也

芝警察署勤務

警部 古江 實雄

芝警察署長警視植木武彦殿

左記

- 一、車職ハ外警部三名巡查六十三名ト共ニ同日午前八時ヨリ麹町警察署へ出張同十時引率巡查ヲ
- 二分シ山口自見警部ハ日比谷公園霞門ヲ森住警部及ヒ車職ハ西幸門ヲ警戒セリ
- 一、當日全門ハ稀レニ入園セントスルモノアラサリシカ至ツテ靜穩ナリシ后一時頃ニ至リ日比谷門前ニ多衆群集往來全ク杜絶シタルヲ以テ交通取締トシテ更ラニ同門前へ出張ヌヘキ傳令ヲ受テ巡查十五名ヲ引率即時斷ケ付ケタリ
- 一、車職カ同門ニ若セシ際ハ約三四萬ノ多衆園内ニ亂入ノ后チナリシヲ以テ麹町向田署長ニ指揮ヲ乞ヒシニ多衆暴民ハ警部巡查ヲ傷ケテ日比谷門ヲ破壞亂入セリ各門ノ警戒ハ已ニ必要ナキヲ以テ之レヲ解シヘキヲ命セラレ依テ再ヒ舊位置ニ立チ戻リタリ
- 一、車職ハ同署長ノ命ニヨリ森住警部ト共ニ西幸門ノ警戒ヲ解キ更ラニ霞門ニ至リ山口、自見ノ兩警部ニ之レヲ傳令シタリ然ルニ同二時頃更ラニ外務省及ヒ海軍省ノ警戒ニ從事ヌヘキ命ニヨリ即時巡查ヲ引率出張シタリ
- 一、山口、自見兩警部ハ海軍省ニ森住警部及ヒ車職ハ外務省ニ引率巡查ヲ二分シテ各警戒ニ從事シタリ而シテ森住警部ハ同省裏門ヲ車職ハ更ラニ巡查拾五名ヲ引率裏門ノ警戒ニ從事シタリ
- 一、當夜裏門ニハ多衆ノ暴民押シ寄せタルニモ拘ハラヌ裏門ハ至ツテ靜穩ニシテ無事翌午前三時



頃ヨリ向田署長ニ從ヒ巡查約四十名ト共ニ更ラニ麹町警察署ノ警戒ニ從事同日午後六時同署ヲ引揚ケ歸署シタリ

以上

警戒狀況報告

明治三十八年九月五日麹町警察署へ應援警戒從事シタル狀況左ノ如シ

一、五日ハ午前八時半迄麹町署ニ出頭向田署長殿ノ取締ニ關スル心得ノ訓示及ヒ配置ノ圖ヲ受領  
救護警部及ヒ土屋巡查部長蘭半田巡查部長等ト共ニ指定地日比谷公園ニ至リ櫻田門ヨリ有樂門  
其附近ノ警戒ニ從事シタリ

一、當日ハ警部二名監督部長二名巡查三十八名之ヲ二分シテ救護警部蘭半田部長ハ有樂門及ヒ  
其附近本職及ヒ土屋部長ハ櫻田門其附近ニ各巡查ヲ配置セリ而シテ午前十時頃各門ハ丸太ヲ以

テ嚴重ニ封鎖シ公衆ノ通行ヲ禁止シタリ此時救護警部ハ下痢症ニ罹リ勤務ニ堪難キ趣キニテ病  
氣引籠セリ

一、然ル處正午十二時頃東京市役所庶務課長山崎林太郎ナル旨櫻田門外ニ來リ非常ノ勢ニテ何故  
ニ市役所ニ交渉ナク自由ニ封鎖セシヤ速カニ開放セラレタシト請求セリ予ハ單ニ警戒ノ任務ヲ  
有スルノミニシテ交渉ノ如何ハ知ラサル處ナリト答ヘ市役所ニテ御用ナラハ該門側ヨリ御遣入  
リナツイ而シテ向田署長モ出張所ニアリ意見アラハ陳述セラレタシト告ケ入場セシメタリ

一、左ヌル處櫻田門及ヒ有樂門外ニハ暴徒ト認ムルモノ多衆來リタルモ警戒ノ嚴ナルヲ認メ各々  
殺氣ヲ佩ヒ日比谷門方面へ進行セリ其トキハ同一方面ニ大勢押シ寄せ喊ノ聲ノ擧ルヲ耳ニセリ  
而シテ本職ハ其狀況偵察ノ爲メ公園運動場ノ附近ニ至リシニ數萬ノ暴徒ハ已ニ日比谷門警戒ニ  
向ツテ突撃破壞侵入シ、時ニ煙火ヲ打揚ケ樂ヲ奏シ吊旗ヲ押シ立テ鯨波ノ勢ニテ各目的ヲ達シ  
萬歳ヲ絶叫シタル其狀況甚ク凄絶ナリキ

夫レヨリ警戒門ニ至リシニ市參事會員關幸太郎、丸山名政、渡邊實次郎等ハ多衆ト來リ開鎖ヲ  
請求セリ此時本職ハ向田署長ニ開鎖如何ヲ問ヒタル處最早門破レタリ警戒ノ必要ナシ因テ速  
ニ開放ノ命ニヨリ人足ニ命シ開放通行セシメタリ



一、其レヨリ公園事務所ノ附近ニ休憩シ居リタル處同日午後三時半頃暴奸ハ内務大臣官舎ヲ襲撃シ向田署長ハ悲境ニ陥リタリト應援ノ命アリ本職ハ直ニ巡査ヲ引率シ駆足ニテ同官舎正門ニ至リシニ數萬ノ暴奸野耳馬ハ該門附近ニ充滿シ瓦礫木片下駄等ヲ投ケツ、アリシ官舎正門扉及ヒ附屬長屋ハ破壊シ門ノ内外ハ瓦礫丸太捧散亂シ恰カモ戰場ノ如シ暴奸ハ倍勢拔ヲ張リ其勢當ルヘカヲス警戒ノ警部巡査負傷スルモノ數十名ニ達セリ向田署長殿モ負傷シ鮮血ニ染ミ居ルヲ認メタリ

此時巡査部長巡査山口倉吉ハ左前胸部打撲傷ニ週間引キ籠リ治療セリ  
巡査神館百太郎ハ左口胸部打撲右背部打撲八日間引キ籠リ治療  
巡査山口道治ハ後頭部撲傷廿二日間引キ籠リ治療セリ

其ヨリ暴徒制止シタル處一時退却セシメタリ直チニ警視廳ニ引揚ケノ命アリ巡査ヲ引率シ引キ揚ケ小憩中亦暴徒内務大臣官舎ニ逆襲シ已ニ附屬官舎ハ放火シタリトノ急報ニ接シ進行シタル處數萬ノ暴徒ハ瓦礫ヲ雨般ノ如ク投シ丸太ヲ打テ振り官舎牆壁ヲ破壊シ附近官舎ニ放火シ火烟ハ天ニ濶キリ裏門等ハ破壊セラレ其狀況ハ凄然タリ此時本職ノ一行ハ暴徒ノ後方ニ露出シ防禦ニ從事シタル爲メ暴徒ハ一時退散セリ又暫時ニシテ逆襲シ來リ官舎廐舎ノ外部ヲ破壊收火シ瓦

礫ヲ投スルニト一層甚シク其勢猛烈ニシテ當ルヘカヲス爰ニ於テ暴行セスニ制止一時解散セシメタルモ終始投石止マザリシ

此警戒中左ノ者負傷セリ

巡査部長巡査古垣伸二ハ左耳後ノ挫傷引籠治療二十一日間巡査部長巡査高野英伸ハ腰部打撲傷出勤治療十日間巡査櫻原平助ハ右前頭毛髮接際部挫傷引キ籠リ治療十日間巡査野村慶之助左頰部打撲傷十日間引籠リ治療

巡査森田彌一郎右乳嘴部撲傷二十日間引籠治療巡査部長巡査柳原廣吉右拇指捻挫傷十四日間出勤治療巡査渡邊徳次郎右背部打撲傷十四日間引キ籠治療

一、夫レヨリ警視廳ヘ引揚ケノ命アリ同時ニ同廳正門ノ警戒ニ從事中本所警察署危險ナリトノ情報ニヨリ直チニ歸署ヲ命セラレタル次第ニ有之候此段及報告候也

明治三十八年九月十日

本所警察署勤務

警部 山口 繁



報告書

明治三十八年九月五日麹町警察署へ應援トシテ巡查五十名ヲ本職並ニ同僚稽問警部及ヒ石井警部  
 ノ三名ニテ引率出張同日午前八時頃本職ハ右應援巡查ノ中十名ヲ率ヒ日比谷公園幸門前警戒ニ從  
 事中正午十二時頃ニ至リ同公園正門ニ多衆押シヨセ來リ正サニ柵ヲ破壊シ亂入セントスル形勢ア  
 ルニ付キ即時部下巡查ヲ呼ヒ應援スヘキ命ニ接シタルヲ以テ急遽同場ニ駆ケ付ケタルニ果シテ數  
 萬ノ民衆此ノ人物ノ種類ヲ舉クレハ紳士壯士職工人夫其他勞働者等群集喧嘩波ヲ揚ケ瓦礫土砂  
 ヲ投シ或ハ棍棒ヲ擲ヘ或ハ路上演說ヲナスモノアリ又一方ニハ警察官ヲ罵倒シ狂暴至ラサルナキ  
 狀況ニシテ制止スルモ彼レ等首セス爲メニ電車ハ一時停止スルノ止ムナク本職以下巡查ハ極力鎮  
 撫ニ努力セシメ衆寡之レニ敵セム彼レ等遂ニ暴橫ヲ逞フシ柵ヲ破壊シ棍棒ヲ擲ヘ或ハ吊旗ヲ翻シ  
 (此吊旗ハ巾二尺長三尺位ノ白布ニ黒ノ輪角ヲ施シ其中ニ千葉縣云々ト黒書シアリシモ詳細ナル  
 文字ハ判明セス又タ之レヲ押シ立テ居リシ人物ハ混雜ノ際ニテ不明ナリ)門内ニ闖入セリ而シテ  
 同日午後三十分頃ニ至リ本職外同僚ノ率ヒ居リタル巡查合セテ五十名ハ櫻田門ノ警戒ニ從事スヘ  
 キ旨向田署長殿ノ指揮ニ據リ即時出張途中ニ於テ騎馬巡查ノ駈セ來ルニ際會シ其首ニ據レハ只今  
 二重橋附近ニ暴民多數群集シ居ルトノ急報ニ接シ於是本職等一同急遽該所ニ出張セル處果セルカ

ナ芝生廣場ハ多數人民群衆立錫ノ地ナク且ツ二重橋迄ニモ暴民押シ寄セ瓦礫ヲ投シ或ハ罵詈訕亂  
 暴浪籍其行動名狀スヘカラス依テ本職等一同ハ極力鎮撫ニ從事セシモ其効ナク彼レ等遂ニ秩序整  
 然トシテ多ク馬場先門ヲ差シテ退去セリ思フニ彼レ等中ニ主謀者アツテ然ルナラント想像ス而シ  
 テ後時ニシテ櫻井第一部長殿ノ命令ニテ一同ハ即刻京橋區日吉町國民新聞社へ應援トシテ出張  
 スヘキ旨千葉騎馬警部傳令シ來リタルニ付キ急遽同社ニ出向セリ此段及報告候也

神田警察署

警部 櫻井 誠 重

明治三十八年十一月九日

報告書

明治三十八年九月五日麹町區日比谷公園内ニ開催ノ國民大會取締ノ爲メ麹町警察署へ應援トシテ  
 同僚警部稻間寛同櫻井誠重ト共ニ巡查五十名ヲ引率同公園ニ出張本職ハ西幸門外警戒中同日午前  
 十一時頃ニ至リ同門筋向フナル都新聞社ノ前ノ道路ニ向フ三四十名ノ職工及ヒ社員ト思シキモノ



群集シ居リシカ内尙有韓ニシテ紳士風ノモノ三四人西幸門ニ來リ入園セントセシヲ以テ繼ロニ諭シ  
 歸ヘラシメントセシニ彼レ等ハ公園内松本樓ニ食事ノ爲メ趣クモノナリト稱シ入園拒絶ノ理由ヲ  
 推問シ己マサルヲ以テ本職ハ理由ノ詳細ヲ問ハント欲セハ日比谷門際ニ警視出張シ居ルニ付キ該  
 所ニ至リ尋ネラルヘシト答ヘ退散セシメタリ次ヒテ壯士體職工體ノモノ亦々入園セント來リタル  
 モ悉ク諭シ退散セシメタリ正後十二時頃日比谷門ニ應援スヘキ急命ニ接シ急遽正門ニ趣キタルニ  
 其際ハ門外ニ群衆ノ民衆潮ノ如ク押シヨセ來リ門内ニ闖入セント韓キ或ハ瓦礫ヲ投シ或ハ正門ニ  
 急造シアル出入口ノ丸太ヲ引扱キ之レヲ振り廻ハシ各警部巡查ヲ打タントシ或ハ路上演説ヲナス  
 モノアリ急チニシテ當署巡查園分胤吉ハ民衆中ニ拉セラレ頭部ニ打撲切傷ヲ受ケタルモ各巡查ハ  
 直チニ之レヲ取り返ヘシタリ等其ノ騒擾名狀スヘカラスシテ明カニ暴動狀態ヲ呈シ不穩ノ狀刻々  
 ニ逼リ來ルモ警部巡查ハ向田警視殿ノ指揮ノ許ニ正門内ニ踏ミ止マリ能ク拒キ極力鎮撫ニ努メタ  
 リ此門外ニ接近シ專ラ狂暴ヲ逞フシ且ツ罵詈ヲ恣ニシタルモノハ多ク勞働者、衛生體、壯士輩ノ  
 モノナルカ須臾ニシテ江間俊一眞先キニ三四人ノ紳士風ノモノ民衆ノ背後ヨリ押シ別ヲ入り來リ  
 江間ハ余ハ市會議員ナリ議員カ市ノ公園内ニ入ル何ノ不可アルト大聲巡查ヲ叱咤シ強イテ入園セ  
 ントシタル判那民衆ハ突進シ來リタルカ衆寡敵セス遂ニ亂入セシムルノ已ムヲ得サルニ至ラシメ

タリ其入園人員ハ約二万以上ニシテ内ニ吊旗ヲ懸シ(巾二尺長サ三尺位)白巾ニ黒ノ輪角ヲ施シ  
 其中ニ千葉縣云々ト黒書シアリシモ詳細ナル文字ヲ記載セヌ又タ之レヲ差立テ居ル人物モ混雜中  
 ニテ判明セヌ)或ハ棍棒仕込杖等ヲ携帶シ居ルモノヲ確認セリ少時ニシテ櫻田門ヲ警戒スヘキ命  
 ヲ受ケ稻間、櫻井兩警部及ヒ巡查五十名ト共ニ之レヲ趣ク途中騎馬巡查ヨリ暴民ニ重橋門外ニ押  
 寄セタルノ急報ニ接シ直チニ駈セ付ケ櫻田門内ニ入ルヤ暴民ハ道ノ兩側ニ擁シ本職等ニ瓦礫ヲ投  
 シ殆ンド面ヲ振ル能ハサル程ナリシカ幸シテニ重橋門外ニ達シタリ此途中當署巡查中馬彦次郎同  
 加村百助投石ノ爲メ負傷ニ重橋門外際ニ休息セシメ其他ハ投石ノ命中ヲ受ケサルモノ一人モナカ  
 リシカ幸ニ負傷スルニ至ラス而シテ門外ハ暴民密集シ居リ瓦礫ヲ投シ嘲罵ヲ逞フシ百方鎮撫ニ從  
 事スルモ力及ハス鎮定ノ効更ラニナカリシニ暴民ハ俄カニ馬場先門ヲ指シテ退散セリ其狀況ヨリ  
 察スルニ彼レ等ノ退散ハ指揮者アリテ之レヲ進退セシモノ、如ク整然トシテ秩序アリ規律アリテ  
 彼ノ期セスシテ任意來集シタル普通一般ノ民衆ト大ニ趣キヲ異ニスルヲ確信セリ暫時ニシテ千葉  
 警部、一部長殿ノ命ヲ傳達シ暴民國民新聞社へ襲撃ノ模様アルニ付キ直チニ同社ニ應援スヘキ命  
 ヲ受ケ午後二時ニ重橋ヲ引キ上ケ國民新聞社ニ向テ駈ケ付ケタリ

右ノ通り報告仕候也



明治三十八年十二月七日

三百二十六

神田警察署勤務

警部 石井善太郎

報告書

明治三十八年九月五日麹町區日比谷公園内ニ於テ開催ノ國民大會取締リノ爲メ麹町警察署へ應援トシテ本職ハ警部櫻井誠重、石井善太郎ト共ニ巡查五十名ヲ引率シ該公園ニ出張シ本職ハ巡查十名ト共ニ日比谷門外道路ニ於テ警戒中大會出席ノ民衆ハ續々該門ヲ指シテ來集シ忽チニシテ數千ニ達シ正午頃ニハ數万人ニ達シタリ其來衆ハ紳士、紳商、學生、職工、土方、人力車夫等社會ニアラユル各種ノ人物ニシテ酒氣ヲ帶ヒタルモノアリ杖ヲ持チタルモノアリ吊旗ヲ翻シ(巾二尺長サ三尺位)ノ白布ニ黒ノ輪角ヲ施シ其中ニ千葉縣云々ト黒書シアリシモ詳細ナル文字ヲ記臆セス又之レヲ蓋シ立テ居ル人物モ混雜ノ内ニテ判明セス)或ハ群衆ノ中ニアリテ大道演説ヲ試ミタルモノアルカト見レハ一方ニ又夕西洋大白紙ニ國民大會ハ必ス開クト大書シタルモノヲ飛ハシ來衆ニ

閱セシメ日比谷門警戒ノ警察官ニ反抗セシメツ、アルモノアリ彼レ等ニ對シ制止説諭ヲナサントスレハ直チニ暴民ニ遮ラレ更ニ其ノ者ニ接近スルコト能ハサリシノミナラス暴民ハ公園内外ニアル警察官目掛ケテ瓦礫ヲ投ケ慘狀ヲ極メタリ此時引率巡查島宗敬吉ハ右眼球ヲ打タレ數十日休業スルノ止ムナキニ至リタリ日比谷門警戒ヲ破リ暴民カ闖入セルトキハ道路ハ暴民ヲ以テ滿タサレ一時ハ電車ノ運轉モ中止セル位ナリシ彼レ等ノ動作ハ規律アリ到底任意來衆シ普通一般ノモノトハ認メラレサリシ暴民カ暴力ヲ以テ入園シ大會ヲ開キ了リタル後ニ於テ本職等神田署ノ應援警部巡查ハ櫻田門警戒ノ命ヲ受ケ出張途中騎馬巡查ノ急報ニ接シ直チニ斷付ヘ櫻田門内ニ入ルヤ暴民ハ道ノ兩側ニ本職等ヲ擁シ瓦礫ヲ投シ二重橋ニ近接セシメサラシメントセシカ本職等ハ辛フシテ之レヲ忍ヒ二重橋門外ニ達スル間際ニ於テ引率セル巡查中島彦次郎ハ右頭顱骨部ノ撲傷深サ骨肉ニ達スル創ヲ負ヘ殆ント二十日間ニ達スル休業スルニ至リ又夕加村ハ助モ同時右眼外角部切創及ヒ右顎打撲ニ因スル口炎ヲ負ヘ一週間同休業スルニ至リタリ其他瓦礫ノ命中ヲ受ケサルモノナク實ニ慘狀ヲ極メタリ而シテ門外暴民ハ益々瓦礫ヲ投シ或ハ罵詈ヲ逞フシ百方鎮撫ニカムルモ力及ハス更ラニ其効ナカリシカ午後一時ニ至リ暴民ハ自カラ退散セリ其狀指揮者アリシカ如ク認メラレタリ何トナレハ進退秩序アリ規律アリ自由任意ニ來集シタル普通一般ノ民衆トハ大ニ趣キヲ異

三百二十七



ニスルヲ認ム暫時ニシテ松井警務長ノ指揮ニヨリ國民新聞保護ノ爲メ神田署ノ警部巡查一同同社  
ハ出張セリ

右及報告候也

明治三十八年十一月九日

神田警察署

警部 稲 間 寛

騒擾事件ニ關スル狀況報告書

本年九月五日國民有志大會ノ會同ニ先テ解散セラル、本職ハ同日午前七時麹町署へ應援下命ニ接  
シ部下巡查十一名ヲ引率同署ニ至リ警戒上ニヲケル諸般ノ任務ヲ領シ直チニ日比谷中學校脇ヨリ  
櫻田門ニ至ル一帶ノ通路ヲ扼シテ各巡查ヲ配置シ嚴ニ警戒中三々五々壯丁ノ輩語ヲ放ツテ往來ス  
ルモノ不少形勢稍々不穩ノ狀アルヲ認メシニヨリ各巡查ヲ戒飭益々急ニ備ヘル處アルニ同日午後  
一時頃ニ及ヒ飛報アリ曰ク日比谷公園正門ノ附近ニ群衆セシ民衆ノ一團ハ警察官ニ反抗シ暴力ヲ

以テ已ニ正門ノ扉ヲ破リ公園内ニ闖入シ園内ノ廣場ニ於テ豫定ノ決議ヲ爲シ一團ハ順路ヲ新富座  
會場ニ一團ハ敷庭ノ旗ヲ押立テ相叫號シツ、園内ヨリ海軍省門裏手ニ出テ同省ノ裏通路ヨリ櫻田  
門ニ出テ二重橋外ニ向ヒテ進行セリト茲ニ於テ本職ハ已ニ事態ノ容易ナラサルヲ知り同時豫定警  
戒線ヲ維持スルノ益ナキヲ認メシニヨリ更ラニ前進シテ二重橋外ニ至ランカ爲メ先ツ出張ノ麹町  
署員ニ交渉セントシテ一時其所在ヲ索メタルモ更ラニ會スルヲ得ヌ須臾ニシテ同署出張ノ氏名不  
詳ノ警部ノ來ルニ會シ之レト協商ノ上直チニ部下巡查ヲ促シテ挺身シ櫻田門ヨリ二重橋外ニ出テ  
タルニ之レヨリ先キ民衆ノ一團ハ已ニ奔流ノ勢ヲ以テ二重橋外ニ群集シ警察官ニ向ヘ石ヲ飛シ土  
塊ヲ抛チ相叫應シツ、騒擾セルヨリ同所配置ノ警察官ハ衆ニ接近シ制止ヲ加ヘ頻リニ解散スルノ  
利益ナルヲ諭セシモ其初メハ能ク一人ノ之レニ應スルモノアラサリシ趣キニシテ二重橋下ニ至リ  
タルトキ暴徒ハ早ヤ他ニ進行シタル後チナリツヲ以テ本職ハ各巡查ヲ部署シ午後二時頃ニ至リ一  
部長ノ命ト稱シ千葉警部ノ傳令アリ曰ク今ヨリ直チニ新富座演說會場ノ紛擾取締之爲メ同署ニ出  
張スヘシト依テ直チニ旨ヲ領シ二重橋外ヲ引キ揚ケ同所ニ飛援シ午後六時頃迄同座門前ニ於テ警  
戒中更ラニ同所ヨリ一旦京橋署ニ引キ揚ケタルニ此時一部長ハ本職ノ引率シ來リシ先着巡查八名  
ト各署應援巡查トヲ統率シテ内務大臣邸ノ警戒ニ赴拔セラレタルヲ聞キ本職ハ殘員三名ノ當座ヨ



リ引揚ケ來ルヲ俟テ之レヲ率ヒ直チニ同官邸ニ向ヘテ出發シ其ノ附近ニ至リタルニ此時其附近ハ殆ント人ヲ以テ埋マリ民衆ノ氣勢ハ愈々益々猛烈ヲ加ヘ來慈號叫喚ノ聲ハ拍手喝采ノ聲ト相和騷擾ノ狀況名狀スヘカラス此民衆ノ一團ハ濠ケタル砂塵ノ中ヨリ本職等ニ向ヘ石ヲ飛ハシ瓦ヲ抛チソレ遣ツ付ケロト叫ビ棍棒杖洋傘等ヲ打チ振りソ、疊ンテ仕舞ヘト騒キ如何ニ手ヲ振り聲ヲ喊ラシテ抑止セントスルモ之ヲ顧ミルモノナク一進一退只々同シ舉動ヲ繰り返ヘヌニ過キヌシテ到底先キノ應援員ニ會合スルヲ得ヌ四圍ノ狀況斯クノ如クナルヲ以テ退キテ有樂町派出所ニ至リ同所附近ヲ警戒中午後 時頃ニ至リ鯨波ヲ作りソ、民衆ノ一團ハ潮ノ如ク同派出所ニ殺到シ之ヲ燒棄セントセシニヨリ奮テ之レヲ抑止セントセシモ本職ノ率ヘル處ハ部下僅カニ三名ニ過キヌ衆寡斯ク異ニスルヲ以テ假令一時之ヲ鎮壓スルモ永ク其實効ヲ收メ得ヘカラサルヲ知り直チニ引キ揚ケテ命ヲ下シ輔シテ之ヲ櫻田門派出所ニ引キ揚ケタリ願ミルニ此時部下三名ノ巡查ハ已ニ各離散シテ收拾スル由ナク麹町署員又ターノ會スルモノナク其姿ヲ認ムル能ハス依制服警戒ノ不利ナルヲ語リ變裝シテ内務大臣官邸ノ警戒ニ合セントシテ一時電車ニテ歸署シ直チニ小使ヲシテ自宅ヨリ角袖ヲトリ寄セシメントセシモ民衆ノ一團ハ益々猖獗ヲ加ヘ來リ將ニ當署ヲ襲撃セントスル旨ノ飛報頻々トシ至リ形勢頗ル急ナルニヨリ久保田警部ト協議ノ上在署警戒ニ當ルニ決シ其儘當署警

戒服ヲ着テ四軒ヲ通り騒擾取締ニ關スル狀況及報告候也

明治三十六年十一月六日

四谷警察署勤務

追田 藤太郎

大崎町警察署長 櫻田 幸藏殿

國民大會取締ノ件報告

去ル九月五日日比谷公園ニ開催セントシタル國民大會ハ治安ニ害アリトシ禁止セラレタリ是レカ取締ノ爲メ同日午前八時公園内ニ來集シ且ツ勤務ハ傳令使ノ命ヲ受ケ出張ス同日午前九時公園正門ニ至リタルニ園内ノ狀況未タ團體的行動ヲ以テ彷徨スルヲ認メサリシモ三々伍々樹下或ハ腰掛ケニ憩ヒツ、アル地方人士等ノ目撃スルノミナリシ斯クテ刻ヲ追ヒ午前十時半頃園内ニ集合スル者ニ對シ大會ノ禁止ヲ告知シ專ラ正門ノ取締ニ從事中正門内ニ群集スル徒黨



益加ハルヲ見ル茲ニ於テ配置巡査ハ懇切ニ禁止ノ旨ヲ告知シ交通防害トナルヘキ付立者ニ解散ヲ命スルモ更ニ肯セヌ却テ警察官ヲ倒シ喧々トシテ稍不穩ノ狀ヲ呈シタリ時ニ貴官ハ内相邸ノ電話ヲ以テ主事及警務長ニ狀況ヲ申報セヨトノ命アリタリ依テ直ニ馳テ其旨ヲ果タシ舊地ニ復シタルトキハ凡十一時頃ナリキ而シテ門前ハ愈々蟬集ヲ求リ已ニ數千ヲ以テ算セラル此ノ時貴官ハ本職ニ命シテ公園各門ヲ閉鎖ス可キ旨傳令セヨトノ御命ニ依リ直チニ正門櫻田門霞門西幸門ノ警戒ニ此由傳達ス木柵ノ建設セラル、ヤ正門前ノ群集ハ巡査ノ懸示ニ肯セヌシテ大會禁止ヲ以テ不法ノ處分ナリ且木柵ハ不法ニ自由通行ヲ制限スルモノナリ我等ハ數十里ヲ隔テ、能ク大會ニ列席ノタメ上京セリ故ニ飽クマナク素志ヲ貫徹スルノ決心ナリ木柵ヲ破壊セヨト豪語シ或ハ警官ヲ殺セヨ打テヨト罵倒シ瓦礫ヲ投シ砂塵ヲ飛散シ益々亂暴猖獗ヲ逞フシ本職ハ此時木柵ニ登リ群集ニ大會禁止ヲ告ケ且ツ解散スルキ旨ヲ諭スト雖モ彼等ハ馬耳東風毫モ警察命令ヲ遵守セヌ暴行益々増進シテ巡査カ木柵外ニ横隊列伍ノ内ヨリ前進シテ群集中ニ入ルヤ直チニ之ヲ包圍シテ毆打シ若クハ砂ヲ亂擲スル等其反抗枚舉ニ遑アラヌ木柵ハ數回ノ投石ヲ受ケタルモ尙ホ柵上ニ在ル際貴官ノ御注意ニヨリ柵ヲ下リ舊位ニ復ス時ニモ貴官ハ到底少數巡査ヲ以テ暴動者ヲ制止スル能ハサルニ付キ他ノ四門警戒巡査ヲ分割シ此ニ應援セシムヘキ旨ノ御命アリタリ依テ腕車ニテ急報シ巡査

二十名ヲ應援セシメ正門ニ至リ復命スルヤ正門前ハ暴動益々激甚群衆ハ竹木ヲ以テ警官ヲ亂打シ或ハ制札ヲ拔キ取り毆打スル等其極點ニ達シ今ヤ木柵ニ肉薄シテ何時毀壞ヲ企ツルヤ計リ難キ危急ノ狀況ヲ呈ス貴官ハ更ラニ應援ヲ連レ來レト御命アリタルヲ以テ即時他ノ警戒門ニ馳セ事ノ急ナルヲ告ケ巡査十五名ヲ分割シ正門前群衆ノ背面ニ配置取締ルヘキ様警部ニ傳達シ貴官ニ復命ノ爲メ正門ニ歸リタルトキハ已ニ木柵ハ群衆ノ爲メニ破壊セラレ且ツ園内運動場中央部ニハ吊旗ヲ樹立シテ萬歳ヲ稱呼シ馳セ廻ハルヲ目撃ス實ニ遺憾ナリキ殊ニ貴官ハ始終木柵ニ近接御就勸アリタル爲メ顔面數ヶ所ノ打撲傷ヲ負ハレ流血以テ如何ニ警戒ノ困難ニシテ暴民ノ反抗セシヤヲ推知スルニ余リアリト謂フヘシ尙ホ貴官ハ左右ニ告ケテ事茲ニ至ル斯クマテ不撓不屈警戒防禦ニ勤メタルモ遂ニ多勢ノ爲メニ少數ノ警察力ヲ以テ取締ルコト殆ント不可能ナリ此上ノ責任ハ本官ニ在リトテ部下ヲ顧ミラレタリ時ニ午後一時過キナリト思料ス如上ノ狀況ニヨリ暴民カ警察ノ制止ニ反抗暴行ヲ逞フセシコトハ目撃セシト雖モ其巨魁者ハ勿論重立タル暴行者ノ雖レタルコトヲ記臆セヌ且ツ木柵ヲ破壊セシ時ノ狀況ハ應援ノ爲メ現場ニアラサリシヲ以テ目撃セヌ

内相官邸正門狀況

漸クシテ貴官ハ内相官邸内ニ入ラル此時警務長及ヒ他ニ二三署長モ居合セラルルヲ見タリ而シテ



全二時過キ公園正門前并ニ内相邸横脇附近ニハ多數群集シ居リ尙横脇ナル内相邸裏門ニ小村全權  
 外二名斬首ノ油繪ヲ貼付ケ賊聲ヲ放テ演説ノ動靜アルヲ以テ林警部ハ巡查ヲ引率シ現場ニ至リ是  
 レヲ刺キ取ツタル後チ一巡查邸内ニ馳セ來リ只今松田警部ハ群集ニ包圍セラレ事急ナリト告ク時  
 ニ警務長ハ騎馬北方ニ出テラレタル後チナリシカ貴官ハ直ニ本職等ヲ從ヘラレ急速群集ノ方面  
 ニ趣カル途中巡查本多義男ハ松田警部ヲ伴ヒ群集ヲ分テ出來リ松田警部ト共ニ内相邸ニ入りタリ  
 幸ニ松田警部ハ異狀ナカリシ全三時頃群集ハ内相官邸門前ニ押寄せ來リ大ニ不穩ノ狀ヲ呈ス斯ク  
 テ彼等ハ瓦礫ヲ投シ木片ヲ亂打シ愈々暴行ヲ逞フシ門衛家属ノ硝子戸ヲ破壊シ吭々聲ヲ揚  
 ケテ更ラニ正門ニ群集シ來リ鐵門ヲ破リ或ハ土塀ノ屋根ヲ破壊スル等殆ント暴行極點ニ達シ最早  
 拔劍ノ外他ニ官邸防禦ノ術ナキニ至リ茲ニ於テ警部巡查ハ拔劍シテ防禦セシニ貴官ハ人ヲ切ルハ  
 カラスト御注意アリタリ而シテ正門ニ警戒勤務中ノ富山、松田ノ兩警部ガ本職ト巡查六七名位ハ  
 必死トナリテ暴行ノ鐵壓ニ致々奮勵以テ防禦ニ努メラルト雖モ到底少數ノ警察官ニテハ防禦困  
 難ナルハ勿論益危急ニ頻スルノ狀況ナルヲ以テ其時モ早ク應援巡查ヲ要求スルニ加カスト思料シ  
 裏門ニ出テ迂路ハ比谷公園休憩所ニ馳セ本所ニ整列シ居タル荒川林ノ兩警部ニ事ノ急ナルヲ告ケ  
 巡查約三十名ト共ニ急速力ヲ以テ内相官邸前群集中ヲ橫斷シ今ヤ本職ハ門内ニ入ラントスル一刹  
 思料ス

那暴民ノ爲メニ砂ヲ右眼ニ浴セ掛ケラレ既ニ下水中ニ墜落セントスル危險ヲ幸ヒニ免レ門前敷  
 石ノ所ニ至ルヤ右頭側ニ石ヲ投ケラレタルモ幸フシテ門内ニ到達スルヲ得タリ時ニ凡ソ三時過ト  
 而シテ貴官ハ顔面及ヒ胸部ニ打撲傷ヲ負ハレ鮮血淋漓トシテ上着ノ前面ヲ濕フヌヲ見受ケタリ此  
 凄シキ暴動ノ爲メ鐵製ノ正門ハ破壊セラレ門衛ノ建物ハ過半打毀サレ或ハ放火スル等亂暴最モ極  
 點ニ達シ何時底止スルヤヲ知ラス茲ニ於テ應援セシ警部巡查ハ貴官ノ指揮ニ從ヒ協力以テ防禦ニ  
 努メ暴民カ雪籠ノ如ク肉薄シ來ルヲ風々拔劍シテ退却セシメタルモ容易ニ鎮撫セザリシ而シテ四  
 時過キ暴行稍々其度ヲ減シタルヲ以テ一先ツ邸内ニ引揚ケントスル際檢事正閣下モ御臨檢トナリ  
 タリ間モナク憲兵三名正門ニ來リ警戒ニ從事セリ依テ本職等ハ邸内馬小屋前ニ潛シ居ル内貴官ハ  
 正門前ノ暴行減衰セシ姿ナリシヲ以テ狀況中報ノ爲メ本廳ニ登壇セラレ以テ如上正門前ノ勤務中  
 拔劍ノ爲メ暴民ニ對シ傷害ヲ與ヘタルモノハ更ニ目撃セヌ  
 全四時半頃貴官ノ命ナリトテ巡查二十名ヲ殘シテ剩員ハ警視廳ニ引揚ケタリトナリキ茲ニ  
 於テ堀口警部長外約二十名位ノ巡查ヲ引率シ荒川警部下共ニ裏門ヲ出テ本廳ニ引揚ケタリ此際巡  
 査ノ氏名ハ應援巡查多數ヲ占メ居リタルヲ以テ記載セヌ



同五時過ぎ又々内相邸ノ不穩ヲ聞キ更ニ現場ニ出張セヨトノ御命ヲ受ケ淺草署長殿ノ隊伍ニ從ヒ現場ニ到達セントキハ己ニ官邸裏門内付屬建物ハ過半焼燬セラレ火炎盛シニシテ時恰カモ北風アリテ雲煙四周ヲ圍ミ帝國ホテル前ノ暴民山ヲナシ巡查ニ瓦礫ヲ投スルアリ或ハ道路ヲ横行シ以テ消防ノ妨害ヲナシ到底消防ノ完成ヲ期スルヲ得ヌ依テ居合セタル巡查約十數名ト共ニ専ラ救護線ヲ張り消防ニ協力中巡查ニシテ抜劍セントセシモノアルヲ認メ決シテ抜劍スルナト制止シ馳驅奔走救護中山下見附方面ヨリ消防車馳セ來リタルヲ以テ協戮消防ニ終ラタリ斯クテ同七時頃全ク鎮火セシ爲メ邸内ニ入り頭部ノ打撲傷痛ミ出張醫ニ應急手當ヲ受ク同刻後屢々塀ヲ破リ或ハ放火ヲ企ツル等亂行アリタルモ己ニ軍隊ノ應援後ニテ本職等ハ直接取締リニ從事セザリシ裏門放火後ハ現場ニ出張中ノ巡查ニシテ抜劍セシモノ更ニナシ且警護係ニ巡查ヲ配置セン以來暴民ノ暴行ハ稍々靜肅トナリタリ

右及報告候也

明治三十八年十一月八日

麹町警察署勤務

警部

柳田

清

麹町警察署長警視向田幸藏殿

狀況報告書

明治三十八年九月五日麹町區日比谷門ノ雜沓取締ノ命ヲ受ケ同日午前十時頃ヨリ國民大會ノ禁止セラレタルニモ拘ハラヌ群集ハ同十一時頃ニ至リ熾シニ増加シ來テ公園ノ門ハ閉鎖セラレタルヲ見ルヤ群集ハ怒ツテ同門前ニ充滿シテ道路ヲ塞キ鯨波ヲ作り園内ニ突進闖入セントスル百方慰示スルモ聞カヌ罵詈雑言シテ小石ヲ投ケ又ハ蝙蝠及ヒ園外ノ揭示札取り之レヲ以テ群集中河野廣中カ洋服又ハ和服ヲ着シタモノニ向ヒマダ時機カ早イト云ヒ居ルヲ見認メタリ又タ後方ニ於テ之レヨリ柱邸へ押行カント云ヒシヲ聞キタリ大事ナリト園内ノ署長ニ急報セシニ署長ノ曰ク直チニ内務大臣官邸ノ電話ヲ以テ急ヲ警視廳ニ報セヨト使命ヲ果シテ歸リミルニ己ニ群集ハ公園ノ柵圍ヲ破壊セント襲撃中依テ本職ハ防制ニ盡力中頭部ニ輕傷ヲ負ヒ一時園内ノ醫士出張所ニ至リ應急手當ヲ受ケ其儘休息セシ次第ニ有之候條始末及報告候也

明治三十八年九月二十日



麴町警察署勤務

巡查部長

進藤壯次郎

署長向田幸藏殿

報告書

明治三十八年九月五日貴官ノ命ヲ受ケ日比谷公園正門前勤務ニ從事シ國民大會禁止ニ付キ來會ヲ求メントシテ公衆ニ向ヒ大會禁止ノ旨ヲ以テ説示ニ努メ居タルモ午前十一時三十分頃ニ至リ來會者ト認ムヘキモノ益々其數ヲ増加シ喧騒又甚シ百方之ヲ鎮撫セント務メタルモ群衆ハ其數ヲ増スニ從ヒ石ヲ投シ砂ヲ散シ東西相應呼シヲ柵内ニ闖入セントス或ルモノハ進メノノ大聲ヲ發シ成ル者ハ群衆ニ向テ何事カ演述スル等益々不穩ノ舉動ヲ現シタル折柄報知新聞ト記入セル半纏ヲ着セシ十七八歳位ノ男木柵ヲ破壊シツ、アルヲ認メタルモ小吏ハ群衆ニ壓迫セラレテ其制止ヲナスヲ得ヌ其時正ニ二十五六歳位ノ紺カスリノ單物ヲ着シタル男既ニ洋傘ヲ持テ亂入セントスルヲ制止ツ、アルトキ四十歳以上位ノ洋服ニテ「シルクハット」ヲ着シタル男子三名來リ其内ノ一名ハ小

吏等ニ向ヒ自分ハ市參事會員ナルカ如何ナル理由ニテ止メタカ公園ニトウシテ入レナイカ開ケテ入レト云ヒツ、闖入セントスルヲ以テ本職ハ他ノ巡查等ト供ニ其前ニ塞カリ侵入ノ餘地ヲ與ヘサルコトニ努メ居タルヲ市參事會員ト稱スルモノハ本職等ヲ押除ケ群衆ハ之ニ續キ園内ニ亂入シタリ其當時門外ニ在リタル群衆ノ投シタル石カ小吏ノ頭部ニ觸レ負傷シタルヲ以テ小吏ハ日比谷公園内巡查交番所ニ至リ創傷ノ手宛ヲナシタリ右及報告候也

明治三十八年九月廿日

麴町警察署勤務

巡查

永井

富藏

麴町警察署長警視向田幸藏殿

報告書

明治三十八年九月五日貴官ノ命ヲ奉シ日比谷公園ナル日比谷門前ニ在テ國民大會禁止ニ付キ來會ヲ止メントシテ公衆ニ懇々説示スルモ肯ンセス多衆押寄せ來テ柵ヲ撥亂入セントスルヲ以テ極力



之カ妨止ニ努力シ居タルニ群衆ハ石ヲ投シ或ハ洋傘ヲ以テ巡査ヲ毆打シ門上ノ電燈ヲ破毀シ柵ノ丸木ヲ折リ亂暴至ラサル處ナキ折柄一人ノ五十前後ノ半白鬚ヲ貯ヘタル男子何故公園ニ入ルヲ禁ヌルヤト詰問ヲ爲シタルニ付前ノ如キ説示シタルニ尙ホ其理由ヲ聞カントセシモ答フル要ナキヲ以テ其儘ニナシ置キタリ然ルニ彼レ等ハ門内ヲ見渡シ嗚呼向田カ來テ居ルト云ヒナカラ一層憤慨シタルモノ、如ク此時群衆ノ亂暴益々熾シクナリ砂石ヲ投ケ杯毆亂ノ折柄一人ノ暴徒ハ公園前ノ揭示札ヲ引キ振キ本職ヲ毆打シタルモ混雜ノ際其誰レナルヤヲ知ルニ由ナシ群衆ハ門ニ向ヒテ巡査ト揉ミ合フ内三四名ノ紳士體ノ男子來リ其内一人ハ高聲ニテ我々ハ市參事會員ナリ如何ニ警察權ナレハトテ此日比谷公園ニ入ルヲ禁ヌルハ不法ナリ我々ハ職權上入ラント云ヒナカラ柵ヲ乘リ越ヘ入ラントヌルヲ制止中河野廣中ナル者白色ノ「ナポレオン」帽子ヲ冠リ茶縹ノ袴ニ紺ノ羽織ヲ着シ一團ノ暴徒ヲ引率シ來リタリ彼レカ引率ノ暴徒ハ其勢恰モ雷獸ノ如クニテ日比谷門ニ向ヒテ押寄セ必死トナリ柵ヲ破毀シ鯨聲ヲ擧ケテ前記市參事會員ナリト稱ヌル者ト共ニ園中ニ亂入セリ而シテ其際一人ノ男子破毀シタル柵上ニ昇テ群衆ニ向ヒ指揮ヲナシタルヲ見受ケタレトモ暫クニシテ何レカニ立チ去リ終ニ其踪跡ヲ失シタリ追テ日比谷門破毀ニ盡力シ且ツ其主タル者ハ第一河野廣中第二河野廣中ト形細長キ方丈五尺二寸位着衣ハ白ト水色トノ縦縞緋單衣茶色ノ絹袴ヲ着

ケタル男子但シ此ノ男子モ河野廣中ハ熟知シ居ル者ト認ム

第三年齡四十六七年位丈五尺四寸位顔長キ方色黒キ方細キ縦縞ノ單衣ヲ着シタル田舎ノ老夫

右三名ハ何レモ暴徒ヲ引率シ指揮シ以テ如斯狀況ニ至ラシメタルモノナリ

右現場ノ始末有之儘及報告候也

明治三十八年九月二十日

麴町警察署

巡査 松浦 平八

麴町警察署長警視向田幸藏殿

報 告 書

明治三十八年九月五日日比谷公園ニ於テ開會ノ非辯和問題國民大會ハ禁示セラレタルモ其命ニ應セス會合スヘキ形勢アルニ付署長ヨリ會合者防止トシテ取締ヲ命セラレ同日午前八時ヨリ日比谷公園日比谷門ニ於テ之レヲ取締ニ從事シタリ然ルニ午前十一時ヨリ會合者ト認ムヘキ群衆ハ同門



前ニ娯集シ午前十一時三十分頃ニ至リテ益々多集集合シタルヲ以テ本日ノ大會ハ禁止セラレタル旨ヲ告ク退場セヨト懇篤ニ説諭ヲ加フルモ更ニ開キ入レサルノミナラス門外ニ密集シ暴力ヲ以テモ公園内ニ入ラントスルヨリ此カ防止ニ盡力シツ、アリタルカ群集ハ多數ヲ待ミ頗ル不穩狀ヲ呈シ既ニ騷擾ヲ極メ多數一時ニ大聲ヲ放チ闖入セントスルヲ以テ一層懇諭スルモ遂ニ其効ナク暴力ヲ逞フシ本職等ニ對シテハ瓦礫ヲ投付ケ狼籍至ラサルナク特ニ巡查ニ對シテ抵抗ヲナシ柵ヲ破リ亂入セントシテ爰ニ大紛擾ヲ醸シ石或ハ棍棒ヲ以テ巡查ヲ毆打シ數多ノ巡查負傷者ヲ生シタリ本職モ其際數ヶ所ニ打撲傷ヲ受ケ如斯群衆ノ鯨波ノ聲ヲ放チ押寄せ來リ亂暴ノ結果遂ニ柵ヲ破壊シ公園内ニ闖入シタリ右暴徒ノ際群集ヲ煽動指揮シタル者ト思料スヘキモノ、一人ハ年齢四十年位ニシテ色淺黒ク鼻下ニハ八字髭ヲ貯ヘ背廣ノ洋服ヲ着用シ居タルモノニシテ其氏名ハ不明ナリ此際四十歳前後ニシテ茶色ノ背廣服ヲ着シタル一人ノ男本職ノ前面ニアリタル三宅巡查ノ許ニ來リ何カ押問答ノ末日比谷門内石垣ヨリ此方へ三四間隔リタル内方ニ居リタル本職ノ許ニ來リタルニ付本職ハ同人ニ向ヒ此處へ御進入ニナツテハイケナイト云ヒ之レヲ制止シタルニ同人ハ市參事會員ナリ職務上進入ル何故ニ咎ムルカ向フテ巡查(三宅巡查ヲ指ス)ハ何ト云フ巡查カト尋ネタルニ付本職ハ此際巡查ノ氏名ヲ問フ迄テモアルマイト云ビタルニ大ニ怒リタル風體ヲナシ高聲ニテ中鉢

來イトテ其後ニ續キタル男子ヲ呼ヒ其ニ本職ヲ押除ケ園内ニ侵入セリ之レニ續テ多ク群集亂入セリ  
右及報告候也

明治三十八年九月廿二日

巡查 岡 盛 一

麹町警察署長警視向田幸藏殿

報 告 書

一明治三十八年九月五日麹町區日比谷公園ニ於テ非婦和問題國民大會開催ノ趣キニテ當日ノ狀況依命偵察ノ爲メ出張ス當日正午頃ヨリ會員ハ漸次日比谷門ニ集リ所轄警察署ヨリハ數十名ノ巡查同門ニアリテ大會禁止ノ旨ヲ來會者ニ説キツ、アリ會員ハ刻一刻來集忽チ高ヲ以テ算スルニ至ル來會者ハ禁止ヲ説カル、モ開キ入レヌ益々入園ヲ迫リテ止マヌ瓦礫木片ヲ取締ノ警都巡查ニ投スルコト雨霞ノ如ク警部巡查ハ爲メニ流血淋漓悲慘ヲ極メ大勢ハ潮ノ湧クカ如クニ押寄せ



暴行益々激甚ナリ其間ニ一人ノ男ハ突如トシテ日比谷門ノ脇ナル石垣ノ上ニ顯ハレ演説ヲ始メ  
 常日大會禁止ニ對スル不平ヲ陳フルモノ、如ク終リニ此ノ櫻井熊太郎ハコンナ事ヲ止ムヘキニ  
 アラス云々ト約五分間位陳ヘテ來會者ヲ警勵スルヲ實見ス來會者ハ之レニ勵マツレ益々激昂シ  
 一人ノ書生風ノ男ハ今日ノ大會是非其開クト云フコトヲ斷シタル紙ヲ兩手に持テ來會者ニ示シ  
 ツ、アリ或ハ黒布ヲ付ケタル旗ヲ上クルアリ其間ニ黒絹紋付羽織ヲ著シ袴ヲ著ケ兩頬ヨリ鼻下  
 腮下一圓ニ黒キ鬚髯ヲ著ヘ丈ヶ普通ヨリ高キ紳士風ノ男(年齢四十歳位一見スレハ見覺ヘアリ)  
 ハ同志會事務所ト日比谷門ノ間ヲ往返シ連絡ヲ取リツ、アルモノ、如ク暴行者ノ間ニ馳セ來リ  
 重ナルモノヲ集メ命令ヲ傳ヘツ、アルヲ聞ク曰ク今事務所ヨリ總員出テ來ル官數ヤルヘシト云  
 ヒ事務所ノ方向ニ行クヲ見ル其内本職ハ日比谷門ノ急ヲ他方面ニ告ケル爲メ有樂門ノ方面ヘ赴  
 キ再ヒ引返ヘシタルトキハ日比谷門ハ既ニ來會者入園シツ、アリキ夫レヨリ午後三時頃内務大  
 臣官邸門前ニ於テ前記同様ノ暴行ヲ見ル其内ニ年齢三十五六ニテ麥藁帽子ヲ被リ茶ノ袴ヲ著ケ  
 丈ヶ普通ニテ頭髮長ク頸ニ及ヘル書生風ノ男ハ數百ノ暴行者ヲ指揮シツ、アリ彼レカ手ヲ以テ  
 誘導スレハ暴民ハ直ニ是ニ從テ進退シ當時電車二三輛ヲ打壞シ電車ハ幸シテ退却セリ右ハ當日  
 本職ノ實見セル狀況及報告候也

明治三十八年九月二十日

麻布警察署勤務觀察係

巡查 坂 入 喜 藏

狀況報告書

明治三十八年九月五日午後一時ヲ期シ日比谷公園ニ開催セントスル國民大會ハ禁止セラレタルニ  
 モ拘ハラヌ飽クマテ實行セントノ模様アルヲ以テ之レカ狀況偵察ノ爲メ同日午前九時三十分頃ヨ  
 リ日比谷公園附近ニ出張シ同會ニ關スル狀況偵察中同十一時三十分頃日比谷正門前ニ多數集合シ  
 喧擾ヲ極メ居ル様子ナルニ因リ同所ニ至リ見ルニ當署員河木時太郎竹内武次ノ兩巡查ハ門外ニ於  
 テ暴民ニ圍マレ突キ倒サレ撲クラレ居リテ群集中ニハ巡查ヲ撲クレ打チ殺セ等叫ビ又一方ニハ巡  
 査ハ遣ルヲ署長警部ヲ遣ツケロ等口走り居リ其ノ狀態凄マシキ有様ニテ到底同門ニ配置セラレ居  
 ル巡查ノミニテハ防キ難キ模様ナル旨ヲ幸門ニ警戒シ居リタル佐野、林ノ兩警部ニ急報シ直ニ  
 引キ返シテ正門前ニ至リシニ暴民ノ主謀者及ヒ田舎漢ヲシキモノ七八名各々大道ニ於テ演説ヲ爲



マアリ白紙ニ種々様々ナル文字ニ桂ヲ聯綴スベシニ桂、小村大使ニ天誅ヲ加ヘテ吊大屈辱辯和其  
 他種々ナルモノ、ヲ大書シタルヲ持テ來リ大遊群衆中ニ擲テ説明ヲテヌアリ時ニ應援ノ警部姓名  
 不詳ハ之ヲ制サシメシタルニ毆打セラル負傷ヲ受ケテ暴民ニ圍メラル數名ノ巡查ノ助力ヲ得  
 テ引キ揚ケタリシモ同警部前頭部邊ヨリ出血シ居ルヲ見受ケタリ之レヨリ辯和ノ屈辱的ヲ非難  
 スルモノ益々其度ヲ高メ來リ警察官ヲ遣ツケテ打テ殺セヨト口々ニ罵詈訛口ヲ吐キ土砂走礮ヲ亂  
 投スルモ大駭シテ同所附近ニ瓦礫ノ材料ヲ運送ニ至リ或ルモノハ遠方ヨリ運出テ來リテ投石スルモ  
 ノ等アリ中ニ瀬戸荒熊其他有力ナル四五名ノ主謀者ヲシキモノ公衆ニ向ヒ我々ハ戰捷ノ効果ヲ沒  
 却スヘキ斯カル大屈辱的辯和ニ満足スルヲ得ヌ茲ニ國民同志聯合大會ヲ催シタルガリ而ルニ警察  
 官カ不法ニモ之レヲ妨害シ市民ハ遊覽場タル公園ヲ閉鎖スルハ大ニ不都合ナリ遣ル可シク飽ク  
 マテ遣レト暴民ヲ煽動シ居ルヲ認メタリ同午後〇時四十分頃幸町方面ヨリ筒袖半天ヲ着シタル十  
 數人ノ人夫等凡ソ二間位ノ棒ノ先キヘ白ノ長サ五六尺巾一二尺位ノ吊旗數旒ヲ押シ立テ中ニ紫ノ  
 旗モ見受ケダリシカ旗一本ニ人夫二名位ツ、付テ羽織袴洋服ノ紳士體ヲモテ千四五名ニ指揮セラ  
 レ日比谷正門前ニ押掛ケ來レリ時ニ河野廣中ハ公衆ニ向ヒ警察官カ公園ヲ閉鎖シ我々ノ自由ヲ妨  
 害スルハ實ニ不都合ナリ宜シク打破シテ突進ス可シト指批煽動ヲナシツ、アリシニ暴民ハ數回

ノ突進ヲ試ミ一層喧嘩シ度ヲ増シ暴民ノ勢ヒハ警察官ヲ壓倒シテモ突入セントノ狀態ヲ演シタリ  
 其ノ時警察官側ニ於テ負傷ヲ受ケタルモノ續々アリ兎角スル間ニ同門ノ閉鎖ハ破レ暴民ハ鯨聲ヲ  
 揚ケ突進シテ園内丸形運動場ニ蜂集スルヤ否ヤ煙火ノ爆發ヲ相聞ニ吊旗ヲ翻シ河野廣中ハ丸形運  
 動場ノ中央ニ洋机ヲ備ヘ其ノ上ニ登リ開會ノ辭ヲ述ヘ終テ決議文ヲ朗讀シ引續キ四五名ノ演說ア  
 リテ解散スルヤ松本樓方面ヨリ長サ三尺位ノ履ノ柄ニ紙數ノ國旗ヲ付シ先キニ長三四寸巾一寸五  
 分位ノ黒紙ヲ付シタル吊旗數束(凡ソ數十本)及ヒ決議文數千枚ヲ持テ來リ一同ニ配付スルモノア  
 リ又一方ニ松本樓上表面ニ常設シアル旗竿ニ吊旗ヲ掛ケ演說ヲ始ムルアリ續テ四五名ノ演說ア  
 リシモ皆ナ惟慨悲壯ナル口調ヲ以テ小村全權大使及ヒ現内閣員ヲ罵倒シ暴民ニ一層ノ感動又與ヘ  
 タリ演說終ルヤ松本樓ノ雇人某ハ其ノ吊旗ヲ取り除ケリ時ニ取ルナリ、何セ取ルタ馬鹿野郎奴  
 叫ブモノアリ其ノ辯士ノ姓名判然セサルモ二名ノ人相ハ體ニ記憶ニ存セリ時ニ午後二時前後ナリ  
 シカ會衆等ハ日比谷正門、櫻田門、雷門ノ各方面ニ群ヲ爲シテ散セリ丸形運動場ノ北隅ニ吊旗ヲ  
 押シ立テ電シ居リタル暴民等ハ櫻田門カテ出テ櫻田門方面ニ押シ掛ケタルナラン本職ハ向キ  
 公園附近ニ止マリ偵察ヲ續行シ居リシニ福田巡查ニ會シ兩人ニテ櫻田門及ヒ二重橋方面ニ赴キ偵  
 察ヲ遂クルニ同所邊ハ一時吊旗ヲ押シ立テタル暴民押シ寄セ中々ノ騷擾ヲ極メタル由サリシモ殆



ント鎮靜ノ状態ニ復シ居リテ別狀ヲ認メザリシモ同三時頃ニ重橋前芝生ニ於テ四五名位ツ、階居  
 或ハ横臥シ本日の國民大會ニ關スル談話ヲ喋々ト交ヘ居ル様子不審ニ思ヒ其レニ近寄り内偵察  
 スルニ長髪ナル四十年前後ノ田舎壯士若クハ神職ヲシキモノ主トナリ我カハ斯カル屈辱ナル講和  
 ニ満足スルヲ得タ飽クマテ大會ヲ催シ國民ノ意志ヲ貫徹セシメハナラヌ就テハ之レヨリ日比谷公園  
 附近ニ至リ再ヒ同會ヲ催シ大ニ進ル可シ夜ニ至ラハ尙ホ好都合ナリ此等ニ對シ警察官妨害ヲナサ  
 ハ他ノモノ變リ交互止ムナク演説ヲ續ケナハ警察官干涉ストモ其目的ヲ達スルヲ得ン又腕力ニ訴  
 フルモ辭セスト會衆ヲ煽動シツ、馬場先門ノ方面ニ出テ行ク舉動如何ニモ不穩ノ點アルヲ以テ彼  
 レハ田舎暴民ノ主謀者ト思量シ福田巡查ト共ニ尾行シ馬場先門ヲ出テ右へ堀端通り日比谷公園有  
 樂門ヲ入り日比谷正門ニ至リシ際同所ハ非常ナル騷擾ヲ極メ居リタル爲メ遂ニ彼等ヲ見失ヒタリ  
 時ニ内務大臣官邸表ナル鐵門ハ暴民ノ爲メ破壞セラレ同所ハ一層ノ慘狀ヲ呈シ殺氣油々タル状態  
 ナリシニ此ニ於テ福田巡查ト別レ引キ續キ其ノ附近ニ止マリ偵察スルニ暴民等ハ幾回トナク同官  
 邸ニ襲撃ヲ加ヘ警察官追ヘハ散シ又押し寄せ來リテ煉瓦塀及ヒ門ノ兩側ナル家屋ノ破壞ヲ企テ警  
 官又之ヲ追ヒ拂ヘハ散シ斯クヌルコト度々ニシテ漸ク一時鎮靜トナリタルモ暴民等再ヒ襲撃シ來  
 リテ門ノ右側ニアル守衛室ニ放火シタルモノアル由ナルモ其ノ當時附近ニ居ラザリシ爲メ詳細ヲ

知ル能ハツリキ而ルニ午後五時二十分頃又々同官邸裏門ナル長屋ニ放火セシモノアリ警察官之レ  
 カ消火ニ從事スルモ暴民ニ妨ケラレ之ニ從事シ能ハサル状態ニ陥リ居リシ間ニ各消防員馳セ付  
 ケ消防ニ從事スルモ暴民等又之ヲ妨ケ投石又ハ鯨聲ヲ發シ甚シキハ水管ヲ切斷シ殆ント消防員ヲ  
 シテ空シカラシムルニ至レリ此時消防員ノ大半ハ負傷ヲ受ケ就中消防第三分署員ハ苦境ニ陥リ  
 蒸氣ボンブハ馬ヲ付ケタル儘逃走セシメラレ同署員機關士某ハ暴民ノ爲メ丸太ヲ以テ毆打セラレ  
 重傷ヲ負フテ巡查消防手等ニ助ケラレテ華族會館ニ入レリ其ノ當時松井警務長殿及ヒ鮫島警部騎  
 馬ニテ來ラレシモ帝國ホテル前ニテ投石鯨聲其他ノ方法ヲ以テ妨害ヲ加ヘラレ警務長殿ハ頭部ニ  
 二三ノ投石ヲ受ケラレタル如ク見受ケタリ漸クニシテ同所ハ鎮火スルヲ得タルモ又々同七時過キ  
 同邸裏門煉瓦塀ヲ丸太ニテ突キ破リ馬車小屋ニ放火セシモノアリ此際一層ノ騷擾ヲ極メ暴徒ノ妨  
 害其極點ニ達シ其ノ慘憺タル光景言語ニ絶スル許リナリ爲メニ警察官ハ抜劍シ必死トナリ之レカ  
 妨礙ニ從事シ警察官及ヒ人民側ニ負傷ヲ受ケタルモノ有リシ様子ナレドモ夜分ノ爲メ判然セズ然  
 レトモ同所ハ熱心ニ之レカ防禦方ニ努メタル爲メ燒失スルニ至ラヌシテ鎮火スルヲ得タリ又一方  
 ニハ軍隊ヨリ兵ノ應援來ルアリテ歩哨ヲ張リ警戒シ居リタルモ暴民ハ五十名又ハ百名位ニテ歩哨  
 兵ヲ圍ミ君等ハ國家ノ義務トシテ斯カル任務ニ就キ居ルモ此ノ屈辱極マル講和ヲ満足ト思フヤ決



シテ思ハサルナラン今日國民大會ヲ催シタルモソレカ爲メナルニ警察ノ干涉妨害アリタル爲メ若  
 達ノ手數ヲ頗メニ至リタルナリト兵士ヲ解キ付ケ殆ント歩哨ヲシテ其任務ヲ果ヌ能ハサル状態ニ  
 陥ラシメ居ルヲ見受ケタリ同十時頃内幸町有樂町兩派出所ハ遂ニ暴民ノ爲メ燒毀セラレ、ニ至レ  
 リ然レトモ本職ハ其ノ附近ニアラサリシヲ以テ其ノ實況ヲ知ル能ハヌ尙ホ公園附近騷擾ノ渦中ニ  
 入り偵察ヲ遂クルニ暴徒等ハ内幸町馬場先門各方面ニ散亂シ其ノ附近ノ狀況少シク静マリタル様  
 子ニ見受ケタルヲ以テ午後十時三十分頃本署ニ引揚ケタリ  
 歸野後直チニ佐野警部ヨリ角袖巡査呼ヒ上ケ方傳達ノ命ヲ受ケ飯田町九段富士見町市ヶ谷十丁目  
 方面居住ノ巡査ニ其命ヲ傳ヘ翌六日午前十時二十分頃歸署ニ全午前一時頃第一部長官舎燒毀セラ  
 ルハ模様アリトノ電話與業銀行ヨリ通シ來リタルニヨリ此旨消防第三分署へ通知ニ赴キタル處同  
 署員ハ蒸氣ボンブヲ逸走セシメタルニ付其ヲ搜索ニ出掛ケ居リテ負傷ヲ受ケタル機關士一名居殘  
 リ居リシシニテ保護ニ出張シ兼ムルト述ヘラレタリ因テ此旨佐野警部ニ上申ス其後ハ在署シテ  
 命ヲ受ケ各方面ノ偵察ニ從事セリ  
 右ノ狀況及報告候也

明治三十八年十一月八日

麹町警察署勤務

巡査 二重作 敬 啟

麹町警察署長警視向田幸藏殿

騷擾事件報告書

明治三十八年九月五日講和問題ニ關シ日比谷公園ニ於テ國民大會事件ニ付暴徒蜂起シ大騷擾ヲ極  
 メタリ是ヨリ先キ本年八月下旬頃講和ノ内容社界ニ知レ沙ルヤ府下ニ勿論各地方到ル處新聞ニ言  
 論ニ講和ノ屈辱ニシテ百戰百捷ノ光榮ヲ沒却メルハ國民ノ忍ラ處ニ非ヌ宜シク打破ヌ可シ斯ノ如  
 キ屈辱的講和ハ畢竟現内閣諸公及ヒ小村全權ノ無責任ヨリ生セシ結果ニシテ國民ノ意志ニ非ヌ内  
 閣ヲ打破セヨ小村全權ヲ斃セナトハ形勢益々不穩ノ狀況ヲ呈シ講和問題同志聯合會ヲ中心トシテ  
 非講和國民大會ハ強制的ニ開催セラレタリ而シテ本職ハ九月二日該問題ニ付視察ノ命ヲ受ケ同月  
 四日講和問題同志聯合會附近ヲ視察セシニ同志ノ出入頭々ナルヲ認ム午後五時三十分頃有樂町一  
 丁目五番地東京市街鐵道會社配電所脇道路電柱ニ「汝軟漢小村ノ拙劣ナル外交ハ軍隊ノ光榮ヲ沒



却ス汝歸京ノ際ハ新橋停車場ニ於テ身首所ヲ異ニスルヲ覺悟セヨトノ貼紙ヲ爲シ在ルヲ認メ直ニ刺キ取リテ報告シ同月五日午前十一時過キ公園幸門ハ丸太ヲ以テ閉鎖シタルヲ國民大會ノ重ナル會員ト認ム可キモノ四五名及ヒ人民多衆集合シテ傍觀シ呆然タルモノ、如シ時ニ荒川警部來リ日比谷公園前ハ非常ノ雜沓ナレハ直ニ其場ニ到ル可キ命令ニ依リ現場ニ到リ見ルニ同門ハ既ニ閉鎖シ在リ門前ニハ千葉朽木等ヨリ上京セシ各團體ノ徽章ヲ附シ數千人喋々喧々講和ヲ非難シ何故ニ警察官ハ公園ヲ閉鎖シタルカ吾々自由ヲ蹂躪スルモ甚クシ速ニ開放シテ吾人ノ自由ヲ満足セシメヨ或ハ警官ヲ打殺セ或ハ撲レナト、絶叫シ瓦石ヲ亂投シ棍棒ヲ打振ヒ仕込杖ヲ携フモノ等狼籍ヲ極メ或者ハ白木綿ニ吊講和成立ナト、大書シタル吊旗ヲ懷中ヨリ取出シ二間餘ノ旗竿ニ結着シ押立テ或者ハ屈辱的講和打破ナト、不穩ノ文字ヲ大書シタル大旗數旗ヲ押立テ山下門有樂町一丁目方面ヨリ鐵々トシテ入り來リ地方人トモ思料スル團體指揮者ノ多クハ綿服ニ袴ヲ穿テ居リ旗持人足等モ農民體ノモノナリシ都下ノ團體ハ國民大會主催者ラシキモノ之レヲ指揮シ多數ノ人足ヲ伴ヒ居ルヲ見受ケタリ而シテ之等ノ團體ハ地方團體ニ加リ都下團體ハ非講和國民大會萬歲或ハ内閣打破等大書シタル大旗數十旗ヲ押立テ吾人ノ自由ヲ束縛シタル警官ヲ打殺セ國民大會萬歲ナト、絶叫シ其内門前各所ニ大道演說ヲ始ムルモノ在リ之等ハ相當教育アル人物ト見受ケタリ就中

日比谷門南側路傍ニ於テ大空箱ノ上ニ立テ高聲ヲ張レケ演說ヲ爲セシハ萬朝新聞記者中島氣峰ニシテ其要旨ハ喧々囂々トシテ確知スルヲ得サリシモ時々政府ハ非立憲的行動ニ出テ警官ヲシテ吾人自由ノ遊覽場タル公園ヲ閉鎖セシム吾人ノ自由ハ何ニ依テ保障セラル、ヤ吾人ハ主張ヲ貫徹セシカ爲メニハ大ニ運動セサルヘカラス云々二十億ノ財ト十萬ノ人命ヲ損セシ光榮アル講和ハ現政府ノ爲メニ没却セラル真ニ痛憤極リナント云フ可シナト煽動的演說ヲ爲シ感動ヲ與ヘタルモノ、如シ警察官ハ之ヲ制止セント多衆ヲ押分ケ突進セントスルモ彼等ハ多衆ヲ恃ミ鐵拳ヲ揮ヒ或ハ瓦石ヲ亂投シテ之レヲ妨害シタリ而シテ事能増々不穩ニシテ不容易本職ハ漸クニシテ門内ニ入り貴官ノ許ニ到シニ亂暴狼籍其極點ニ達シテ群々合ヘハ一方ニハ「ヤレ」ト下鯨聲ヲ揚ケ閉鎖ヲ打破リ闖入セントシ或者ハ棍棒ヲ打振ヒ署長警部巡查ヲ打殺セナト、怒號シ瓦礫ヲ亂打スルコト雨ノ如シ警部巡查ニマテ負傷シタルモノ不尠而モ貴官ヲ初メ警部巡查ニシテ制止スルモ會テ肯ンセス時ニ貴官ハ本職ニ命スルニ本廳ニ到リ應援巡查ヲ請求ス可キヲ以テヌ依テ本廳ニ到リ其事ヲ告ケ引返シ有樂町一丁目商業會議所裏手ニ到シ際中島氣峰ハ丘上ニ登リ大聲ヲ張リ上ケテ演說ヲ初メ佐野警部ハ巡查二名ヲ引率シテ之レヲ制止シタルニ暴民等ハ狂暴ヲ逞フシ棍棒ヲ打振ヒ瓦石ヲ投シ抵抗スルヲ認メタリ而シテ本職ハ日比谷門ニ到リ復命ヲ爲シタリ此時暴民等ハ閉鎖ヲ破リテ園



内ニ入り煙火ヲ打揚ケ我黨萬歳國民大會非議和萬歳ナト、絶叫シ暴徒中多クハ小國旗ニ黒布ヲ附  
着シタル吊旗ヲ打振リテ櫻門ニ進行スルモノアルヲ認ム然ルニ小國旗ハ前日國民大會幹部ヨリ提  
本樓ニ預ケ置キシ物ナル由聞知セリ午後一時頃佐野警部ハ負傷ノ儘貴官ノ前ニ中島氣崎引致ノ上  
巡查ニ引渡シ本職ハ佐野警部ノ身邊ヲ警戒シ第一中學校前ニ到リ引返シテ櫻門ニ來リシニ一人ノ  
市吏員ナリト稱スル男子來リ居リテ若シ警察カ公園各門ヲ閉鎖シタルハ不都合ナリト主張シ在リ  
シヲ認ム午後一時三十分頃公園事務所ニ到リシ際進藤部長室部長等醫療ヲ受ケ居タリ午後二時頃  
松本樓前ニ到リシニ二間半位ノ旗竿ヘ吊旗ヲ掲揚シ四五名ノモノニ階ノ前庭ニ立テテ慷慨悲憤ノ  
口調ヲ以テ屈辱的譁辯和ハ斷シテ成立セシム可ラス今日ニシテ打破セヌンハ連戦連勝ノ光榮ヲ何  
ニ依テ發揚スルヲ得ン諸君努力セヨ云々ト大同小異ノ演説ヲ爲シ他ノ暴徒ハ「ヤルヘシ」萬歳  
ナト、絶叫シ犬イニ喧嘩セリ最後ニ年齡五十年位ノ地方人體ノ男子二階ノ端ニ躍ハレ今日當公園  
ニ於テハ横暴ナル警官ノ干涉ニヨリテ充分ナル目的ヲ達シ得サリシモ更ニ新當座ニ於テ大演説會  
ヲ催ス等ニ付キ遠慮ナク參聽セラレンコトヲ希望スト述ヘ終リヲ告ケ松本樓雇人ト思ハル、モノ  
吊旗ヲ撤去シ暴徒ハ四散シ午後三時二十分頃櫻門門ニ於テ二重作巡查ニ會シ櫻門門附近及ヒ二重  
橋外邊ヲ視察スルニ芝生ノ上ニ三四名乃至七八名位ツ、蹲居シ或ハ横臥シ國民大會事件ニ付是非

ノ論議シ就中年齡四十二三年位ニシテ長髪ヲ背後ニ垂レタル神職カ或ハ田舎壯士トモ見ユル一人  
ノ男子頻リニ辯和問題ヲ論難シ諸君本日日比谷公園ニ於ケル警官ノ行動ハ非立憲ノ甚シキモノニ  
シテ自由ナル公園ヲ閉鎖シ吾々主張ノ妨害ヲ爲ス權利ノ侵害ハ勿論而カモ吾人ハ主張ノ爲メニハ  
身命ヲ敢テ惜ムニ足ラヌ宜敷屈辱的辯和ヲ打破ス可シ云々ト煽動的演説ヲ爲シ在リ時ニ傍ニ一老  
人(年齡五十年位)質問シテ曰ク如何ニモ御説御最ナルモ横暴ナル警官ノ干涉ヲ如何セント長髪演  
曰ク警官干涉セハ同志交々演説ヲ續行セン又腕力ヲ以テモ目的ヲ達スヘント而シテ長髪演ハ公園  
ニ至ラント述ヘ暴徒六七名ヲ從ヘテ公園ニ向タルヲ以テ二重作巡查ト共ニ之レニ尾行シ馬場先門  
ヲ出テ有樂門ヲ入り日比谷門ニ到リ非常ナル雜踏中ニ彼等ノ踪跡ヲ見失ヒタリ時ニ午後四時三十  
分頃ニシテ此時多數ノ暴徒ハ内務大臣官邸表門ニ向テ押掛ケ警官ハ拔劍シテ追拂ヘハ散シ引ケハ  
迫リ來リテ瓦石ヲ亂投シ棍棒ヲ打振リ暴狀名狀スヘカラス本職ハ門内ニ入ラント欲セシモ能ハサ  
リシヲ以テ幸町派出所ニ至リシニ巡查部長武内武二面部頭部ヲ毆打セラレ疲憊甚敷ヲ認ム更ニ引  
返シテ内務大臣官邸前及日比谷公園内ニ到リシニ暴徒ハ夜間ナレハ爆烈彈ヲ使用スルニト容易ナリ  
巡查妨害セハ一蹴ノ下ニ打殺ス可シ先ツ内相官邸ヲ最先キニ燒キ夫レヨリ外務首相ノ兩邸ヲ燒ク  
可シ或ハ麹町警察署長モ遺付ケロナト、暴言ヲ吐キ形勢増々不穩ニシテ暴狀ノ一隊ハ街鐵會社脇



手空地ノ板塀ヲ打破リ丸太ヲ持來リ内相官邸裏門ノ破壊ニ着手セリ時ニ昏黄前ナリ此暴徒中ニハ新聞號外賣土方人足等ノ者多ク指揮者ト認ム可キ者多クハ背後ニ在リテ「ヤレ」ハ「ヤッ」ケ「ロ」杯ト聲援ヲ與ヘツ、在リ巡査ハ抜劍シテ追捕ヒツ、在リシモ暴徒ノ勢カ熾ニシテ巡査一同カ門内ニ入リシ隙ヲ見テ裏門ノ傍ニ放火シタル一少年アリ暴動彌々甚敷ハ如何ナル慘狀ヲ呈スルヤモ知ル可ラサルヲ以テ本職ハ本廳ニ到リ貴官ニ報告シ命ニ依リ附近各派出所ニ急報シ各所トモ一名勤務トシ貴官ノ許ニ參集スヘシト傳達ノ上歸廳シ午後八時卅分頃歸署シ前日角袖勤務巡査一同ヲ正服トシテ召集シ各大臣官邸等へ配置ス可ク貴殿ノ命令ヲ佐野警部ニ傳達シ更ニ佐野警部ノ命ヲ帶ヒ本廳ニ到リ内相官邸ニ於ケル負傷者治療藥品及ヒ材料等ヲ送致セラレ度キ旨ヲ報シ午後十時頃有樂町派出所方面ニ赴キシニ暴徒ハ該派出所ニ放火シ之レヲ見テ愉快々々ト絶叫シ居レリ更ニ内相官邸前ニ到リ視察スルニ暴徒ト認ムヘキモノ六七名警戒ノ兵士ニ向ヒ今明中ニハ各派出所ヲ燒打スル手筈ナリ云々ト語リ居リシヲ認メ午後十一時三十分頃歸署シ其旨報告シ翌六日七日ハ在署シ附近視察及ヒ警戒勤務ニ服シタリ

明治二十八年十一月八日

廻町警察署勤務乙之部

巡査部長 福田 寅吉

廻町警察署長警視向田幸藏殿

騒擾ニ關スル狀況報告

本年九月五日騒擾ノ際本職ノ干與セル部分狀況左ノ通ニ有之候

- 一 此日本職ハ午前八時三十分佐野警部ト俱ニ巡査廿五名ヲ引率シ日比谷公園幸門取締ノ任ニ就キタリ午前第十一時三十分ニ至リ三菱原ニ於テ政談演説ヲ爲ス者アリテ群集喧囂ニ涉ルノ報ニ接シ佐野警部ハ直チニ巡査七名ヲ割キテ之ヲ率ヒ同所ノ取締ニ向ヒタリ
- 正午十二時頃ニ至リ日比谷正門頗ル騒擾ヲ呈シ群集ノ暴行今ヤ極ニ達シ現在配置ノ警察官ニテハ防禦シ能ハサルノ情報アリ之レト共ニ署長ヨリ來援ノ傳令來リタルヲ以テ巡査六名ヲ正門ニ向ツテ派遣シタリ
- 暫時ニシテ又幸門外廣場ニ旗取ノ爲メ配置セル神田署櫻井警部ノ率ユル廿五名ノ巡査ヲ引揚ケ日比谷公園正門ニ向ハシムヘキ傳令アリ
- 午後零時三十分頃ニ至リ幸門モ赤坂方面ヨリ來會セントスル者群集シタルモ不穩ノ狀態ハ演出



セヌ午後零時四十分ニ至リ辨和同志會内ニ凡二十四五名ノ人足集リ白旗ヲ携ヘ時機ヲ計リ園内ニ闖入セント企テ居ルノ情報ヲ受ク

時ニ幸門ニ本職ノ幸ユル巡查僅カニ六七名ノ少数ニシテ若シ情報ノ如キ人足押寄せ來リ侵入セントセハ之ヲ防クニ困難ナルヲ以テ西幸門ヲ守備セル芝署員ノ來援ヲ求メント欲シ躬ヲ同門ニ馳行シ其意ヲ通シテ還リタルニ彼ノ人足等ハ既ニ旗ヲ携ヘ日比谷門ヲ指シテ駆ケ行キテ阻止セント努メタル堀部長ハ亂打セラレ乍遺憾業ヲ敵セヌシテ通過セシメタリトノ報ヲ受ケタリ

午後零時五十分日比谷門頗ル喧騒ノ聲アリ眼ヲ放テ望見スレハ正門ノ防線已ニ破レテ侵入スルノ狀恰モ怒濤瀉シカ如ク忽チ園内ニ一旗ノ長旗翻ケタル下ニ幾千ノ小旗ヲ振り廻シ騒擾ヲ極メ賊聲雷ノ如クナリシカ一發ノ號砲ハ午後零時五十五分ニ至リ園内ヨリ響ケリ於茲一門ノ防線ニ努力スルノ愚ナルヲ思ヒ右巡查ニ命シテ日比谷門ニ向ハシメ一面ニハ人足ヲシテ柵ヲ撤去セシム

二 一時二十分頃日比谷門ニ至ルヤ初メテ佐野警部ノ負傷ヲ聞キ又正門防線ノ任ニアリタル警察官ノ至難ナリシ狀況ハ被服其他ニ徴シテ到底防線ノ不可能ナリシ事炳然タリ  
時ニ警部巡查一同ハ日比谷門内ニ圍集シ今後ノ勤務ニ付長官ノ指揮ヲ待ツモノ、如キ狀態ナリ

シカ眼ヲ轉スレハ松本樓上ニ一旗ノ長旗ヲ立テ演説ヲ爲シ居ルヲ見ル本職ハ之カ眞想ヲ知ラント欲シ單身同樓ニ近キタルモ群衆蚬ノ如クニシテ立錫ノ餘地ヲ存セス衆ヲ排シテ近ツク事能ハス演説ノ要領ヲ聽キ得ザリシモ山縣ノ老ボレ兒玉ノ腰拔ケ等ノ言ヲ放チ陸軍參謀其他當局ノ士ヲ攻撃スルノ聲ヲ聞キ得タリ

三 午後二時頃同所ヨリ日比谷門ニ到レハ一ノ警官ヲ認メザリシカ内相官邸ノ裏門街路ニ於テ群衆カ喝采スルノ聲アリ何事ナラント近ツキテ見レハ小村辨和使外二名斬首セル諷刺畫ヲ唄ニ張リ付ケアルヲ以テ之ヲ劊キ取ラント躍進シタルモ四方八方ヨリ惡口八釜敷且ツ群衆ニ遮ラレ到底單身以テ其目的ヲ達スル能サルヲ以テ二重橋外迄急行ヲ遂ケ同所ニ在ル島山警部及巡查約三十名ニ意ヲ通シ櫻田門外ニ於テ松田警部トモ相會シ共ニ内相官邸裏門ニ至リ巡查ヲ督勵群衆ヲ排シテ突入シ目的ノ畫ヲ劊キ取ル事ヲ得タリ其時裏門街路ハ群衆ヲ以テ充タサレ頗ル不穩ノ狀況ヲ呈シタリ此時先頭ニ立テ畫ヲ劊キ取リタル巡查矢野新三ナリトス此行動中一行ノ竹内警部ハ亂打セラレ土屋巡查ハ左眼ニ重傷ヲ受ケ新田巡查ハ右眼尻ニ輕傷ヲ受ケタリ此一行ハ目的ヲ達シタルヲ以テ公園事務所ニ引揚ケ負傷巡查ノ治療ヲ爲シ居タルニ山本巡查賑ケ來リ内相邸ニハ署長以下少数ノ巡查暴民ニ包圍セラレ署長ハ已ニ負傷セルカ今ヤ實ニ危急ノ場合ニ陥リ居レ



本職ハ之ヲ聞クヤ會田部長ト直ニ巡査約三十名ニ對シ之レヨリ上官ノ危急ヲ救フニ赴クヘキニ付萬難ヲ排シテ内相邸ニ進ムヘシト命シ一同ハ勇ヲ鼓シテ進ム

五 一同群衆ヲ排シテ内相表門ニ至レハ署長以下巡査一同ハ防禦最中ニシテ表ノ鐵門ハ破壊セラレ警部巡査詰所モ破損ヲ生シ狼籍至ラサルナク實ニ慘憺タル有様ニテ署長及緒方巡査部長ハ鮮血淋漓タルヲ見受ケタリ本職等到着後鎮撫スル事約三十分ニシテ暴徒ハ稍兇行ノ度ヲ減シタルヲ以テ署長ハ本廳ヘ赴カレ他署ヨリ應援員モ一旦本廳ヘ引揚ケタリ

此時當署員モ巡査二十名ヲ殘シ本廳ヘ引揚ケ本職及島山警部松田警部ハ邸内ニ止リテ警戒ニ從事ス

六 午後五時頃ニ至リ暴民等ハ表門左脇警衛巡査詰所ニ放火シ投石頗ル激烈ヲ加ヘ來リタルヲ以テ一同ハ消火スルト共ニ追拂ニ從事シ居リシカ裏門破壊シタリトノ報ヲ聞キ幾分ヲ表門ニ殘シ置キ裏門ノ防禦ニ赴キタルニ門ハ已ニ破壊セラレ門外ノ街路群集瓦石ヲ投スル頗ル激甚ナリ彼ノ團衆カ相和シテ門内ニ押寄せ來ル毎ニ一同ハ抜劍シテ追ヒ拂ヒニ從事シ其度數三回ニ及ヒタリト雖トモ巡査カ人ヲ傷ツケルヲ見受ケサリシナリ斯クテ騷擾ヲ來シ居ル内暴民等ハ黃昏ニ至

テ塀ヲ乘リ越ニ來リテ附屬官舎ニ放火ヲ爲シタルヲ以テ之レカ消防ニ從事シ居ル内本廳ヨリ警視警部及巡査多數來援相混交シテ防禦ノ任ニ當リタリ

此時ノ警視ハ室田淺草署長小泉下谷署長ヲ記憶スルニ止マリ警部及巡査ハ其氏名ヲ記憶セサル而已ナラス所屬署名ヲモ判明セヌ而シテ午後七時過キニ至テ軍隊來邸防備ニ充リタルヲ以テ警察官ハ多ク干與セサルニ至リタルカ暴民ハ仍ホ投石歇マヌ構内ニ瓦石ノ下ル事徹夜ナリシ

七 翌六日ハ午前第十一時頃ヨリ投石ヲ始メ喧騒ヲ極メ居タリシカ午後第六時ニ至リ有樂町派出所ノ方向ニ於テ電車燒棄ヲ始メ漸次施テ内相邸表門前ニ電車ヲ輓キ來リ燒棄スル事六臺ニ及ヒタリ此時車輛ニ接近シ抜刀ヲ携ヘ居ル者二三人ヲ認ム又十四五歳ノ學生徒海城中學校ノ制服ヲ着スル者等多ク電車燒棄ノ犯行ニ加功スルヲ認メタリ

八 常職ハ七日午前第十一時ニ至リ内相邸ニ在ル巡査悉ク引揚ク可キ命ヲ受ケ直ニ當署ニ引上ケタリ

ル 尙ホ逆テ畫刺取リノ頗末ヲ詳記セハ初メ内務大臣裏門外街路ニ群衆充満シ罵詈訕罵ヲ以テ喧噪シ居ルヲ聽メ何事ナラント近キ見タルニ美濃紙ヲ二枚縦ニ繼ギ合シ上半ニハ三人ノ首ヲ繪キタルヲ張リ付ケ下半ニハ文字ヲ記載シ在リ三人ノ首ハ中央ヲ小村清和全權公使右方ハ高平公使



左方ハ米國大統領ノ像ヲ畫キタルモノト認メラレ文字ハ構和ニ就テノ不滿ヲ畫キ殺戮ヲ諷刺致  
駭スルモノナルコトヲ認メタリ而シテ又畫ハ赤イソキヲ塗付シテ斬首ノ狀ヲ呈シ一見慘絶ニシ  
テ心膽ヲ寒カラシム本職ハ社會ノ治安保持上斯ル惡畫ノ片時モ忽諸ニ附スヘカラサルモノナル  
事ヲ思ヒ邁進シテ之ヲ剝キ取リシト努メタルモ彼ノ群衆等ハ政府ノ忠臣タ打ツテ仕舞トカ馬鹿  
野郎トカ口々ニ罵倒ヲ極メ進路ヲ遮キリテ近カシメス止ヲ得スシテ前三項ニ概記セシ如ク櫻田  
門内ニ急行シ島山、松田兩警部及巡查三十名ノ援助ヲ受ケ首尾能ク之ヲ剝キ取ルヲ得タル次第  
ナリトス

以上ノ事實ニ付此段狀況及申報候也

明治三十八年十一月九日

麹町警察署勤務

警部 林 傳 治

麹町警察署長警視向田幸藏殿

追テ別紙剝キ取リタル畫相添申候

今回東京市日比谷公園ニ於テ去ル五日構和問題ニ關スル全國同志聯合國民大會ノ發起ハ既報ノ如  
ク對露同志會ヲ中心トシ外五團體ト同志記者等ニ據リ成立シ專ラ對露同志會員ノ大竹貫一、小川  
平吉、細野次郎、大谷誠夫、櫻井熊太郎新聞記者トシテハ中島氣峰上島長久其他ノ首唱ニ依リ各  
團體ノ重サルモノ及知名ノ士之ヲ贊シ各府縣ノ有志ニ通報シタルヲ以テ關西、中國、九州、關東  
地方ヨリ開會數日前ヨリ凡ソ四十餘名ノ代表者上京シ五日ノ大會前ヨリ對露同志會并ニ櫻田俱樂部  
部ニ毎日集會シ開會準備ノ協議ヲ爲シタリ

一 國民大會ヲ爲ス目的ハ既ニ構和條件ノ調印濟トナリシモ國民ノ満足セサル寧ロ屈辱的不利益  
ナル構和ニ對シ批准御成可ノ拒絕ヲ企圖セルモノニシテ絕對ニ此目的ヲ遂行セントスルニ外ナ  
ラス然レトモ此會員ノ發起者中ニハ區々ノ意見ヲ抱キ大竹小川ノ兩名ハ此ノ會ヲ機トシ自己ノ  
名望ヲ博センコトヲ圖リ新聞記者中ニハ廣ク全國有志ノ同情ヲ得テ此ヲ利用シ少ナクモ二三千  
圓餘ノ寄送金ヲ得ントシ其他ニ在テハ既ニ調印濟トナル上ハ如何ニ反對運動ヲ試ミルモ批准交  
換ノ御裁許ヲ破毀シ得ヘカラサルコトヲ看破セシモ現内閣ヲ破壞セシメントスルニハ國民ノ輿  
論ヲ喚起シ有力ナル向キノ後援ヲ得テ大ニ國民煽動ヲ爲サント欲シ大會ニ賛成シタル等此内容



ニ至テハ種々ナル異分子ヲ有シ居レリ

一 大會準備委員ノ協議中批准御裁可トナリシトキハ此ノ會ノ運命ヲ如何ニ處スヘキヤトノ動議者アリシカ全ク批准交換トナルマテノ運命ニシテ爾後ノ方針ハ決定セサルモ更ニ團體ヲ組織シ革命ヲ計ラント云フ者アリシモ要スルニ纏ラス結局河野廣中ヲ座長トシ開會當日批准交換拒絕ヲ國民ノ決議下スルコトニ決セリ而シテ大會出席人名ハ俱樂部ニ揭示セリ

一 國民大會ニ伴フ經費ニ就テハ開會四五日前迄ハ辨當ノ如キ各自ノ負擔ニアリシカ大竹實一ハ終始經費ノ擔當ヲナシ有志ニ密附ヲ促シ廿五圓ヲ最度トシテ已下二圓マテ密附金ハ僅カニ百圓餘ニ過キス尙ホ種々奔走ノ結果藏原惟利ヨリ金三百圓小川平吉ヨリ百圓都合五百圓餘ヲ集金シタルモ既ニ費消シタル金額ハ尠ナクモ七八百圓ナレハ不足額ニ對シテハ大竹實一カ郷里ト頻リニ電報ノ往復ヲナシ送金ヲ得タルモノ、如シ

一 藏原惟利ハ内政豊シナラヌ三百圓ヲ密附スヘキ資産ナシ然レトモ同人ハ常ニ子爵渡邊國武ノ服心ニシテ既報七博士集會所ナル渡邊國武ノ黒幕ニ係ル芝佐久間町ニ在ル南佐莊ニ出入スルヲ以テ渡邊子爵ノ手ヨリ出金セラレタルモノト断定ス此三百圓ニ對スル領收證ハ小川平吉ノ名義ニテ藏原ニ渡シタリ

一 小川平吉ハ自宅ヘ電話ヲ以テ金百圓ヲ持參スヘシト命シタル處間モナク書生某カ持參シ會計係ニ渡シタリ

一 會ノ當日櫻田俱樂部ニ委員及會員ノ集合ハ午前八時頃ヨリ河野廣中ヲ初メトシテ二階ニテ協議シタル者二十五六名ナリシカ當日ニ限り雇人堀内某ハ悉ク名刺ヲ受ケテ入場セシメタリ而シテ旗持人足ハ京橋區京橋詰ノ廣目屋ニ旗其他裝飾類ヲ注文シタルヲ以テ島米其他印模様ノ半天ヲ着シタルモノ凡ソ二十名餘同俱樂部ニ集マリシヲ目撃ス

一 細野次郎ハ尤モ此會ニ關シ熱心ニ奔走シタルモノナリシカ日本橋又ハ本所深川邊ニテ有名ノ俠客奥野某ハ四十餘名ノ配下ヲ有スルヲ以テ助勢希望ノ旨ヲ大竹小川ノ兩幹事ニ紹介シタルモ全國ノ同志大會ニ俠客ノ應援ヲ得ルハ卑劣手段ニ聞ヘ會ノ面目ヲ失ヌルノ故ヲ以テ謝絶シタルモ奥野ハ從來政事運動ニ援助シタル經驗モアリシ旨ヲ主張シ再應ノ申込モ拒絕シタル處午前十時頃ニ至リ日比谷公園ノ各出入口ヲ九太ヲ以テ閉鎖セリトノ狀報ニ依リ茲ニ警察官ノ壓迫甚シキ事ヲ憤慨シ俄カニ協議ノ上奥野ヲ使用スル事ニ決シタリ

一 奥野俠客ニ對シテ交渉ヲ高橋秀臣ニ依頼セントシタルモ高橋ハ會主ナルヲ以テ二六新聞社友佃信夫ヲ撰定シタリ佃ハ前日來發熱ノ爲メ出席セス依テ小川平吉ヨリ急使ヲ以テ佃ヲ呼出シ同



人ニ金五十圓ヲ渡シ奥野ニ交渉セシメタリ

一 佃信夫ハ奥野某已下二十餘名ノ印半天ヲ着シタル土工業者又ハ人足共ヲ俱樂部入口右手ノ廣間ニ午前十一時頃集合セシメ大要左ノ訓示ヲ受ケタル後金五十圓ヲ奥野某ニ渡シタリ然ルニ此金報酬ナルカ果タ飲食費ナルヤ判明セス

一 警察官ハ日比谷公園各所ノ出入口ヲ閉鎖シタルヲ以テ此閉鎖ヲ破毀スルコト

二 大旗ヲ目標トシテ同志ハ隨從スル管ニ付警察官カ此旗ヲ奪取セントスルトキハ飽マテ此旗ヲ守護スルコト

三 警官カ他迄妨害スルトキハ之ニ對スル臨機手段ヲ以テ大會ノ目的ヲ達シ能フヘキ事  
尙旗持ハ廣目屋ノ人足ト或ハ奥野組ト交互ニ携ヘタルモノナラン

一 廣目屋ニハ大旗小旗其他ノ裝飾品一切ヲ注文シ此代金凡ソ二百三十圓ヲ櫻井熊太郎ヨリ支拂シタリ廣目屋ニ注文シタルハ前日二六新聞社ニテ風船ヲ揚ケタルコトアリシヲ以テ二六ノ紹介ニアリ

一 佃信夫ハ芝區新門前町十八番地ニ住居シ二六新聞社友ト稱シ常ニ秋山定輔ノ配下ニアリ生活豊カナラサル爲メ坂本金彌及ヒ秋山ノ補助ヲ得テ生活セリ而シテ同人ハ巧ミニ壯士ノ輩ヲ使喚

シ從來脅迫罪又ハ他人ヲ教唆シ政事運動ニ際シ暴行シタル等極メテ性行不良ノ徒ナリ

一 同人ハ五六名ノ配下ヲ使喚シ奥野ノ監督ヲナシタル趣キナルヲ以テ其氏名ハ内偵中

以上各項ニ記駐セル如ク國民大會ノ目的ハ當初ニ於テ兇行ヲ企ツヘキ惡計ナリシモ前日來警視廳ノ于涉殊ニ當日公園ノ出入ヲ止メ集會ヲ禁止セラレタルコトハ頗ル憤慨シ大竹實一 小川平吉ノ兩名ハ佃信夫ニ命シ奥野俠客及其配下ヲ使喚シ人民ノ氣勢ヲ紛シ内務大臣官舎及各派出所ヲ燒毀破壞シタルノ嫌疑充分ナリ殊更佃信夫ハ二六新聞カ警視廳ノ爲メニ追害セラレタル警敵ヲ此機會ヲ利用シ其配下ノ壯士輩ヲ使喚誘導シテ兇行シタルモノナラント思料ス尙詳細ハ續報ス

明治三十八年九月廿日



婦和問題聯合同志會ナルモノハ明治三十八年七月七日麹町區日比谷公園松本樓ニ於テ成立シ之レカ會員ハ河野廣中頭山滿國友重章小川平吉垣屋盛服高橋秀臣細野次郎繁野珠城中村海大谷誠夫岡部伊三郎藏原惟利大竹貫一内田良平高田三六石山彌半鎌谷恒太郎五百木良三櫻井熊太郎川上英一郎新井要太郎中島氣峯等ニシテ事務所ヲ麹町區内幸町一丁目三番地對露同志會内ニ設置シ婦和問題ニ關シ日々ノ如ク集會シ而シテ内閣諸公ニ婦和ヲ非トスル書面ヲ送り若クハ小村大使ニ電報ヲ發スル等運動ノ末九月二日午後一時ヨリ彼等會員ハ事務所ニ秘密會ヲ開キ來ル五日午後一時ヲ期シ日比谷公園ニ國民大會ノ開催ヲ協定シ直ニ全國同志者ニ宛テ婦和ヲ非トスル檄文及大會通知書一千通ヲ發送シ形勢頗ル不穩ナルヲ以テ國民大會ハ治安ヲ害スルモノト認メ中止ヲ豫告セント九月三日午後一時頃電話ヲ以テ此事務所ニ小川平吉ヲ當署ニ召喚シタルモ差支アリ出頭セズ依テ同シク事務所ニ在ル高橋秀臣ヲ更ニ召喚シ諭メニ今日ハ未タ交戦中且婦和談判ノ際ナルヲ以テ國民大會ヲ開クハ穩當ナラズ此際中止ノ可ナルヲ説キタルニ高橋ハ大會中止ノ事ハ予一已ニ答フル能ハヌ委員ニ諮リ何分ノ答ハ明朝爲メヘント云ヒ最モ自分ノ意見トシテハ五日ノ國民大會ハ時機ニ適セリト申立退署シタルニ翌四日ノ午前ニ至ルモ挨拶ナク漸ク午後八九時頃ナラント思頭小川

平吉高橋秀臣ノ依托ナリト告ケ大會中止ノ儀ハ難應旨電話ヲ以テ通知シ來リタリ而シテ今日午後十一時二十分頃大會發起人麻布區谷町四十八番地高田三六ハ使者ヲ以テ屋外集會屆書ヲ差出シタルニ依リ使者ニ對シ高田三六ハ用談アルニ付直ニ本人ヲ當署ニ出頭セシムヘント申聞ケ一面高田ノ住所所轄麻布警察署ニ照會シ出頭方違シタルニ不在ナルニ付同十一時四十分頃麹町區内幸町一丁目五番地小川平吉ニ電話ヲ以テ直ニ出頭ヲ違シタルニ取次ノ者曰ク主人最早寢ニ就キタルモノ一應申通スヘント云ヒ暫時ニシテ主人ノ意ヲ受ケ大會ノ事ナレハ自分ハ發起人ニアラヌ又大會中止ノ話ナレハ高橋秀臣ニ代リテ挨拶シタルコトナレハ自分出頭スルモ用辯シ難キニ付發起人ニ違セテレタシトテ應セメ故ニ麻布警察署ニ重テ照會シ特ニ巡查ヲ高田ノ宅ニ遣シ歸宅ヲ待受ケシメタルニ翌午前一時頃ニ至ルモ歸宅セメ不得止同高田三六家族ノ者ニ對シ明日ノ大會ハ禁止スヘキ旨傳達方ヲ照會シ置キ尙又五日ノ午前二時頃巡查ヲ以テ同會員神田區錦町二丁目十二番地高橋秀臣ヲ召喚シ發起人タル高田三六ニ大會禁止ノ命ヲ傳ヘント召喚シタルモ所在不明ニテ何時歸宅スヘキ豫期シ難ク尙モ國民大會ノ發起人ニシテ所在不明ナリトハ無責任モ甚シト見認メ大會開催ニ關係アル高橋ニ大會禁止ノ命令ヲ傳ヘタルニ同人ハ發起人タラサルヲ以テ法律上ノ責任者トシテ此命ヲ受ケル能ハント辭セシモ兎ニ角大會開催ニ付テハ最モ關係アル一人ナルニ付禁止ノ命令ヲ會



員ニ傳ヘヨト談シケルニ漸ク之ニ應ジ退去シタリ然ルニ翌五日午前高橋秀臣ヲ神田警察署ニ檢束セラレタルニヨリ万一右禁止ノ旨ヲ會員ニ通知セシヤラズル同日午前八時荒川警部ヲ構和問題聯合同志會事務所ニ遣シ重ナル會員小川平吉ニ對シ尙ホ念ノ爲メ國民大會ノ禁止ヲ達セシメシ小川平吉ハ事務所樓上ニ居リナカラ取り次ヲ以テ吾々ハ昨夜ヨリ構和問題聯合同志會トハ關係ヲ絶テタルヲ以テ本會ニ關スル命令等ハ承ハル要ナシト云ヒ面會ヲ拒ムニ依リ荒川警部ハ同會中島氣峯ニ面會ヲ求メシニ同人樓上ヨリ降り來リ廊下ニテ面接シ同様國民大會ノ禁止ヲ達シ及本會事務所入口ニ吊旗ノ掲出アルヲ認メ釋當ナラサルニ付吊旗ヲ速ニ撤回方ヲ懇諭シタルニ一應會員ニ申告ヲ返答スヘシトテ二階ニ上リ其儘何等ノ返答ナク同警部ハ再三督促ノ末漸クニシテ廊下ニ降りテ曰ク國民大會禁止ノ命アリシヨトハ既ニ承知セシモ吊旗ハ委員會ノ決議ニ依リ掲ケタルヲ以テ撤去スルニハ又委員ノ職ニ附セザレハ取除ク能ハストノ答辯ニ付去レハ止ヲ得ヌ公力ヲ用ユル外ナキモ其ノ手段ハ望ム所ニアラス其會ヨリ撤去アリテハ如何ト再諭スルモ本員ニテハ取斗ヒ難シト云ヒ荒川警部ト別ルニヤ同警部ハ偶々同會員ノ一人ナル岡部伊三郎ノ來所スルニ遇ヒ此處ニ彼ヲ止メ中島氣峯ニ達シタルト同一ノ事ヲ以テスルモ辯セザルニ付速ニ吊旗一組ヲ撤回シ此吊旗ハ九月十九日午前十時葉書ヲ以テ吊旗下渡スヘキニ付請取人差出スベク旨通知スルモ今日迄請取シタリ

人來ラス而シテ大會ハ前陳ノ如ク種々ナル方法ヲ以テ禁止ノ命ヲ傳フルモ強ク日比谷公園内ニ於テ大會ヲ開カントシ警察官ハ之ヲ制止スルニモ拘ハラス之ヲ抗拒シ同公園正門ニ施シタル柵ヲ數万人ノ勢力ヲ籍リ暴力ヲ以テ破壊シ遂ニ同公園ニ侵入シ已ニ禁止セラレタル國民大會ヲ強行シタリ

右大會前後ノ狀況報告候也

明治三十八年十月二十六日

麹町警察署長

警視 向田 幸 藏

東京地方裁判所檢事正奥宮正治殿

報 告 書

本月五日新富座ニ於ケル國民大會ノ政談集會ノ狀況左ノ如シ

新富座ニ於ケル演說會ノ聴衆ハ正午十二時頃ヨリ漸ク會場前ニ來タリ未タ入場ヲ許サズルニ同



座前ノ道路ハ人ヲ以テ堵塞スルニ至リタルヲ以テ時機ヲ見斗ラヒ入場ヲ許シタルニ開場ヲ待テ居タル群衆ハ先キヲ遊ツテ場内ニ殺倒シ同一時四十分ニ至ツテハ階上階下殆ト立錫ノ餘地ナク類リニ拍手叫喚シテ開會ヲ促シ場内何トナク殺氣ヲ帯ヒ頗ル不穩ノ形勢アリ而シテ會員ノ重立ツモノハ未タ來會セサルニ公園ニ於テ解散セラレタルモノ及其他四方ヨリ集リ來ルモノ數千ニ達シ會場外ニアリテ頭リニ紛争ヲ極メ内外ノ形勢殺氣紛々タルノ有様ナルヲ以テ止ムナク全會ノ解散ヲ宣告シタルニ聽衆ハ總起立トナリ騒擾云ハン方ナク其際辯士タルヘキ山田喜之助ハ小川平吉野尻三藏其他十餘名ノモノ來會舞台上ニ立テ出テ頭リニ不滿ヲ呼號シ滿場爲メニ大混亂ヲ來サントセリ依テ穩カニ之ヲ鎮撫シ背後ニアル者ヨリ順次ニ退場セシメントシタルモ滿員ノ爲メ多場内ニ入ルヲ得ヌシテ場外ニ詰メ掛テ居タル群衆ニ加フルニ比谷公園ニ於テ解散ニ進ヒタル大衆ハ樂ヲ奏シ旗幟ヲ翻シ會場前ニ殺倒シ出テントスルモノ入ラントスルモノ互ニ入り亂レ此處ニ亦一場ノ混雜ヲ惹起セリ然レトモ幾多ノ警部巡查カ努力シテ整理ヲ圖リタルタメ神奈川縣々會議員小泉某カ巡查ニ抵抗シ高野孟矩ハ之レヲ懲慝シタル出來事アリシノミニテ場内ニシテハ格別ノ事端ヲ生セヌ漸次場外ニ退出セシムル事ヲ得タリ然ルニ此ノ時數名ノ暴漢アリ新富座北方ノ土塀ヲ乘リ越ヘ場内ニ闖入センヤシタルヲ以テ巡查ハ之ヲ制シタルニ彼等ハ之ニ

服セヌ大ニ抵抗ヲ試ミ其目的ヲ果サントシタルタメ塀上ノ瓦ハ數十枚墜落ヲ見ルニ至レリ聽衆ト共ニ一旦退場シタル數名ノ辯士及ヒ重立ツモノ新富座々附茶屋新駒屋ノ二階ニ上リ其内ノ或ル者ハ階上ヨリ往來ヲ瞰下シ演說ヲナシテ群衆ヲ煽動シタル爲メ往來ノ群衆ハ一層狂熱ニカシレ一齊ニ鯨波ヲ擧ケ益々不穩ノ狀況ニ陥レリ故ニ往來ニ於ケル混雜ヲ制止センタメ警部巡查カ奔走シツ、アリタル際新駒屋二階ヨリ煙草盆火入レ等ヲ投ケタルモノアリ爲ニ制止ニ從事中ノ巡查ハ面部其他ニ負傷スルニ及ヒ依テコノ混亂ノ原動タル階上ノ一隊ヲ退散セシムルノ必要アリ數名ノ警部巡查ヲ階上ニ昇ラシメ之レヲ制止スルモ彼等容易ニ退散セサリシ故ニ本職階上ニ昇リ其内抗辯セントスル等煽動者ト目スヘキモノ數名ヲ縛セシメシニ彼等其勢ニ恐レ極力制止シ漸クニシテ解散スルヲ得タリコノ内ニハ四城寺清上島長久下部喜太郎赤尾孫吉郎長谷川吉次ヲ始メ知名ノ士數多混シ居タリコ、ニ至リテ往來ニ於ケル群衆ハ全ク暴動ノ態ニ變シ瓦石ヲ投ケヌテツキヲ振ヒ口笛ヲ鳴ラシ警部巡查ヲ目掛ケテ押シ合ヒ打テ合ヒ殆ト亂暴狼籍ヲ極メ數名ノ巡查ハ之レカクメ負傷スルニ至リタルモ各員熱心ニ鎮定ニ努メタルヲ以テ漸クニシテ午後四時頃ニ至リ少シク鎮靜ニ赴ケリコノ騒擾ノ際暴徒トシテ現場ヨリ引致セルモノ小川平吉外三十八名ナリ(下部喜太郎ハ一應取調ノ後放逐セリ)



明治三十八年九月廿日

京橋警察署長

警視 田川 誠 作

東京地方裁判所檢察正奥宮正治殿

追テ本會ハ構和問題聯合同志會ノ發企セル國民大會ノ主催ニカ、リ屆出人ハ神田區猿樂町二丁目三番地秋保親愛ナリ

過日警視廳第一部第一課勤務大庭巡查ヲ以テ御照會ニ係ル管内銀座一丁目十三番地廣目屋専秋田柳次カ本月四日五日頃構和問題同志聯合會ノ依頼ニヨリ人夫ヲ差出タル件ニ付同家店員間垣林太郎(三十五年)ヲ本日午前八時當署ニ喚出シ取調フルニ其ノ狀況左ノ如シ

- 一、九月四日同會ノ依頼ニヨリ人夫二十人ヲシテ國民大會ノ報告印刷物ヲ一人約二千枚ツ、ノ割ニテ市内各區ニ配布セシム
- 一、同夜右二十人ノ内ナル九人ヲシテ各電車ノ停留場ニ廣告ヲ配布セシム

一、同五日同會ノ依頼ニ依リ人夫十三人及樂隊十二人ヲ同會事務所へ差出ヌ但時間ノ都合ニ依リ人夫及ヒ樂隊ハ事務所へ行カヌ直ニ日比谷公園ニ差出ヌヘク皆同會ヨリ電話ヲ以テ通知ニヨリ直接日比谷公園ニ差向ケタリ

- 一、右人夫神田區關口町二番地藤本清太郎ノ部屋ノ者ナリ
- 一、樂隊ノ内其姓ノ知レ居ルモノハ樂長山田某(下谷區入谷町七十五番地居住)及ヒ岩根某益井某川口某等ナリ

一、此ノ外同日新富座演說會歸付ケノ爲メ人夫二名ヲ差シ出シタリ

一、右列記ノ外人夫等ヲ差出シタルコトナシ

右及報告候也

明治卅八年九月卅日

京橋警察署長

警視 田川 誠 作

東京地方裁判所松本檢察殿



去ル五日午前八時三十分頃櫻田俱樂部ニ至リ其動靜ヲ觀察スルニ入口ニ人力車或輛アリ受付ニ至リ來會者ノ數并ニ其姓名等ヲ尋ネタルニ來訪者四五名ニシテ姓名不明ナリト受付ノ答ヘナルヨリ俱樂部ノ左方ニアル路次口ニ至リ暫ク其動靜ヲ觀察シ居リシニ登人貳人位ツ、進行シ來リシカ何レモ田舎モノラシキ風体ニテ九時半過キニ至リ殆ク十時七八名ニ達セント思フ頃同僚清水氏來リテ俱樂部ヘ至リシニ五百木良三入り來リ本日ハ顔ノ知レサルモノハ何人ト雖モ入ルヲ許サヌト云ヒンヨリ清水氏ハ止ムナク出テ來リ十時半頃ニ至リ印半纏ヲ着シタル(襟ニ米〇〇〇ト記シアリ)ト見土方体ノモノ有樂町方面ヨリ二十名程來リ俱樂部ノ入口ニ佇立シ居ルコトニ、三十分其中ニ年齢四十歳前後ニシテ鼻下ニ八字髭ヲ生シ臺灣バナー帽子ヲ冠リタル土方精負業体ノ者壹名居リ察スルニ頭分ト察セラル夫レヨリ聯合同志會ノ事務所ノ模様ヲ偵察ノ爲メ憲政本黨前ニ至リシニ壯士吉澤不二雄ヲ姓不明ノ壯士体ノモノ四五名ヲ連シ來ルニ會ス夫レヨリ不斗本黨ノ横町ヲ見ルニ慶キニ俱樂部ニ來リ居リシ土方体ノモノハ既ニ此横町ニ來リ居レリ夫レヨリ胃腸病院ニ至リシニ河野廣中ニ出會セリ更ニ幸橋ニ至リシニ藏原惟利ニ出會シタルハ藏原ハ自分ヲ手招キシタルヨリ是レ幸ヒテ俱樂部ノ模様ヲ探リシニ藏原曰ク俱樂部ハ地方ヨリ上京セシ人ノ休憩所同様ニテ何等取リ止メタル話ナシ云々ト語リ一旦藏原ト立チ分レタルモ尙ホ當日ノ真相ヲ確メシカ爲

メ藏原ノ跡ヲ追ヒ憲政本黨協ニテ出會セシニ藏原ノ曰ク君等本日ノ集會ヲ心配スルニ及ハヌ又本日ノ決議ノ如キ過日新聞紙ニ掲載シタルモノヨリ幾分釋當ナリト思フ夫ハ兎ニ言警視廳ノ道リ方ハ無法ナリ公園ノ入口ヲ見ヨ柵ヲ設ケ通行ヲ禁止スルトハ無法モ又甚シ只今東京市ニ閉合セタルニ市ハ警視廳ヨリ何等ノ交渉ナシ折カテ市役事會開會ノ際トテ非常ニ激昂シ居リ本日ノ集會ヲ政府ハヤラシメ置ケハ宜シイ決シテ驚ク程ノ事ハナイ警視廳ハ此集會ヲ余リ見過キテ居ル云々夫レヨリ自分ハ同氏ニ分レ櫻田俱樂部ニ至リ見シニ最早二三名シカ居ラサルヨリ清水氏ニ托シ歸署シタリ

右報告候也

九月十日

大谷新藏

報 告

本月五日婦和同志會大會ノ際ニ櫻田俱樂部ヲ觀察スルノ必要アルヲ以テ午前八時頃ヨリ櫻田俱樂部



部ニ至リ事務員堀内某ニ就キ當日ノ状況トヲ聞キ居リタルニ第一着ニ戸水寛人來リ次ニ五百木良三カ入り來リテ直キニ今日ハ同志會員ノ外ハ何人ト雖モ俱樂部ニ至ルコトヲ謝絶スル旨ヲ堀内ニ對シ云ヒ居リタルヲ以テ俱樂部ヲ出テ、其隣家ナル煙草店關口方ニテ俱樂部ニ出入スルモノヲ注意シアリタルニ十時半頃ニ至リ地方ヨリ上京シタル者四五名入り來リ次ニ新潟縣ノ縣會議員兩名（日本橋警察ニテ微行）ノ入り來ルヤ續々地方ヨリ上京シタル者拾名許アリ河野廣中、小川平吉、神谷卓雄、藏原惟利等モ入り來リタルカ十一時頃半ニ人夫貳十名ハ其首領トモ見ル可キ者ニ引率サレ入り來リタルカ何レモ印半纏股引脚半ノ服裝ニテ俱樂部内ニ入りタリ其際印半纏ノ襟ニハ島米ト記シアリ背面ニハクツシ字ヲ角ノ中ニ記シアリタリ然ルニ夫レニ引キ續キ壯士吉澤不二雄ハ八名程ノ壯士体ナル者ト共ニ俱樂部ニ來リタリ凡ソ一時間モ經過シタル頃ニ土橋梅鉢ヨリ巖井ヲ三拾程携帶シ來リタルカ獲キノ人夫ニハ其非三個ヲ持チテ同志會ニ向ケ往キタリ吉澤不二雄ニ於テモ出テ來リ俱樂部ノ隣家ナル關口煙草店ニ來リ朝日煙草拾個ヲ購求シタルカ吉澤ハ拾圓紙幣ヲ出シテ仕拂ヒ同志會ヲ向ケ出テタルカ稍二十分間ヲ經タル位ニ同志會ノ方面ニ吶喊ノ聲ノ起リタルヲ聞キタルヲ以テ其方面ヲ注視シタルニ先キニ俱樂部ヲ出テタル人夫等ハ何レモ同志會ニ於テ漸開シタル旗ヲ押立テ、騒擾ヲ極メ居ルヲ認メタルヲ以テ其狀況ヲ電話ニテ警察署ニ向ツテ急報

シタリ其騒擾ノ起ルヤ河野廣中等ハ四五名ノ者ト日比谷公園ヲ向ケ出テ往キタルヲ認メ藏原惟利ハ恰モ狂氣ノ如ク馳セ行キ五百木良三ノ如キハ仕込杖ヲ振ヒ怒氣滿面ニ溢レアルノ狀態ニテ俱樂部ニ來ルコト二回ニシテ亦タ出テ往キタルコトヲ認メタルカ其後ハ俱樂部ニハ一人モ殘リアル者ナシ尚ホ大會後ニ來ルナラント注意シアリタルモ更ニ一人モ來リタル者ナシ

右報告候也

九月十五日

清水 欽 四 郎

(憲警第一六八號第一)

報 告

明治三十八年九月五日辯和問題國民大會開催ニ關シ取締狀況左ノ如シ

一、本日午前十時頃ヨリ會員ハ日比谷公園ニ會同センカ爲メ公園外ニ集合セリ然ルニ公園ノ各入



口ハ木材ヲ以テ閉塞シ其各入口ニハ警部巡查約二三十名ヲ配置シ尙ホ公園全部ノ周圍ニ巡查ヲ配置シ入ラントスル者ヲ拒止セリ

二、是レヨリ先キ警視廳ニ於テハ本日ノ集會ハ治安ニ妨害アリトシ其集會ヲ禁止スル旨ノ通報ヲ受ケタルヲ以テ非常警戒ニ備ヘン爲メ東京憲兵分隊各分遣所ニ下士若クハ上等兵ノ内一名ヲ殘留シ他ハ悉皆分隊ニ召集ノ上公園ニ派遣セリ然ルニ正午十二時五十分ニ至リ群衆ノ會員ハ東門ノ警戒口ヲ破リ公園内ニ闖入シ運動場ニ約二千名集合シ花火ヲ合圖ニ別紙決議ヲ爲セリ

三、前項群衆ト一部約五百名ハ二重橋ニ到リ萬歳ヲ唱ヘ市中軍樂隊ハ若ク代ヲ奏シタリ然ルニ此處ニ群衆スルヤ門衛ノ警手ヲ制止セシニ不滿ヲ抱キ小石ヲ投ケタル者アリ依テ憲兵及巡查ハ之レヲ制止ニ全力ヲ注キタリシ處群衆ハ巡查憲兵ニ對シ尙ホ石ヲ投ケ亂暴極リナン爲メニ憲兵上等兵各一名微傷巡查中ニハ若干名負傷シ又哨劍等ヲ奪取セラレタル者モアリシ如此一時ハ非難ノ混雜ナリシモ終ニ午後一時五十分馬場先門ヲ出テ新富町ノ新富座ニ到レリ

四、新富座ニ午後二時五十分到着演說會場ニ群衆シ僅カニ開會ノ主旨ヲ朗讀シタル迄ニシテ解散ヲ命セラレタルモ容易ニ解散セズ尙ホ茶屋又ハ附近道路ニ群衆充満シ電車ノ通行モ爲メニ杜絶茶屋又道路上ニ在テ激激ノ演說ヲ爲シツ、午後三時三十分頃ニ至リ漸ク引揚ケ其大部分ハ比

谷公園ニ立戻リ夫レヨリ内務大臣官邸ノ暴行ニ參加セリ

五、公園ニ集合シタル一部ト諸方面ヨリ京橋區日吉町國民新聞社前ニ約千名午後二時三十分頃集合セリ其人物ハ主トシテ勞動者及學生風體ノ者ナリ而シテ憲兵巡查ノ制止ヲ肯セズ新聞社内ニ闖入シ諸器械及恣建物類ヲ破壊シ尙ホ外部ヨリハ瓦石ヲ投ケ込ミ亂暴猖獗ヲ極メ午後四時頃同所ヲ退去セリ此間憲兵上等兵一名巡查數名及社員ニモ多少ノ負傷アリシカ如シ

六、午後二時四十分頃内務大臣官舎附近ニ漸次集合シ來リ憲兵巡查ノ制止ヲ肯セズ本門ノ詰所ヲ破壊シ引續キ通用門附近ノ建物ヲ破壊シ或ハ瓦石ヲ投ヌルヨト頗ル甚シク五時頃ニ至リ雖キニ新富座ヨリ引揚ケタル多衆之レニ加ハリ大ニ勢力ヲ増シ遂ニ官舎附屬ノ建物ニ放火シ官舎本邸ニ闖入セントスルヲ以テ警部巡查ハ終ニ援劍極力之レヲ防止セシ爲メ彼等ハ警官ノ處置ヲ無法ナリトシ警官ニ向ツテ瓦石ヲ投シ約五十名ノ負傷者ヲ出シ又憲兵上等兵モ二名之レカ爲メ負傷シ其他投石ニ觸レタルモノハ憲兵士官以下五名アリ彼等ノ内ニモ巡查ノ援劍ニ觸レ約三十名ノ重傷者ヲ出セリ警察官吏ノ負傷者ハ官舎内ニ於テ治療ヲ施シ暴民ノ負傷者ハ胃腸病院ニ收容シタリ形勢如此ナルヲ以テ午後七時頃近衛歩兵第一聯隊補充大隊ヨリ一小隊派遣警戒ニ任セリ然レトモ彼等ハ尙巡查ニ對シ飽迄暴行ヲ繼續セントスルヲ以テ警察官ハ内部ノ取締ニ轉セシメ



外部則チ暴民ニ對シテハ專ラ憲兵及歩兵ニテ制止ノ任ニ當リ居リシカ尙又午後八時頃本門左側ノ建物ニ放火セシモ直チニ消止メタリ偶々増援トシテ同聯隊ヨリ中隊長ノ引率セルニケ小隊到著シ警戒漸ク嚴ナリシヲ以テ彼等モ手ヲ出メノ隙ナキニ至リ道ヲ隔テ、反對ノ一側ニ引揚ケ尙對峙シ依然瓦石ノ放投ヲ繼續シツ、アリシカ漸ク午後十時半頃ニ到リ同所ヲ引揚ケ其一部ハ京橋、一部ハ三田、一部ハ神田ノ各方面ニ向ヒタリ

右混雜中東宮職大岡社人、殿下ノ御使トシテ同官舎ニ見舞ハレタリシカ其際官舎附近ノ暴民ヨリ放投セシ瓦石ノ爲メ左腕ニニケ所ノ微傷ヲ負ヒ又同車夫モ脚部ニ負傷セリト聞ク然レトモ使命ヲ果シテ午後八時三十分頃憲兵上等兵二名ヲ以テ青山御所迄護衛セリ途中異狀ナシ

七、以上ノ如ク状態ニ陥リ益不穩ヲ極メ尙ホ各大臣又ハ各省ニ對シ暴行ヲ試ミントノ狀況ナルヲ察知セシヲ以テ憲兵ヲ數時ニ別紙ノ通り配置警戒ニ任セシメタリ(別紙ハ略ス)

八、午後八時三十分外務省正門前ニ約三百名集合セシヲ以テ憲兵巡查ハ極力制止セシ處同裏門ニ廻ハリ尙ホ之レヲ制止スレハ正門ニ廻ハリ一密一退有カナル抵抗ニハ至ラヌシテ漸次日比谷方面ニ退却セリ其後警戒トシテ若干歩兵隊到着セリ

九、午後九時三十分頃三田桂首相ノ自邸へ四五十名宛各個群ヲ爲シ不穩ノ狀況ナル旨報告アリシ

カ格モ歩兵第一聯隊ヨリ歩兵少尉ノ率ユルニケ分隊到着シ尙ホ松方郎派遣ノ一ケ分隊ト連絡シ且ツ芝増上寺ニ在リシ歩兵一小隊之レニ加ハリ威力ヲ増加セシ爲メ暴民モ稍々逡巡ノ色ヲ呈シ其附近ニ在リ六日午前二時ニ至ルモ尙ホ包圍シツ、アリ然レトモ警戒既ニ嚴ナルヲ以テ容易ニ邸内ニ闖入シ能ハサル狀況ナリ

一〇、米國公使及帝國ホテルニ宿泊中ナル同國人數名五日夜大藏大臣官邸ノ晚餐會終局後午後九時過同邸ヨリ米國公使館迄公使其他ヲ憲兵ニテ護送シタリ公使ノ未タ歸館セサリシ以前ニ於テ同館ニ對シ暴民約一千名聚來シタルモ衛兵ニ於テ防止シタル趣キ憲兵ノ報告ニ接セシヲ以テ直チニ憲兵二名ヲ派遣警戒ニ任セシメタリ尙ホ一面憲兵ヨリ直接陸軍省ニ急報セシヲ以テ以前ヨリノ警戒歩兵一小隊ニ尙ホ二小隊ヲ増加シ專ラ警戒中ニアリ尙聞ク處ニ依レハ右ホテル宿泊ノ米國人ハ大藏大臣官邸ニ赴ク途中ニ於テ多少ノ暴行ヲ受ケタル赴キニテホテルニ歸宿ヲ見合ハセ公使ト共ニ同國公使館ニ至レリ

一一、首相官邸、山縣元帥自邸、大藏大臣官邸及やま新聞社並ニ日本銀行、電話交換局等ニ對シテハ夫々警戒中ナルモ異狀ナシ

一二、午後八時三十分頃内幸町巡査派出所ヲ第一若トシ虎ノ門内芝區櫻田本郷町、同樂平町其他



新橋、京橋、日本橋、神田、本郷、小石川、下谷、本所各方面ノ分署派出所等悉ク放火若クハ破壊シ六日午前一時過キニハ下谷警察署ヲモ燒棄セリ

尙ホ警視廳ニモ襲來シタリシカ巡査抜劍防止セシヲ以テ終ニ暴行ヲ逞フメルニ至ラメシテ退去セリト聞ク午後九時頃虎ノ門内派出所放火ノ際憲兵上等兵一名同所ニ於テ巡査ノ爲メ左腹部ニ稍重キ刺傷ヲ負ヒシヲ以テ直チニ豫備病院ニ入院セシメタリ

二三、午後八時頃中山侯爵邸へ見舞トシテ高輪御殿ヨリ吉田嘉市ヲ御使トシテ差遣ハサレタル處其途中内務大臣官邸前ニ於テ暴民ヨリ暴行ヲ受ケタルヲ以テ一時内相官邸ニ之レヲ避ケ同八時三十分頃憲兵ノ護衛ニ依リ中山邸ニ到リ使命ヲ果シ同邸ニ宿泊メルコトニナレリ

一四、樞密院議長官舎へモ午後十一時頃多衆襲來セシモ衛兵巡査ニ於テ防止シタルヲ以テ退去セリ

一五、六日午前一時頃「ニコライ」教會堂ニ數百名衆來セシモ是レヨリ先キ警戒ノ爲メ派遣ノ騎兵百三十名及憲兵ニテ退去セシメタリ此際騎兵上等兵一名負傷セシ事ナリ  
右及報告候也

明治三十八年九月六日午前三時

第一憲兵隊長 内田 忠直

東京地方裁判所檢事正奥宮正治殿

(憲警第一六八號第二)

報 告

明治三十八年九月六日午前三時締切報告後ノ暴徒ノ狀況左ノ如シ

一般ノ狀況

- 一、淺草方面ニ於テハ午前三時頃公園ニ在ル警察分署ニ放火シタルヲ始メトノ吉原及橋場方面巡査派出所ハ悉ク燒キ拂ヒタリ尙ホ午前四時三十分頃淺草土堤分署ヲモ燒キ拂ヒ暴行ヲ極メ居タルモ夜明ケ頃ニハ漸次退散平穩ニ歸セリ
- 二、米國公使館、三田首相自邸、内務大臣官邸、外務省派遣ノ軍隊ハ悉ク午前七時頃乃至八時迄ニ引揚ケタリ

三、午後二時三十分自白山縣元帥邸出張ノ憲兵報告左ノ如シ